

地域福祉に関するアンケート 調査報告書

令和6年7月

立 川 市

目 次

1 調査概要	3
2 調査結果概要	4
3 集計結果	8
① 属性	8
(1) 性別	8
(2) 年齢	9
(3) 家族構成	10
(4) 家族の状況	11
(5) 働き方	12
(6) 居住年数	13
(7) 居住形態	14
(8) 居住地区	15
② 調査結果	16
(9) 居住地域での生活の満足感	16
(10) 満足している理由	17
(11) 満足していない理由	18
(12) 外出を諦めたことの有無	19
(13) 外出を諦めた理由	20
(14) 最も利用する交通手段	21
(15) 最も利用する交通手段利用頻度	22
(16) 2番目に利用する交通手段	23
(17) 2番目に利用する交通手段利用頻度	24
(18) 3番目に利用する交通手段	25
(19) 3番目に利用する交通手段利用頻度	26
(20) 最も頻度が高い外出目的	27
(21) 最も頻度が高い外出目的頻度	28
(22) 2番目に頻度が高い外出目的	29
(23) 2番目に頻度が高い外出目的頻度	30
(24) 3番目に頻度が高い外出目的	31

(25)	3番目に頻度が高い外出目的頻度	32
(26)	「お住まいの地域」の範囲	33
(27)	「お住まいの地域」でのお付き合い	34
(28)	「お住まいの地域」での困りごとに手伝うか	35
(29)	手伝える範囲	36
(30)	手伝える範囲(報酬や対価あり)	37
(31)	手伝えない理由	38
(32)	困りごとの相談先	39
(33)	困りごとについて、どこから情報を得るか	40
(34)	困りごとを抱える人を支援するために必要と思うこと	41
(35)	地震や風水害の被害を広めないために日頃から取り組むこと	42
(36)	住民や地域団体が主体となり取り組むべきこと	43
(37)	住みやすいまちのために取り組むべきこと	45
4	自由記述	47
(38)	地域福祉についてのアイデア・提案・意見	47
(39)	立川市のキャッチフレーズ	78
5	巻末資料	
	アンケート調査票	
	福祉圏域の区分と主な地域資源	

1 調査概要

(1) 調査目的

地域生活の現状や課題、地域での支えあいの状況などを把握し、立川市第5次地域福祉計画の策定作業を進めていく上での基礎資料とする。

(2) 調査対象

立川市に住民登録をしている基準日現在で満 18 歳以上の男女 3,000 人

(3) 抽出方法

層化無作為抽出

(各町の人口規模・年代構成・男女比で比例配分のうえ、無作為抽出)

(4) 調査回収

郵送調査法、無記名方式(回答方法は郵送またはオンライン)

(5) 調査期間

令和5年 10 月 3 日調査票発送から 11 月 15 日回答投函・オンライン送信締め切り

※郵送は令和5年 11 月 30 日到着分まで受け付け

(6) 調査主体

立川市(福祉部地域福祉課)

(7) 回収結果

有効回収数: 1,192 件(郵送 735 件、オンライン 457 件)

有効回収率: 39.7%

(8) 集計における注意点

グラフや表中の数値(%)は、小数第2位を四捨五入して表示しているため、選択肢の数値の合計が 100%とならない場合がある。

回答を複数選択できる設問の数値(%)は、回答者数を母数として計算している場合があるため、選択肢の数値の合計が 100%とならない場合がある。

2 調査結果概要

「○(調査結果から読み取れること)」、「(番号)関連する設問」>「回答」という構成でまとめた。

※数字は、アンケートの設問番号

○地域生活の満足度は高い

(9)あなたは立川市やお住まいの地域の生活に満足していますか。

>満足・どちらかといえば満足 84.8%

○外出を諦めた理由は移動手段やきつかけ、費用の問題が多い

(12) あなたは外出したいと思っても、困りごとがあるために諦めたことがありますか。

>ある 22.5% いいえ 75.7%

(13) (12)で「ある」と回答した方にお聞きします。外出を諦めたのはどのような理由でしたか。

>目的地までの移動手段がないため 34.7%

>気軽にでかけることができる場所、機会、きつかけがないため 26.1%

>費用がかかり負担となるため 25.4%

○一番目に利用の多い交通手段は、「自転車・バイク」、「自家用車(自分で運転する)」、「徒歩」が多く、二番目の交通手段としては、「バス」、「電車、モノレール」も多い。

(14) 日頃、市内を移動するときに最も利用する交通手段はなんですか。

>自転車、バイク 26.9%

>自家用車(自分で運転する) 23.4%

>徒歩 17.0%

(15) (14)で回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。

>ほとんど毎日 50.9%

(16) 日頃、市内を移動するときに2番目によく利用する交通手段はなんですか。

>徒歩 21.0% >バス 16.7%

>自転車、バイク 16.4% >電車、モノレール 14.8%

(17) (16)で回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。

>月に数回 30.7% >週に1~2日 30.6%

○外出目的は買い物や仕事が多い

(20) 外出の目的として、最も頻度が高いものはなんですか。

＞買い物 46.4% ＞仕事 34.4%

(21) (20)で回答した目的の頻度はどのくらいですか。

＞ほとんど毎日 39.0% ＞週に3～4日 27.5%

(22) 外出の目的として、2番目に頻度が高いものはなんですか。

＞買い物 41.4% ＞通院 12.9% ＞家族、友人との交流 12.9%

○居住する地域の範囲の認識に差はあるが、丁目と町が多い

(26) あなたが「お住まいの地域」として考えるのは、どのくらいの範囲ですか。

＞丁目(徒歩 15 分程度) 29.0%

＞町(徒歩 30 分程度) 28.0%

○地域の中でのつきあいは、挨拶が中心

(27) 「お住まいの地域」の中でお付き合いはどの程度ですか。

＞顔を会わせれば挨拶する 40.8%

○困り事を手伝いたい気持ちを持っているが、事情があり手伝えないほかに、きつかけがないことも多い

(28) 「お住まいの地域」の方が生活上の困りごとを抱えていることが分かった場合あなたは
どうしますか。

＞手伝う 41.9%

＞手伝いたいと思うが事情があって手伝うことが難しい 35.3%

(31) (28)で「手伝いたいと思うが事情があって手伝うことが難しい」と回答した方にお聞き
します。そう考える事情はどのようなことですか。

＞仕事や家の用事で忙しい 52.3% ＞健康上の理由 25.2%

＞きつかけがない 24.2%

○地域の困りごとへ手伝える範囲は「声かけ・見守り」が特に多い

(29) (28)で「手伝う」と回答した方にお聞きします。次のような困りごとのうち手伝える範囲
について、お聞かせください。

＞声かけ・見守り 82.2% ＞話し相手 51.3%

＞買い物代行 32.1%

○相談先として公的な窓口の役割は高い

- (32) あなた自身、もしくはあなたと同居する方が生活上の困りごとを抱えた場合、どこに相談しようと考えますか。
- ＞家族(親族) 77.0%
 - ＞市役所などの行政窓口 46.6%
 - ＞友人 35.9%
 - ＞市が開催する「くらしの相談」等の専門家相談 21.4%
 - ＞社会福祉協議会、地域包括支援センター等、
行政以外の相談窓口 21.1%
- (33) あなた自身、もしくはあなたと同居する方が生活上の困りごとを抱えた場合、解決に関する情報はどこから得ますか(得ようと思いますか)。
- ＞インターネット情報(市、社会福祉協議会以外) 52.1%
 - ＞市役所の各種窓口 46.8%
 - ＞市、社会福祉協議会のホームページ 33.2%
 - ＞市報(広報たちかわ)や社会福祉協議会広報
(あいあい通信、まちねっと) 31.6%

○情報の入手は、IT、アナログ、双方から

上記 33 参照

○なんでも相談できる窓口の必要性が高まっている

- (34) 生活上の困りごとを抱える人を支援するために、あなたが必要と思うものはなんですか。
- ＞日頃からの家族、親族とのコミュニケーション 60.1%
 - ＞なんでも相談できる窓口の設置 57.2%

○防災対策として取り組むことができることは防災訓練への参加

- (35) 地震や風水害が発生したとき、その被害を広めないために地域で日頃から取り組んでおくこととしてあなたができることはなんですか。
- ＞防災訓練、避難訓練への参加 53.1%
 - ＞地域での防災マップづくり 31.5%

○住民や地域団体が主体となって取り組むほうがより効果的であるものは、「声かけ・見守り」と「健康づくり」

(36) 地域で発生する課題の中には、行政のみの対応や既存の制度による専門的な対応だけでは解決できない課題が数多くあります。次のような課題や取組の中で、住民や地域団体が主体となって取り組むほうがより効果的であると思うものはなんですか。

- ＞子どもや高齢者への声かけ・見守り 49.8%
- ＞住民の健康づくり 32.4%
- ＞サロン、サークル等の交流の場づくり 26.8%
- ＞防災訓練、避難訓練 25.0%
- ＞子ども食堂 25.0%

○立川市で重点的に取り組むべきことは、

「相談窓口の設置」「情報が届く仕組みづくり」「福祉サービスの質」

(37) 今後、立川市をより住みやすいまちにするために、次のうちなにを重点的に取り組むべきだと思いますか。

- ＞なんでも相談できる相談窓口の設置 46.2%
- ＞支援が必要な人に必要な情報が届くしくみづくり 45.5%
- ＞福祉サービスの質の向上 40.9%
- ＞相談体制の充実 38.9%
- ＞防犯・防災への取り組み 35.1%

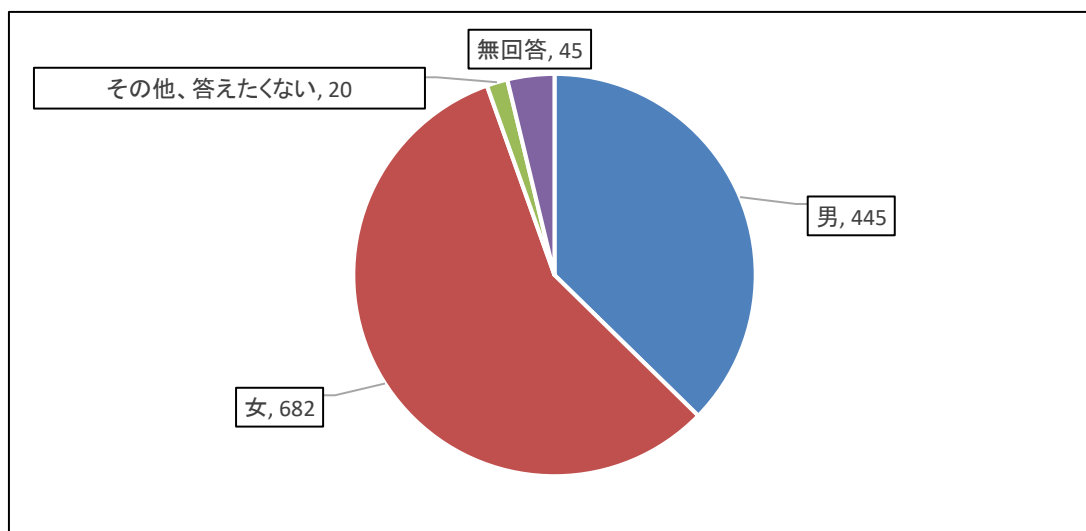
3 集計結果

※クロス集計等で特徴的な傾向がみられた結果に対してはコメントを記載した。

① 属性

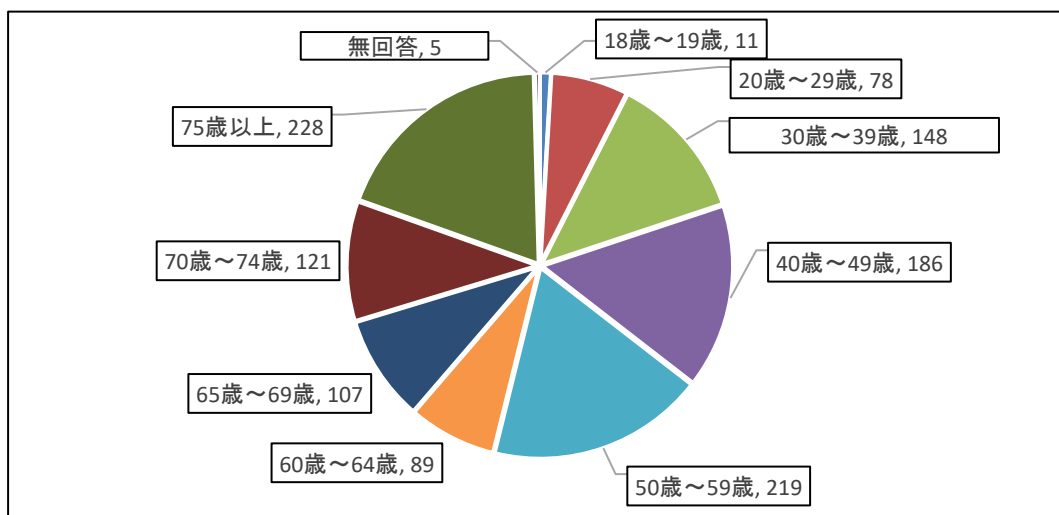
(1) あなたの性別についてお聞かせください。(1つを選択)

	選択肢	回答数	構成比
(1)	男	445	37.3%
(2)	女	682	57.2%
(3)	その他、答えたくない	20	1.7%
	無回答	45	3.8%
	計	1,192	100.0%



(2) あなたの年齢についてお聞かせください。(1つを選択)

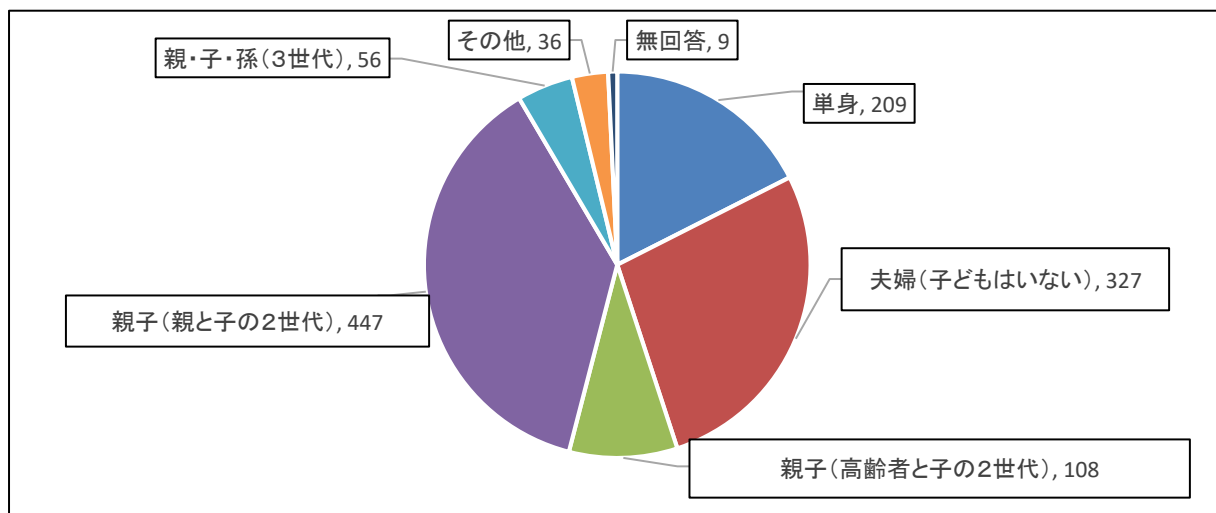
	選択肢	回答数	構成比
(1)	18歳～19歳	11	0.9%
(2)	20歳～29歳	78	6.5%
(3)	30歳～39歳	148	12.4%
(4)	40歳～49歳	186	15.6%
(5)	50歳～59歳	219	18.4%
(6)	60歳～64歳	89	7.5%
(7)	65歳～69歳	107	9.0%
(8)	70歳～74歳	121	10.2%
(9)	75歳以上	228	19.1%
	無回答	5	0.4%
	計	1,192	100.0%



・回答者の構成比と令和5年10月1日時点での人口比を比較すると年齢によって多少の増減はあるが概ね人口割合に沿った回答を得ることができた。傾向としては、「50歳～59歳」を境に若い世代は回答率が人口割合より低く、高齢世代は人口割合よりも高い回答率となっている。このことから若い世代の関心の低さを確認することができる。

(3) あなたと同居する家族の構成についてお聞かせください。(1つを選択)

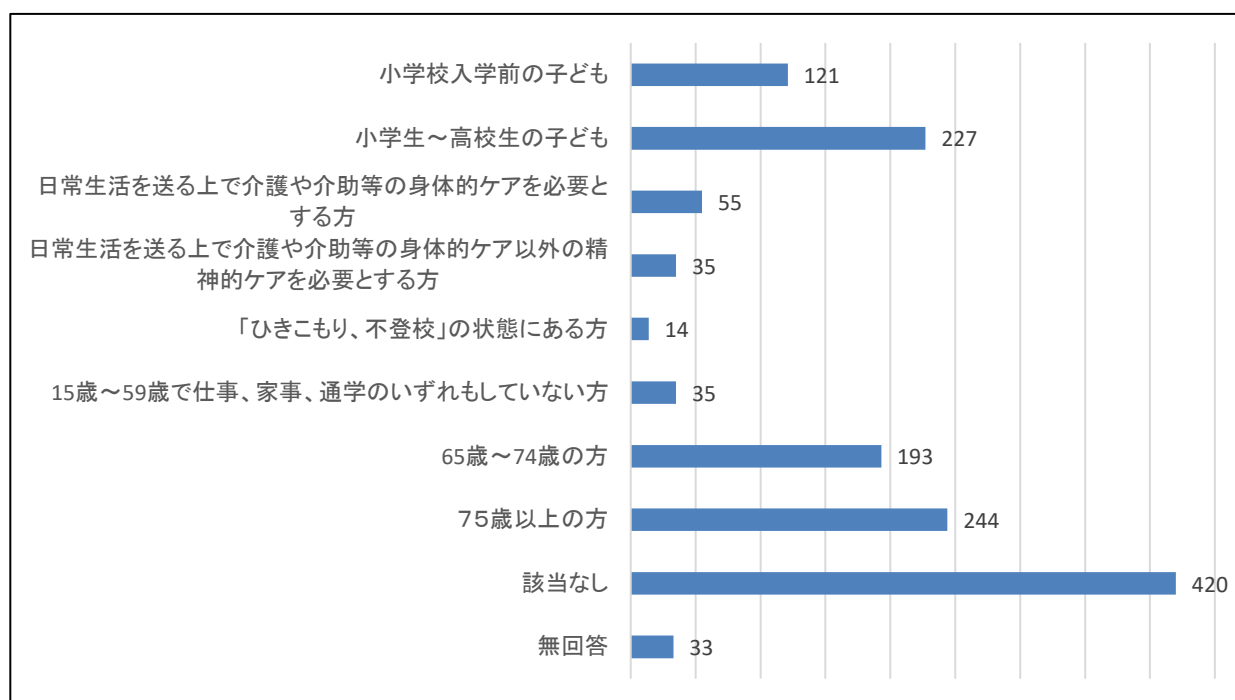
	選択肢	回答数	構成比
(1)	単身	209	17.5%
(2)	夫婦(子どもはいない)	327	27.4%
(3)	親子(高齢者と子の2世代)	108	9.1%
(4)	親子(親と子の2世代)	447	37.5%
(5)	親・子・孫(3世代)	56	4.7%
(6)	その他	36	3.0%
	無回答	9	0.8%
	計	1,192	100.0%



・前回の平成30年度調査と比較しても、大きな家族構成割合の変化はないが、「単身」と回答した人の割合は、前々回調査、前回調査、今回調査と増加している。

(4) あなた自身、もしくはあなたと同居する方に、次のような方はいますか。(あてはまるものを全てを選択)

		回答数	構成比
(1)	小学校入学前の子ども	121	8.8%
(2)	小学生～高校生の子ども	227	16.5%
(3)	日常生活を送る上で介護や介助等の身体的ケアを必要とする方	55	4.0%
(4)	日常生活を送る上で介護や介助等の身体的ケア以外の精神的ケアを必要とする方	35	2.5%
(5)	「ひきこもり、不登校」の状態にある方	14	1.0%
(6)	15歳～59歳で仕事、家事、通学のいずれもしていない方	35	2.5%
(7)	65歳～74歳の方	193	14.0%
(8)	75歳以上の方	244	17.7%
(9)	該当なし	420	30.5%
	無回答	33	2.4%
	回答者計	1,377	100.0%

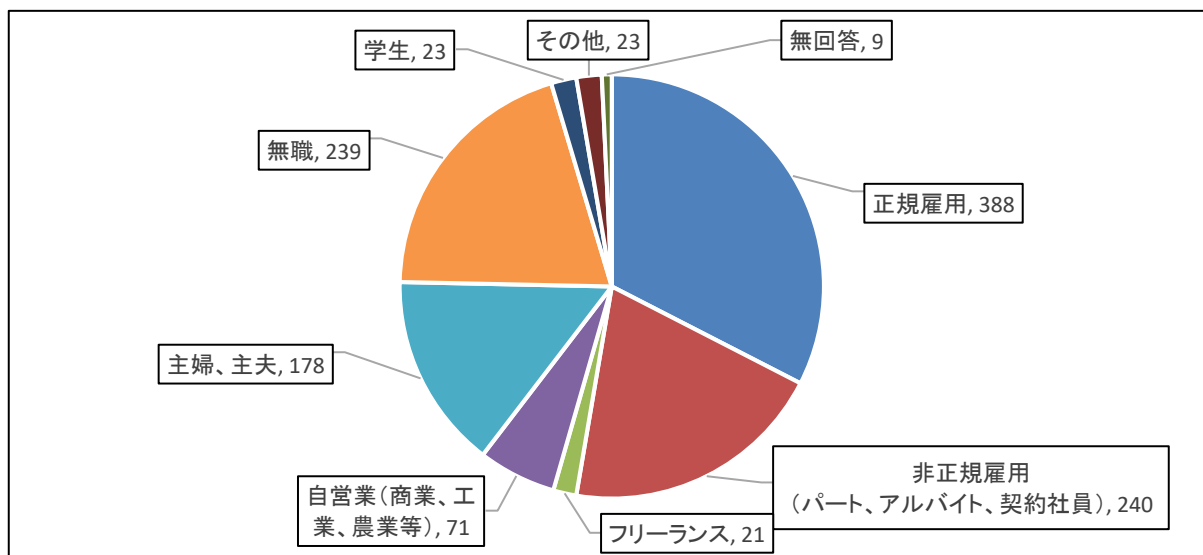


※「精神的ケア」とは、この設問では気分の落ち込みや幻覚、妄想等の心身に様々な影響が出る疾患として、うつ病や双極性障害、統合失調症をはじめ、生まれつきの脳機能の偏りによる発達障害等に対するケアのことをいいます。

・前々回の平成25年度調査では、「小学校入学前の子ども」(7.7%)、「小学生～高校生の子ども」(12.3%)であったため、子どもがいると回答した世帯が増えていると考察されているが、前々回調査、前回調査、今回調査を比較すると、増加傾向はなく、多少の増減はあるもののほぼ横ばいで推移している。

(5) あなたの働き方について、お聞かせください。(1つを選択)

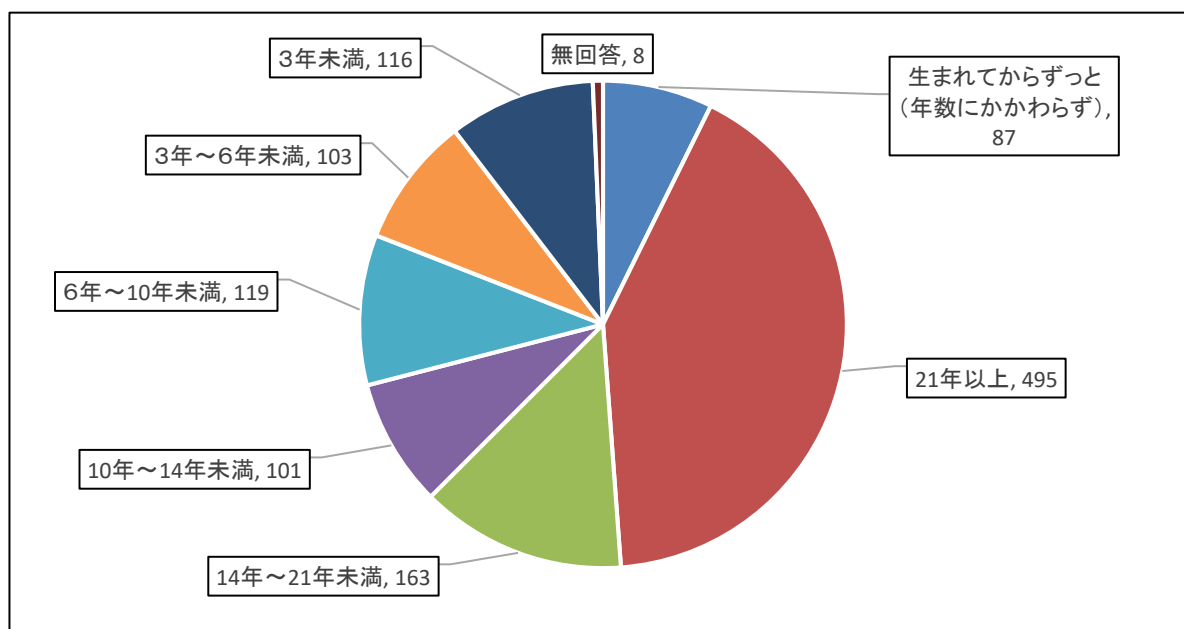
		回答数	構成比
(1)	正規雇用	388	32.6%
(2)	非正規雇用 (パート、アルバイト、契約社員)	240	20.1%
(3)	フリーランス	21	1.8%
(4)	自営業(商業、工業、農業等)	71	6.0%
(5)	主婦、主夫	178	14.9%
(6)	無職	239	20.1%
(7)	学生	23	1.9%
(8)	その他	23	1.9%
	無回答	9	0.8%
	計	1,192	100.0%



- ・「非正規雇用(パート・アルバイト・契約社員)」と回答した人は、前回調査では約8割が女性であったが、今回調査では、約73%となった。
- ・「主婦・主夫」と回答した人は、前回調査では約97%が女性であったが、今回調査では、約90%となった。
- ・「無職」と回答した人は、前回調査では約9割が60歳以上であり、その割合は今回調査では、約92%となった。

(6) 現在お住まいの地域での居住年数についてお聞かせください。(1つを選択)

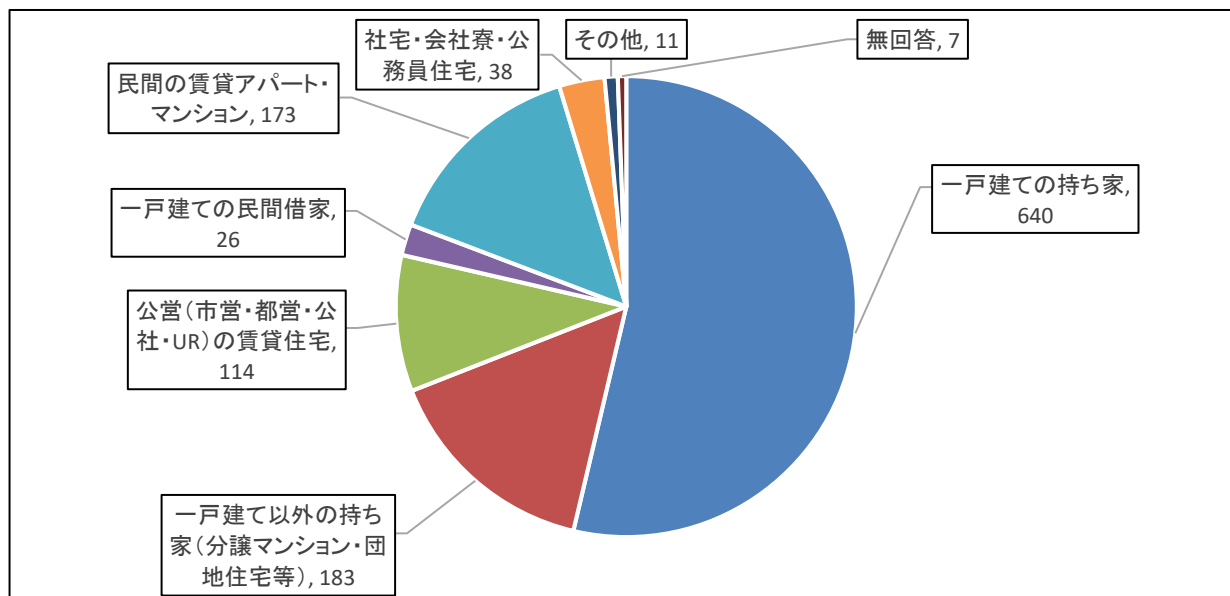
		回答数	構成比
(1)	生まれてからずっと(年数にかかわらず)	87	7.3%
(2)	21年以上	495	41.5%
(3)	14年～21年未満	163	13.7%
(4)	10年～14年未満	101	8.5%
(5)	6年～10年未満	119	10.0%
(6)	3年～6年未満	103	8.6%
(7)	3年未満	116	9.7%
	無回答	8	0.7%
	計	1,192	100.0%



・前回調査では、「21年以上」(「生まれてからずっと」を含む)と回答した人の割合は、42.7%、「10年以上」と回答した人の割合は68.8%であったが、今回調査では、「21年以上」(「生まれてからずっと」を含む)と回答した人の割合は、48.8%、「10年以上」と回答した人の割合は71.0%となり、いずれの割合も上昇しており、長く住んでいる人が増えている。

(7) あなたの現在のお住まいは、どれにあたりますか。(1つを選択)

		回答数	構成比
(1)	一戸建ての持ち家	640	53.7%
(2)	一戸建て以外の持ち家(分譲マンション・団地住宅等)	183	15.4%
(3)	公営(市営・都営・公社・UR)の賃貸住宅	114	9.6%
(4)	一戸建ての民間借家	26	2.2%
(5)	民間の賃貸アパート・マンション	173	14.5%
(6)	社宅・会社寮・公務員住宅	38	3.2%
(7)	その他	11	0.9%
	無回答	7	0.6%
	計	1,192	100.0%

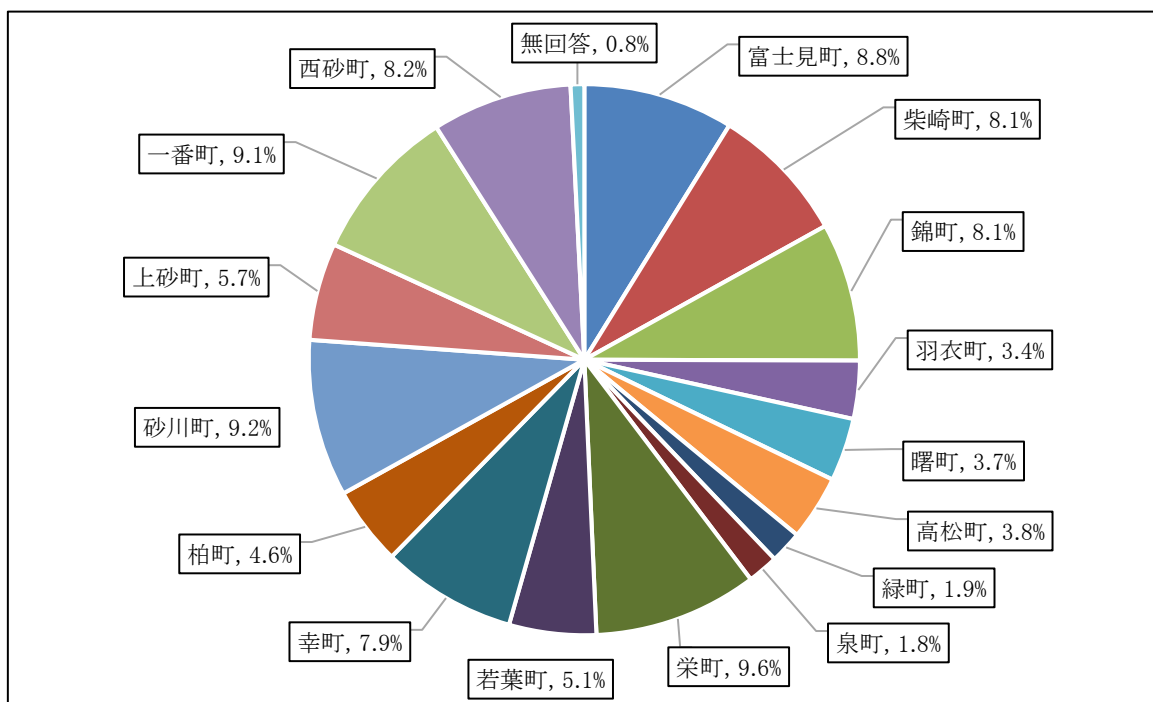


・前回調査では、「一戸建ての持ち家」と回答した人の割合は、49.2%であったが、今回調査では、「一戸建ての持ち家」と回答した人の割合は、53.7%と上昇している。

・前回調査では前々回調査との比較として、「公営の賃貸住宅」の割合が減り(18.6%⇒10.4%)、対して「民間の賃貸アパート・マンション」の割合が増えている(13.3%⇒17.3%)との考察がなされているが、今回調査でそれらの割合は、「公営の賃貸住宅」と回答した人の割合は、9.6%とわずかではあるが減少しているものの、「民間の賃貸アパート・マンション」と回答した人の割合は、14.5%となり、明確な傾向は確認できない。

(8) あなたのお住まいの地区についてお聞かせください。(1つを選択)

		回答数	構成比
(1)	富士見町	105	8.8%
(2)	柴崎町	96	8.1%
(3)	錦町	97	8.1%
(4)	羽衣町	41	3.4%
(5)	曙町	44	3.7%
(6)	高松町	45	3.8%
(7)	緑町	23	1.9%
(8)	泉町	21	1.8%
(9)	栄町	115	9.6%
(10)	若葉町	61	5.1%
(11)	幸町	94	7.9%
(12)	柏町	55	4.6%
(13)	砂川町	110	9.2%
(14)	上砂町	68	5.7%
(15)	一番町	109	9.1%
(16)	西砂町	98	8.2%
	無回答	10	0.8%
	計	1,192	100.0%

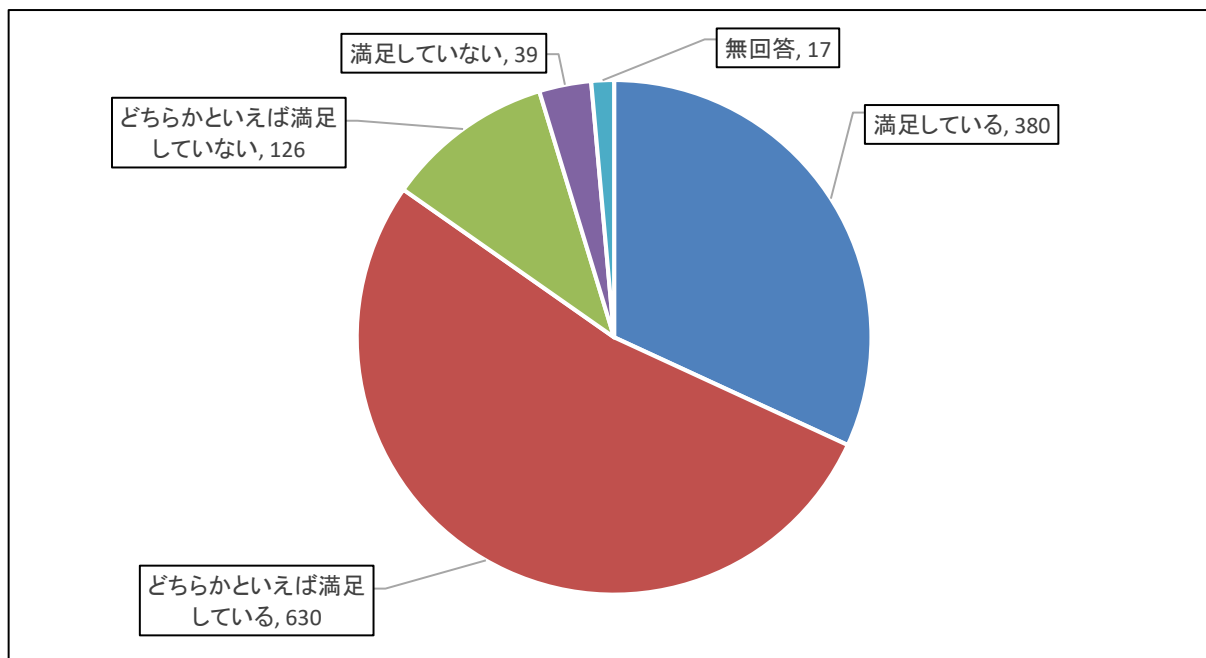


・回答者の町別構成比は、令和5年10月1日時点の人口における町別構成比は、町によって多少の増減はあるが概ね人口割合に沿った回答を得ることができた。

② 調査結果

(9) あなたは立川市やお住まいの地域の生活に満足していますか。(1つを選択)

		回答数	構成比
(1)	満足している	380	31.9%
(2)	どちらかといえば満足している	630	52.9%
(3)	どちらかといえば満足していない	126	10.6%
(4)	満足していない	39	3.3%
	無回答	17	1.4%
	計	1,192	100.0%

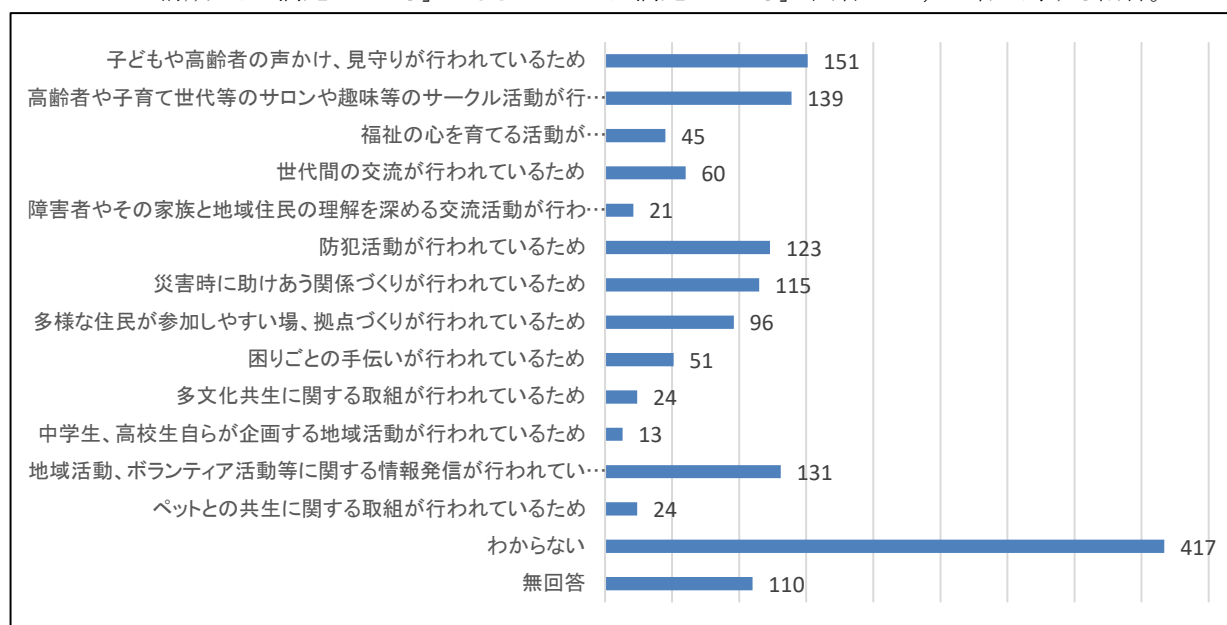


- ・年齢別にみても、各世代とも約8割の人が「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答している。
- ・居住地域別でみた場合、「満足していない」「どちらかといえば満足していない」と回答した人は、柏町、上砂町、一番町、西砂町では20%を超えている。次いで若葉町が16.4%となっている。
- ・「満足していない」と回答した人は、西砂町が最も高く8.2%。
- ・富士見町は「満足」「どちらかといえば満足」の割合が高いが、「満足していない」と回答した人の割合も5.7%と、西砂町に次いで高い割合となっている。

(10) (9)で「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した方にお聞きします。そう思った理由をお聞かせください。(あてはまるもの全てを選択)

		回答数	構成比
(1)	子どもや高齢者の声かけ、見守りが行われているため	151	15.0%
(2)	高齢者や子育て世代等のサロンや趣味等のサークル活動が行われているため	139	13.8%
(3)	福祉の心を育てる活動が行われているため	45	4.5%
(4)	世代間の交流が行われているため	60	5.9%
(5)	障害者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動が行われているため	21	2.1%
(6)	防犯活動が行われているため	123	12.2%
(7)	災害時に助けあう関係づくりが行われているため	115	11.4%
(8)	多様な住民が参加しやすい場、拠点づくりが行われているため	96	9.5%
(9)	困りごとの手伝いが行われているため	51	5.0%
(10)	多文化共生に関する取組が行われているため	24	2.4%
(11)	中学生、高校生自らが企画する地域活動が行われているため	13	1.3%
(12)	地域活動、ボランティア活動等に関する情報発信が行われているため	131	13.0%
(13)	ペットとの共生に関する取組が行われているため	24	2.4%
(14)	わからない	417	41.3%
	無回答	110	10.9%
	計	1,520	150.7%

※構成比は「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した1,010名に対する割合。

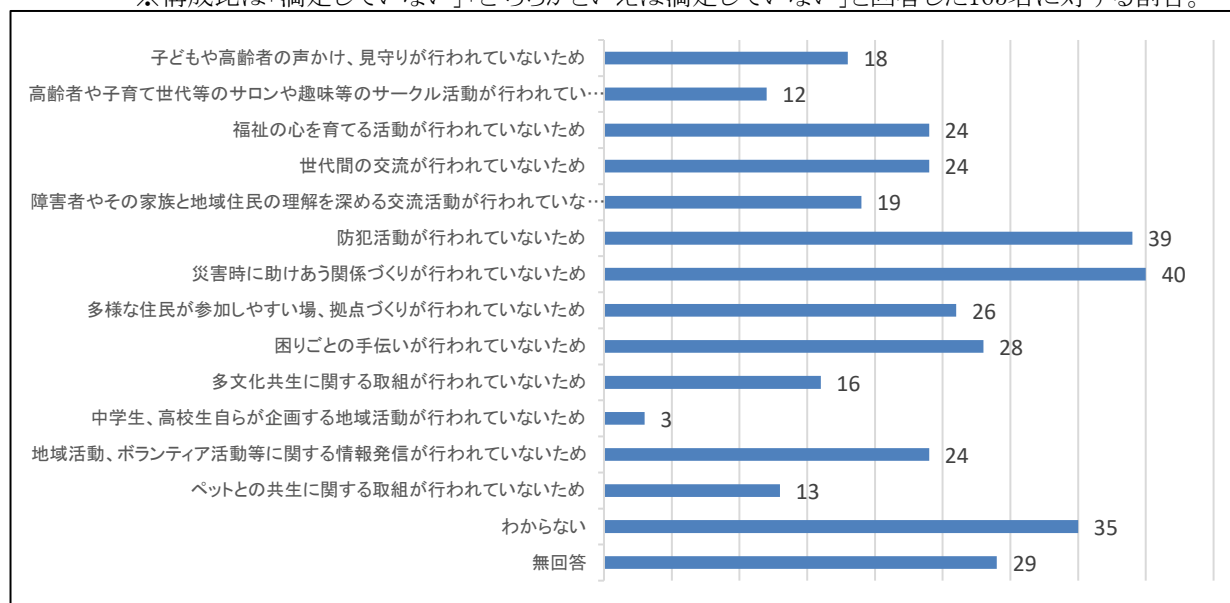


- ・各属性別に見てみると、年齢「18～19歳、20～29歳」および職業「学生」が他より高い割合(5割前後)で「満足している」と回答している。
- ・「わからない」と回答した人が最も多く、属性別に見ても「わからない」と回答した人が多く、(1)～(13)の選択肢以外に理由があると考えられる。

(11) (9)で「満足していない」、「どちらかといえば満足していない」と回答した方にお聞きします。そう思った理由をお聞かせください。(あてはまるもの全てを選択)

		回答数	構成比
(1)	子どもや高齢者の声かけ、見守りが行われていないため	18	10.9%
(2)	高齢者や子育て世代等のサロンや趣味等のサークル活動が行われていないため	12	7.3%
(3)	福祉の心を育てる活動が行われていないため	24	14.5%
(4)	世代間の交流が行われていないため	24	14.5%
(5)	障害者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動が行われていないため	19	11.5%
(6)	防犯活動が行われていないため	39	23.6%
(7)	災害時に助けあう関係づくりが行われていないため	40	24.2%
(8)	多様な住民が参加しやすい場、拠点づくりが行われていないため	26	15.8%
(9)	困りごとの手伝いが行われていないため	28	17.0%
(10)	多文化共生に関する取組が行われていないため	16	9.7%
(11)	中学生、高校生自らが企画する地域活動が行われていないため	3	1.8%
(12)	地域活動、ボランティア活動等に関する情報発信が行われていないため	24	14.5%
(13)	ペットとの共生に関する取組が行われていないため	13	7.9%
(14)	わからない	35	21.2%
	無回答	29	17.6%
	計	350	212.0%

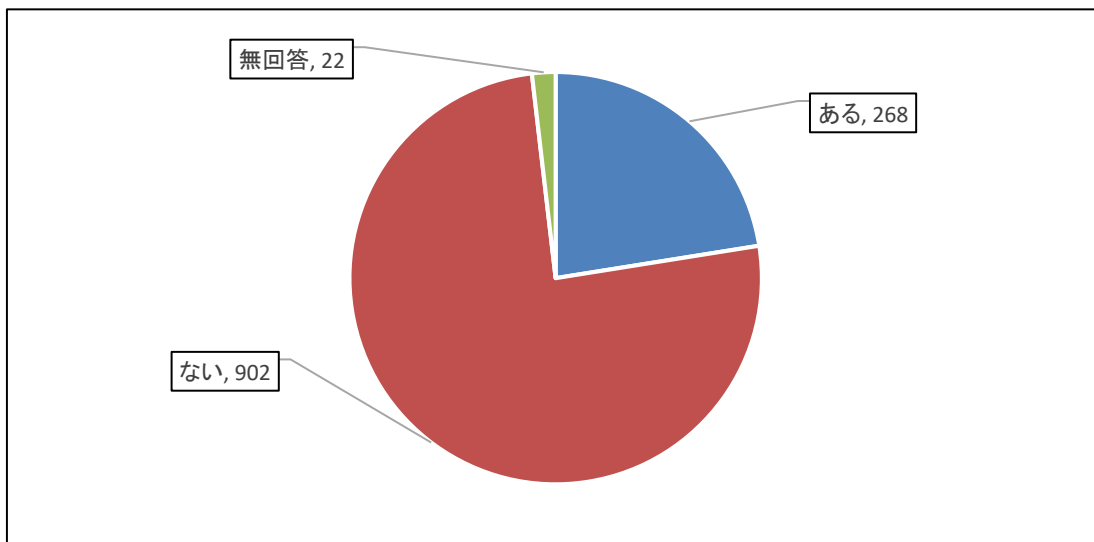
※構成比は「満足していない」「どちらかといえば満足していない」と回答した165名に対する割合。



・「防犯活動が行われていないため」「災害時に助けあう関係づくりが行われていないため」と回答した人がやや多い傾向がある。

(12) あなたは外出したいと思っても、困りごとがあるために諦めたことがありますか。(1つを選択)

		回答数	構成比
(1)	ある	268	22.5%
(2)	ない	902	75.7%
	無回答	22	1.8%
	計	1,192	100.0%

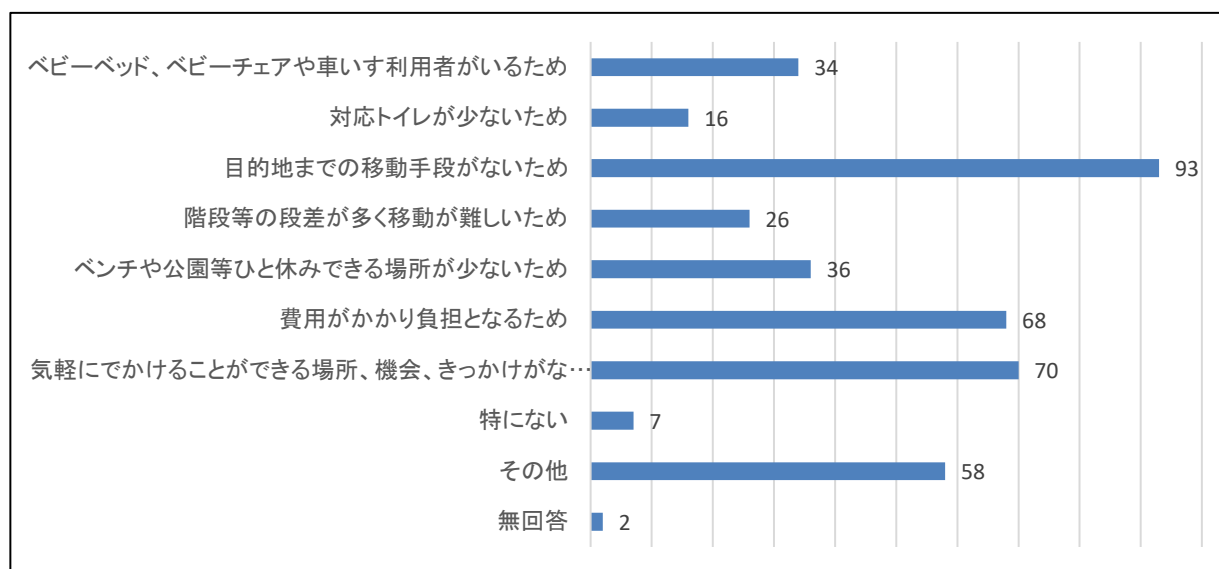


- ・性別でみると「ある」と回答した人は男性17.3%、女性25.1%となっており、女性のほうが多い。
- ・年齢別で「ある」と回答した人が最も多いのは「30歳～39歳」で35.1%、次いで「20歳～29歳」、「40歳～49歳」の順となっており若年層に多い傾向があり、高齢世代のほうがその割合は低い傾向があった。
- ・「高松町」、「若葉町」、「上砂町」、「一番町」、「西砂町」は「ある」の割合が他の地域と比較して高い傾向がある。
- ・「日常生活を送る上で介護や介助等の身体的ケア以外の精神的ケアを必要とする方」のみ「ある」と回答した人が「ない」と回答した人を上回っている。同居者内訳で「小学校入学前の子ども」を選択した人も「ある」と回答した割合が高い(46.3%)。
- ・設問(14)「日頃、市内を移動するときに最も利用する交通手段」との関連をみると、「自家用車(自分で運転する)」を回答した人は、外出を諦めたことが、ある(16.0%)、ない(25.8%)と約10%の差があり、「自家用車(自分で運転する)」を選択した人のほうが外出を諦めることが少ない。また、「タクシー」と回答した人は外出を諦めたことがある(5.2%)、ない(0.7%)となっており、「タクシー」を最も利用する人のほうが外出を諦めたことが多い。

(13) (12)で「ある」と回答した方にお聞きます。外出を諦めたのはどのような理由でしたか。(あてはまるもの全てを選択)

		回答数	構成比
(1)	ベビーベッド、ベビーチェアや車いす利用者がいるため	34	12.7%
(2)	対応トイレが少ないため	16	6.0%
(3)	目的地までの移動手段がないため	93	34.7%
(4)	階段等の段差が多く移動が難しいため	26	9.7%
(5)	ベンチや公園等ひと休みできる場所が少ないため	36	13.4%
(6)	費用がかかり負担となるため	68	25.4%
(7)	気軽にでかけることができる場所、機会、きっかけがないため	70	26.1%
(8)	特になし	7	2.6%
(9)	その他	58	21.6%
	無回答	2	0.7%
	計	410	152.9%

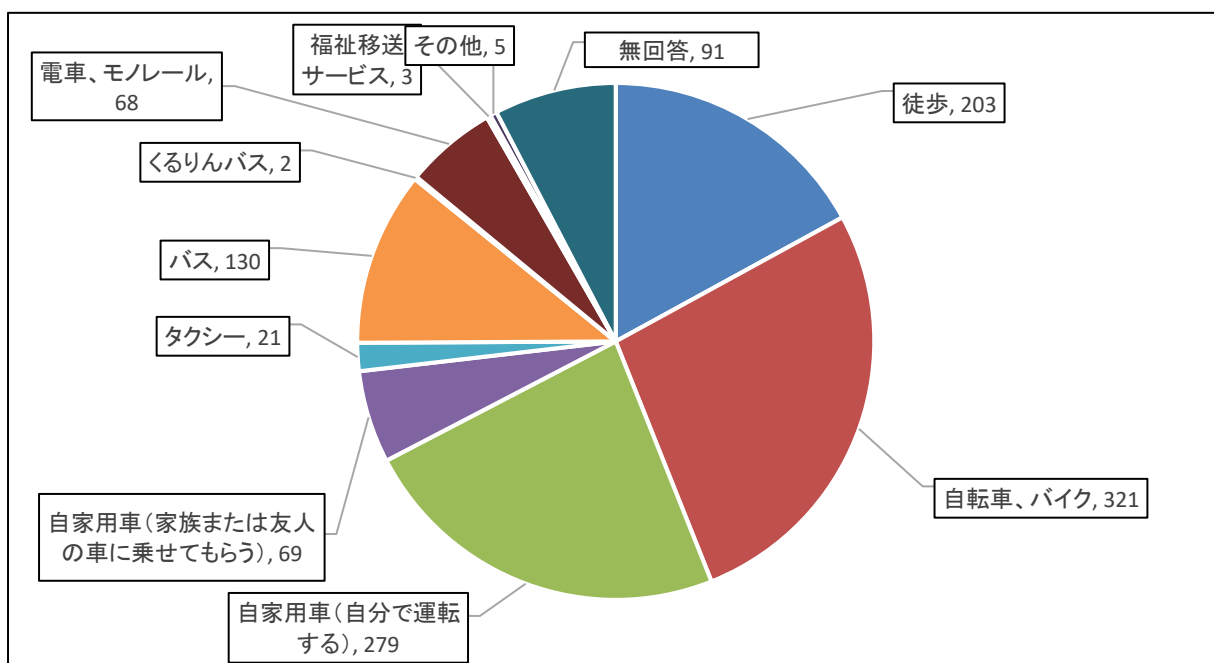
※構成比は「ある」と回答した268名に対する割合。



- 全体および属性別にみても「目的地までの移動手段がないため」、「費用がかかり負担となるため」、「気軽にでかけることができる場所、機会、きっかけがないため」と回答した人の割合が多い傾向があるが、「30歳～39歳」、「親と子の2世代」、「小学校入学前の子ども」などの子育て世代については、「ベビーベッド、ベビーチェアや車いす利用者がいるため」と回答した人が多くなる。
- 外出を諦めた理由として最も多い「目的地までの移動手段がないため」と回答した年齢の内訳を見ると、「30歳～39歳」と「75歳～」の区分が同率で最多であり、20.4%となった。
- 「気軽にでかけることができる場所、機会、きっかけがないため」と回答した人について、年齢の内訳を見ると、「75歳～」が最多で21.4%、次いで「30歳～39歳」と「50歳～59歳」が20.0%となった。
- 性別で見ると、いずれの理由についても、男性よりも女性のほうが「外出を諦めた理由」の割合が多い。

(14) 日頃、市内を移動するときに最も利用する交通手段はなんですか。(1つを選択)

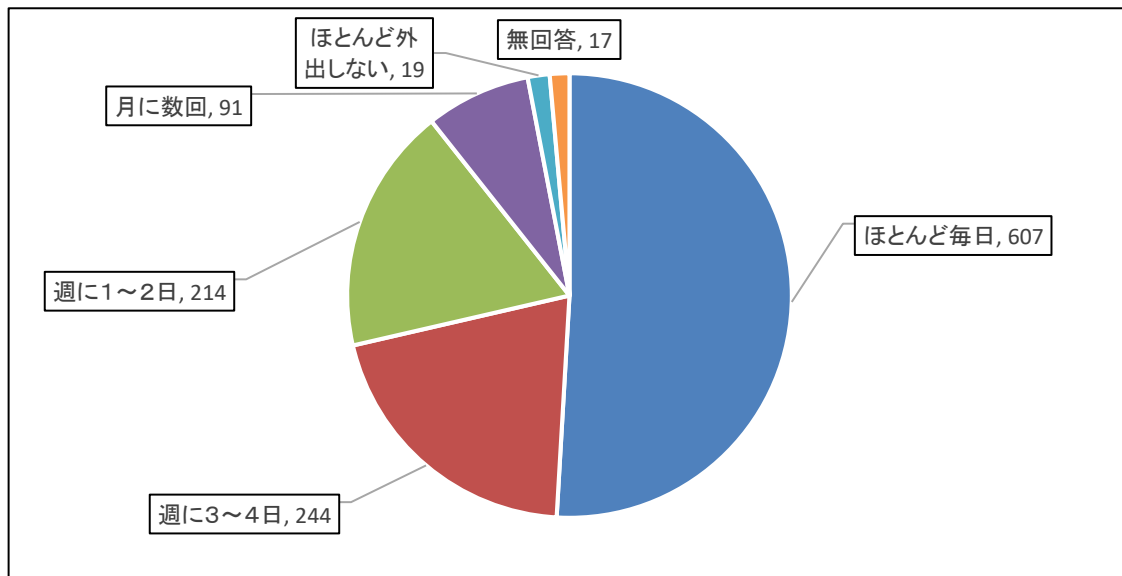
		回答数	構成比
(1)	徒歩	203	17.0%
(2)	自転車、バイク	321	26.9%
(3)	自家用車(自分で運転する)	279	23.4%
(4)	自家用車(家族または友人の車に乗せてもらう)	69	5.8%
(5)	タクシー	21	1.8%
(6)	バス	130	10.9%
(7)	くるりんバス	2	0.2%
(8)	電車、モノレール	68	5.7%
(9)	福祉移送サービス	3	0.3%
(10)	その他	5	0.4%
	無回答	91	7.6%
	計	1,192	100.0%



- ・「自家用車(自分で運転する)」と回答した人のうち、最も多い家族構成は47.7%で「親子(親と子の2世代)」であった。
- ・「自転車・バイク」と回答した人のうち、最も多い家族構成は39.9%で「親子(親と子の2世代)」であった。
- ・「バス」と回答した人は、50%が「75歳～」の年齢であった。
- ・「自転車・バイク」と回答した人は、「40歳～49歳(63人、19.6%)」が最も多く、2番目は「50歳～59歳(61人 19%)」、3番目は「75歳～(48人 15%)」であった。
- ・「75歳～」の人は、「自家用車(自分で運転する)」の割合が少なく、「バス」が高くなっている。
- ・居住地域別によると、南部地域は「徒歩」「自転車、バイク」が優位となり、北部地域は「自家用車(自分で運転する)」「自転車、バイク」が優位となる傾向がみられる。
- ・「富士見町」「若葉町」「泉町」はバスの割合が20%を超えている。
- ・孤立が最も懸念される「単身」「高齢者」はバスの割合が高い傾向がある。
- ・柏町は「電車・モノレール」(20.0%)の割合が最も高く、2番目の幸町(10.6%)と比較しても高い。
- ・くるりんバスが全体で0.2%で、活用されていないことがわかる。

(15) (14) で回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。(1つを選択)

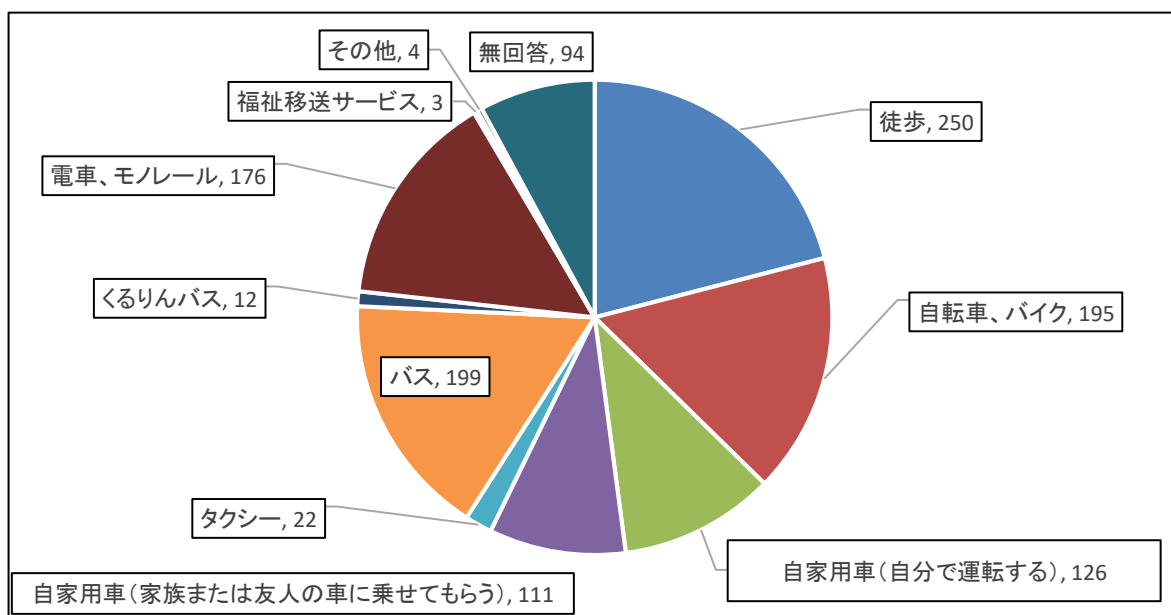
		回答数	構成比
(1)	ほとんど毎日	607	50.9%
(2)	週に3～4日	244	20.5%
(3)	週に1～2日	214	18.0%
(4)	月に数回	91	7.6%
(5)	ほとんど外出しない	19	1.6%
	無回答	17	1.4%
	計	1,192	100.0%



- ・「ほとんど毎日」と回答した人の家族構成は、「親子(親と子の2世代) (256人 42.2%)」が最も多く、2番目は「夫婦(子どもはいない) (142人 23.4%)」、3番目は「単身(108人 17.8%)」である。
- ・週3日以上利用する交通手段は「自転車・バイク」(64.2%)が最も多く、週1～2日では「自家用車(自分で運転する)」(36.0%)が最も多い。月に数回だと、「バス」(41.8%)が多い。

(16) 日頃、市内を移動するときに2番目によく利用する交通手段はなんですか。
(1つを選択)

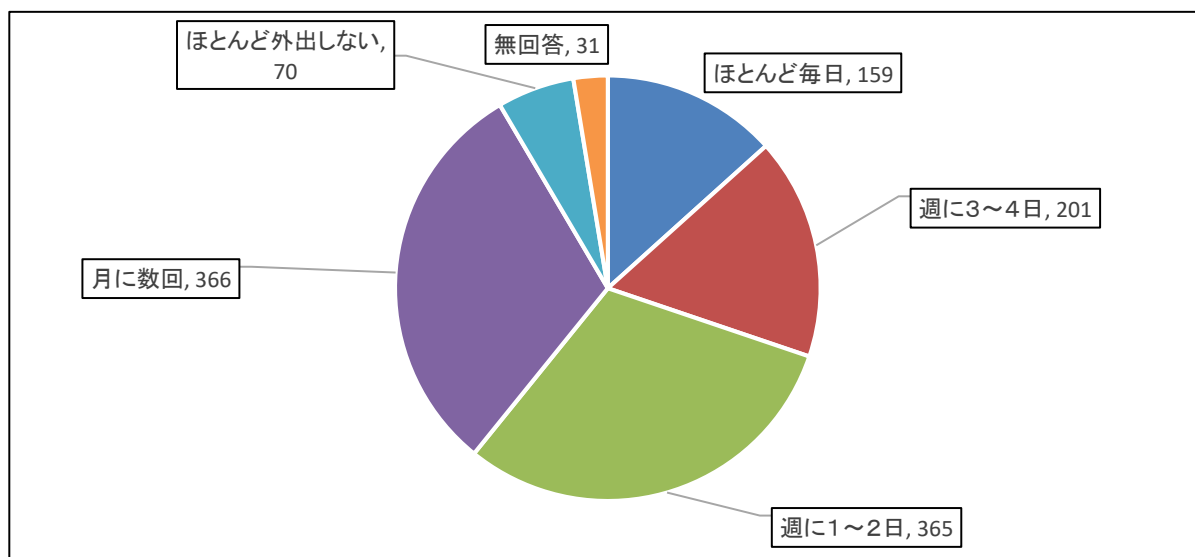
		回答数	構成比
(1)	徒歩	250	21.0%
(2)	自転車、バイク	195	16.4%
(3)	自家用車(自分で運転する)	126	10.6%
(4)	自家用車(家族または友人の車に乗せてもらう)	111	9.3%
(5)	タクシー	22	1.8%
(6)	バス	199	16.7%
(7)	ぐるりんバス	12	1.0%
(8)	電車、モノレール	176	14.8%
(9)	福祉移送サービス	3	0.3%
(10)	その他	4	0.3%
	無回答	94	7.9%
	計	1,192	100.0%



- ・「自転車、バイク」、「自家用車(自分で運転する)」、「自家用車(家族または友人の車に乗せてもらう)」、「電車、モノレール」のいずれかを回答した人のうち、最も多い「家族構成」は「親子(親と子の2世代)」である。
- ・「2番目によく利用する交通手段」が「バス」と回答した人は、「75歳～(64人 32.2%)」が最も多い。
- ・設問14「最も利用する交通手段」では全体で4位だった「バス」が全体2位、全体3位だった「徒歩」が1位となっているが、59歳以下の年齢層では「バス」よりも「電車、モノレール」の割合が高い。

(17) (16)で回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。(1つを選択)

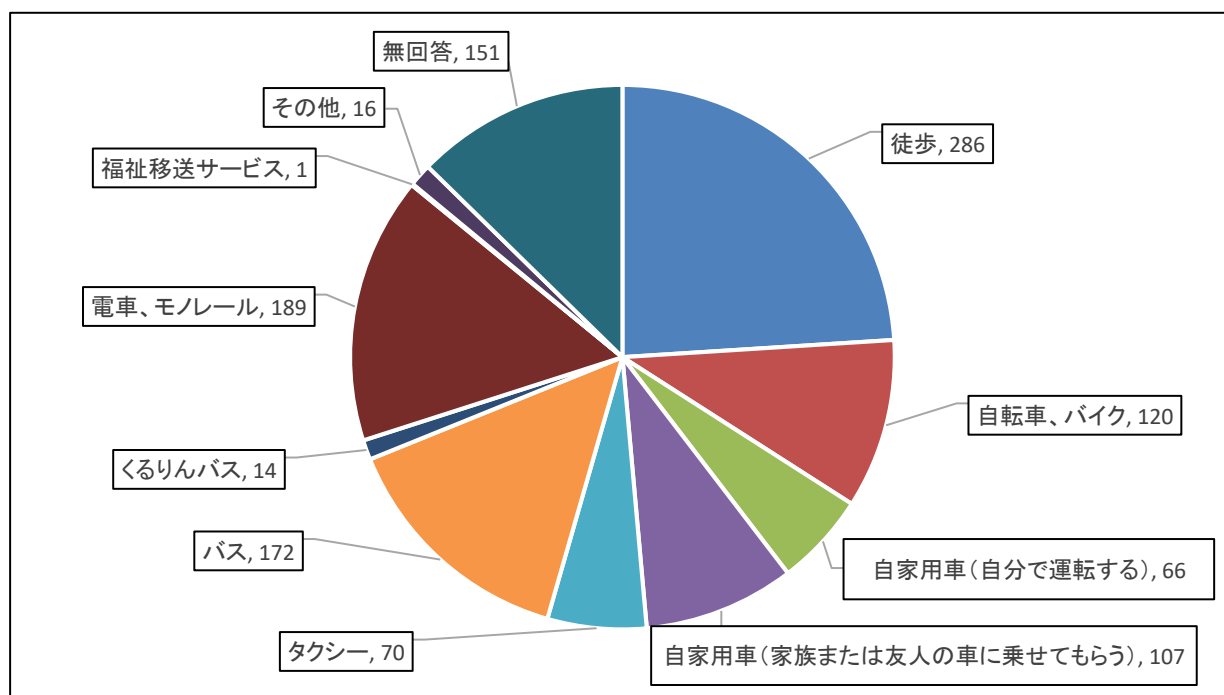
		回答数	構成比
(1)	ほとんど毎日	159	13.3%
(2)	週に3～4日	201	16.9%
(3)	週に1～2日	365	30.6%
(4)	月に数回	366	30.7%
(5)	ほとんど外出しない	70	5.9%
	無回答	31	2.6%
	計	1,192	100.0%



- ・「週に1～2日」と回答した人の家族構成は、「親子(親と子の2世代)(153人 41.9%)」が最も多く、2番目は、「夫婦(子どもはいない)(107人 29.3%)」である。
- ・「月に数回」と回答した人の家族構成は、「親子(親と子の2世代)(135人 36.9%)」が最も多く、2番目は、「夫婦(子どもはいない)(103人 28.1%)」である。

(18) 日頃、市内を移動するときに3番目によく利用する交通手段はなんですか。
(1つを選択)

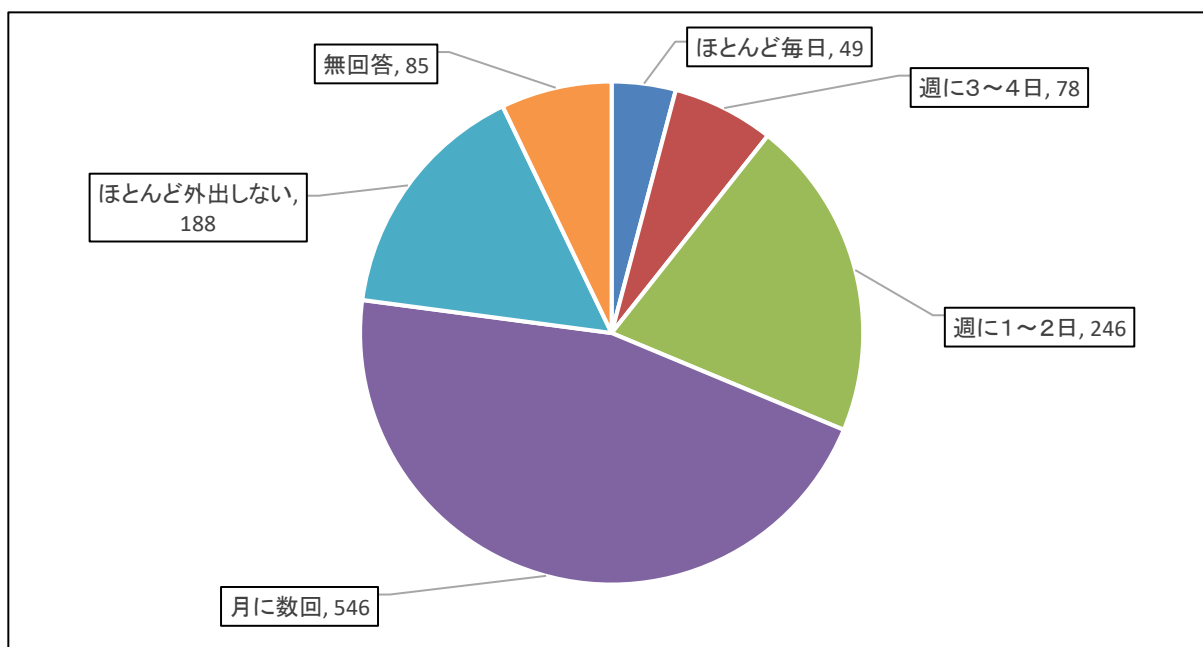
		回答数	構成比
(1)	徒歩	286	24.0%
(2)	自転車、バイク	120	10.1%
(3)	自家用車(自分で運転する)	66	5.5%
(4)	自家用車(家族または友人の車に乗せてもらう)	107	9.0%
(5)	タクシー	70	5.9%
(6)	バス	172	14.4%
(7)	ぐるりんバス	14	1.2%
(8)	電車、モノレール	189	15.9%
(9)	福祉移送サービス	1	0.1%
(10)	その他	16	1.3%
	無回答	151	12.7%
	計	1,192	100.0%



・ぐるりんバスは1.2%で、3番目の交通手段としても活用されていない。

(19) (18)で回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。(1つを選択)

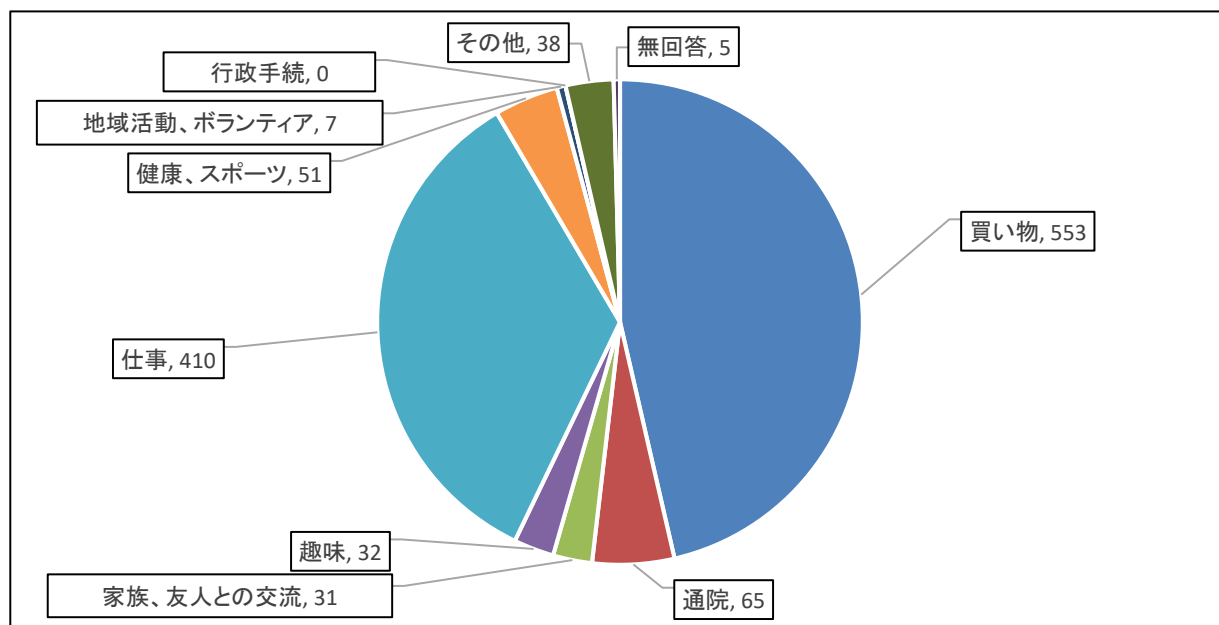
		回答数	構成比
(1)	ほとんど毎日	49	4.1%
(2)	週に3～4日	78	6.5%
(3)	週に1～2日	246	20.6%
(4)	月に数回	546	45.8%
(5)	ほとんど外出しない	188	15.8%
	無回答	85	7.1%
	計	1,192	100.0%



・「月に数回」と回答した人の家族構成は、「親子(親と子の2世代) (228人 41.8%)」が最も多く、2番目は「夫婦(子どもはいない) (148人 27.1%)」である。

(20) 外出の目的として、最も頻度が高いものはなんですか。(1つを選択)

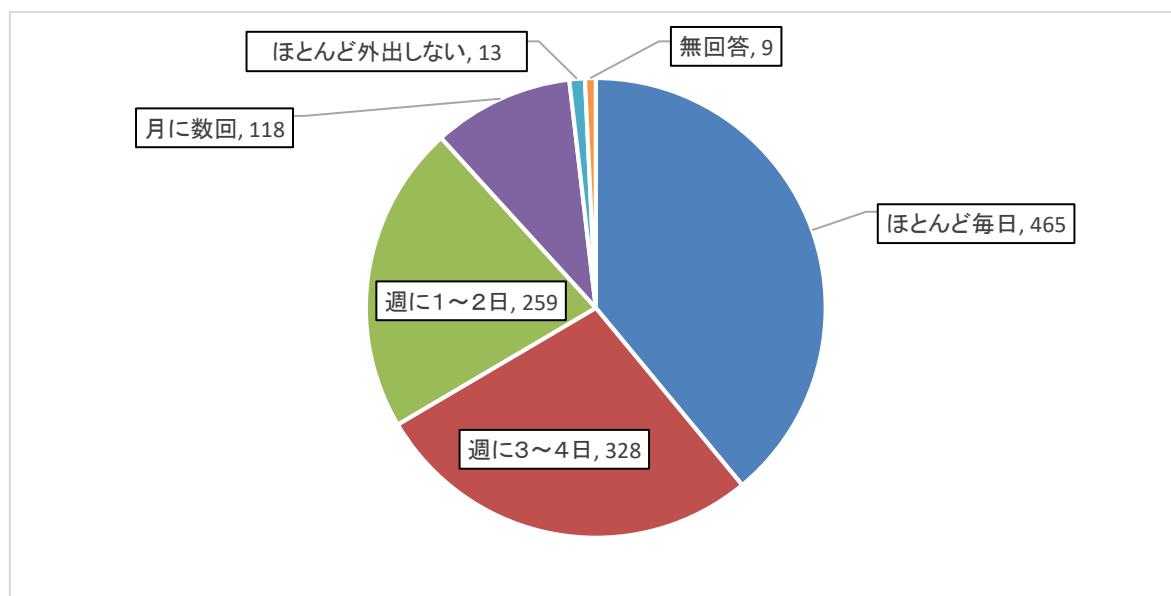
		回答数	構成比
(1)	買い物	553	46.4%
(2)	通院	65	5.5%
(3)	家族、友人との交流	31	2.6%
(4)	趣味	32	2.7%
(5)	仕事	410	34.4%
(6)	健康、スポーツ	51	4.3%
(7)	地域活動、ボランティア	7	0.6%
(8)	行政手続	0	0.0%
(9)	その他	38	3.2%
	無回答	5	0.4%
	計	1,192	100.0%



- ・「最も多い外出理由」を年齢ごとに比較すると、「50歳～59歳」以下の区分では「仕事」の割合が最も多く、「60歳～64歳」以上の区分は「買い物」の割合が最も多い。
- ・年齢別では70歳以上では、「通院」「健康、スポーツ」の割合が増加する傾向がみられる。

(21) (20)で回答した目的の頻度はどのくらいですか。(1つを選択)

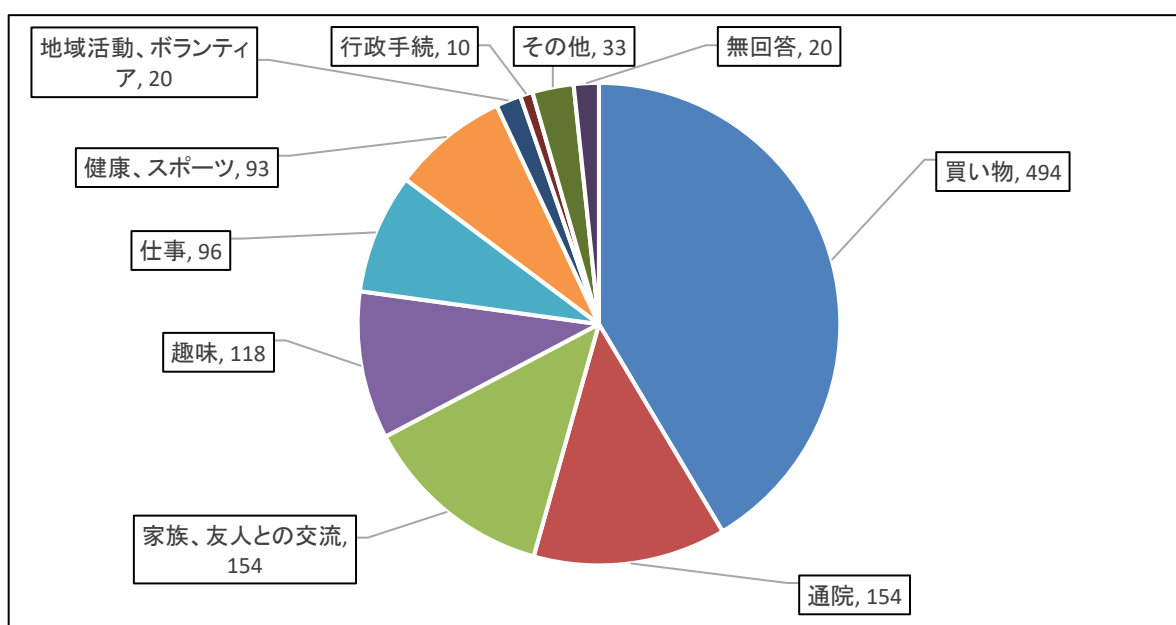
		回答数	構成比
(1)	ほとんど毎日	465	39.0%
(2)	週に3～4日	328	27.5%
(3)	週に1～2日	259	21.7%
(4)	月に数回	118	9.9%
(5)	ほとんど外出しない	13	1.1%
	無回答	9	0.8%
	計	1,192	100.0%



・外出の目的とその頻度を見ると、最も多いのは「仕事」・「ほとんど毎日」(292人 24.5%)、2番目に多いのは「買い物」・「週に1～2日」(190人 15.9%)、3番目に多いのは「買い物」・「週に3～4日」(181人 15.2%)である。

(22) 外出の目的として、2番目に頻度が高いものはなんですか。(1つを選択)

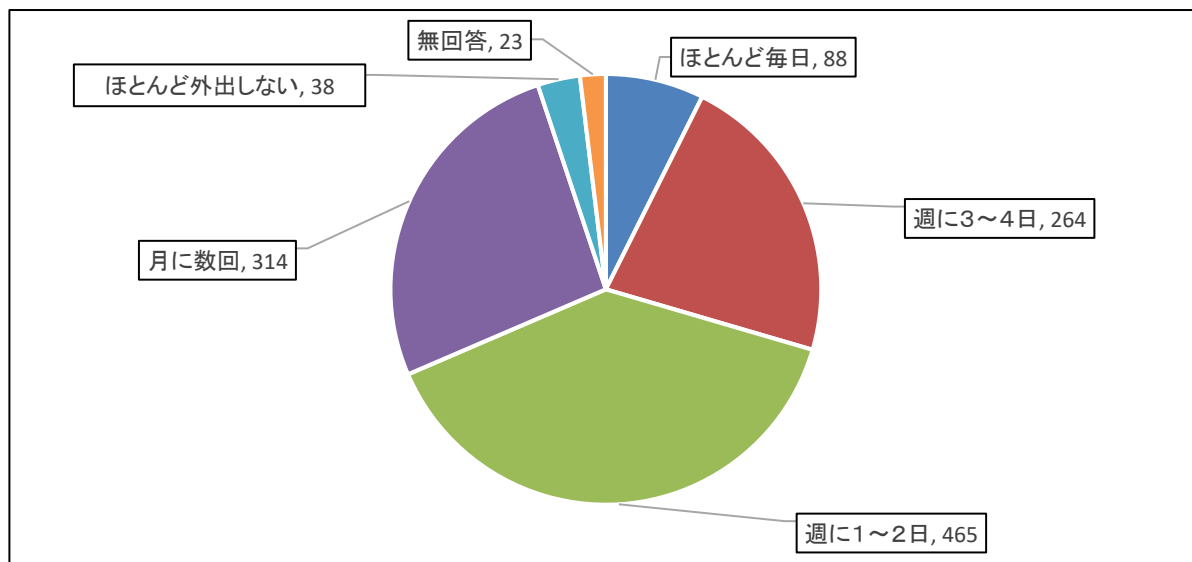
		回答数	構成比
(1)	買い物	494	41.4%
(2)	通院	154	12.9%
(3)	家族、友人との交流	154	12.9%
(4)	趣味	118	9.9%
(5)	仕事	96	8.1%
(6)	健康、スポーツ	93	7.8%
(7)	地域活動、ボランティア	20	1.7%
(8)	行政手続	10	0.8%
(9)	その他	33	2.8%
	無回答	20	1.7%
	計	1,192	100.0%



- ・「2番目に多い外出理由」は、いずれの年齢においても「買い物」の割合が最も多い。
- ・2番目に多い外出目的の交通手段としては、「徒歩(21.0%)」が最も多く、次いで「バス(16.7%)」、「自転車・バイク(16.7%)」、「電車・モノレール(14.8%)」の順で多い。

(23) (22) で回答した目的の頻度はどのくらいですか。(1つを選択)

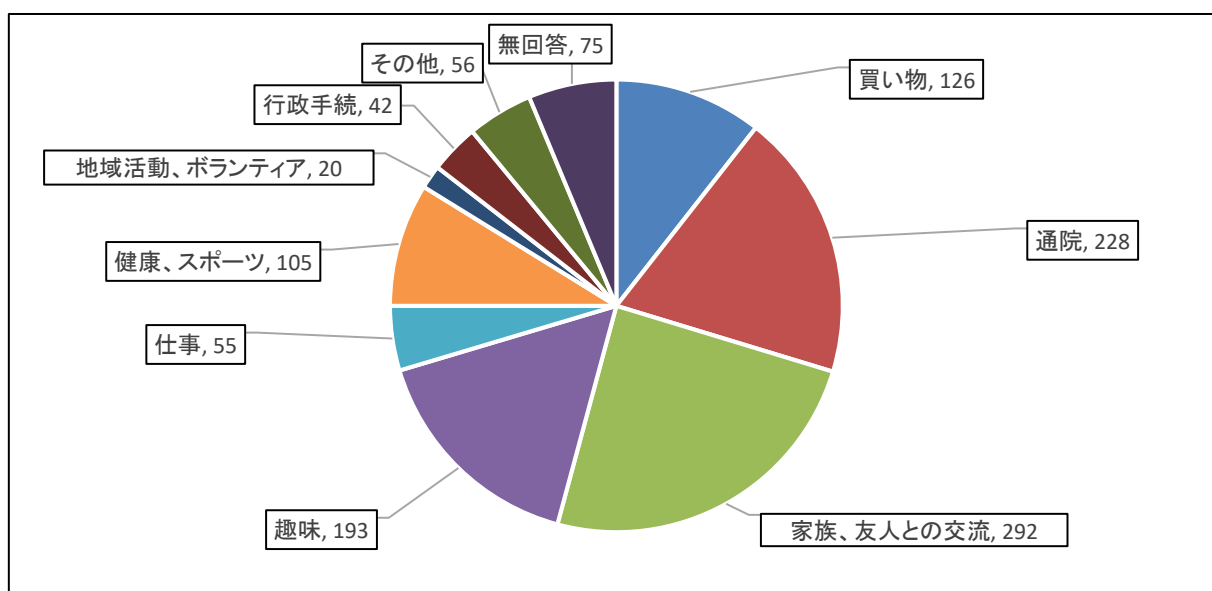
		回答数	構成比
(1)	ほとんど毎日	88	7.4%
(2)	週に3～4日	264	22.1%
(3)	週に1～2日	465	39.0%
(4)	月に数回	314	26.3%
(5)	ほとんど外出しない	38	3.2%
	無回答	23	1.9%
	計	1,192	100.0%



- ・外出の目的とその頻度を見ると、最も多いのは「買い物」・「週に1～2日」(245人 20.6%)、2番目に多いのは「買い物」・「週に3～4日」(135人 11.3%)、3番目に多いのは「通院」・「月に数回」(114人 9.6%)である。
- ・2番目の外出頻度は、「週に1～2回(39.0%)」が一番多く、次いで「月に数回(26.3%)」の順で多い。

(24) 外出の目的として、3番目に頻度が高いものはなんですか。(1つを選択)

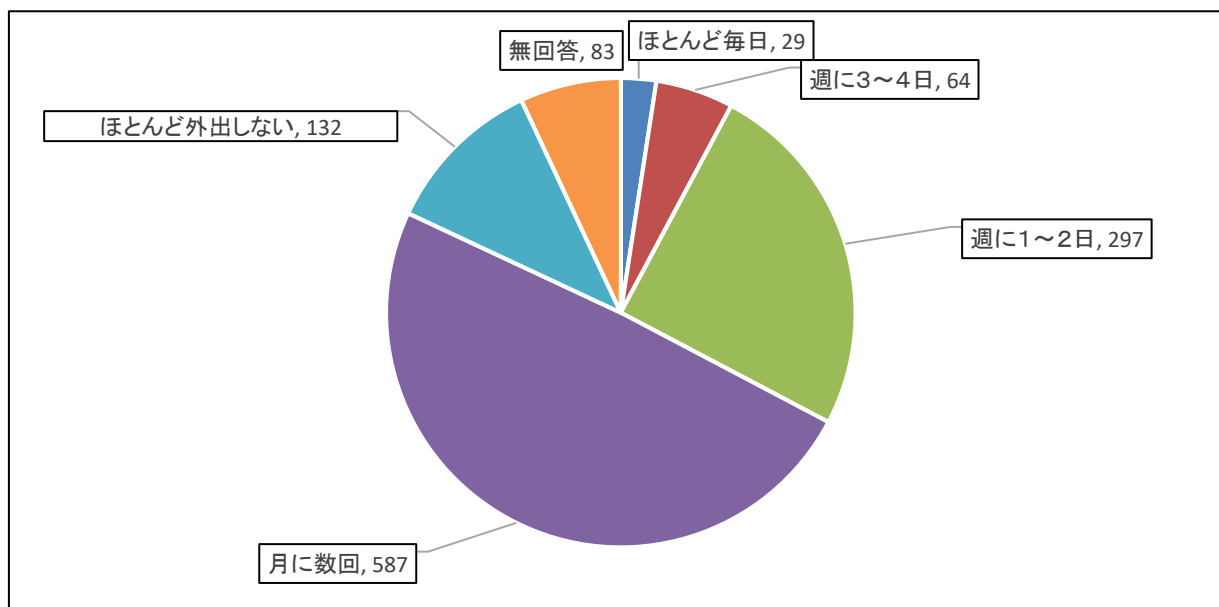
		回答数	構成比
(1)	買い物	126	10.6%
(2)	通院	228	19.1%
(3)	家族、友人との交流	292	24.5%
(4)	趣味	193	16.2%
(5)	仕事	55	4.6%
(6)	健康、スポーツ	105	8.8%
(7)	地域活動、ボランティア	20	1.7%
(8)	行政手続	42	3.5%
(9)	その他	56	4.7%
	無回答	75	6.3%
	計	1,192	100.0%



- ・「3番目に多い外出理由」は、一部の年齢で「通院」や「買い物」と回答した人が最も多いが、年齢を問わず幅広い世代で「家族、友人との交流」が最も多い。
- ・3番目に多い外出で利用する交通手段は「徒歩(24.0%)」が一番多く、次いで「電車、モノレール(15.9%)」、「バス(14.4%)」。

(25) (24)で回答した目的の頻度はどのくらいですか。(1つを選択)

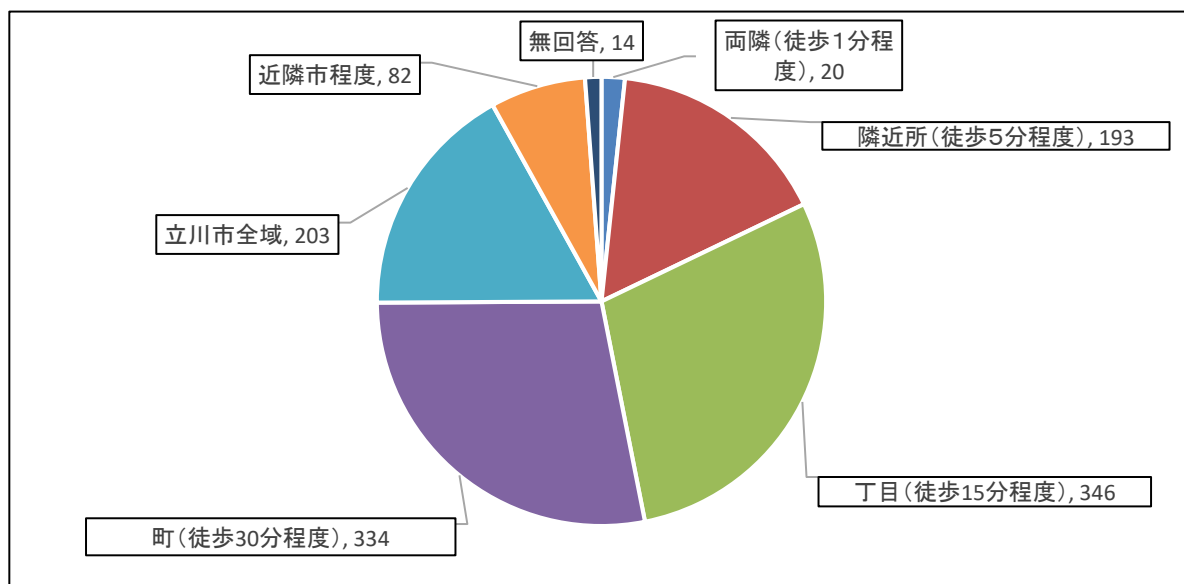
		回答数	構成比
(1)	ほとんど毎日	29	2.4%
(2)	週に3～4日	64	5.4%
(3)	週に1～2日	297	24.9%
(4)	月に数回	587	49.2%
(5)	ほとんど外出しない	132	11.1%
	無回答	83	7.0%
	計	1,192	100.0%



・外出の目的とその頻度を見ると、最も多いのは「家族、友人との交流」・「月に数回」(178人 14.9%)、2番目に多いのは「通院」・「月に数回」(165人 13.8%)、3番目に多いのは「趣味」・「月に数回」である。

(26) あなたが「お住まいの地域」として考えるのは、どのくらいの範囲ですか。
(1つを選択)

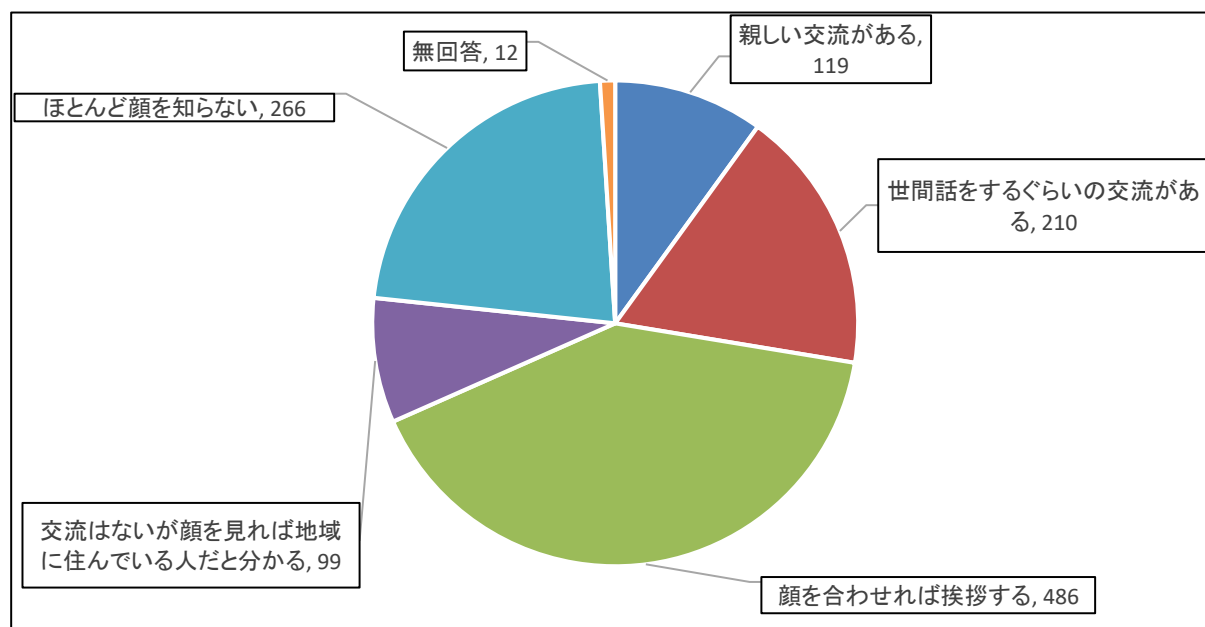
		回答数	構成比
(1)	両隣(徒歩1分程度)	20	1.7%
(2)	隣近所(徒歩5分程度)	193	16.2%
(3)	丁目(徒歩15分程度)	346	29.0%
(4)	町(徒歩30分程度)	334	28.0%
(5)	立川市全域	203	17.0%
(6)	近隣市程度	82	6.9%
	無回答	14	1.2%
	計	1,192	100.0%



- ・「18歳～19歳」、「20歳～29歳」と回答した方は、「お住まいの地域」として考えるのは「立川市全域」との回答が最も多く、「30歳～39歳」以上の世代は、「丁目(15分程度)」、もしくは「町(30分程度)」が最も多いか2番目に多く、その差もわずかである。
- ・「お住まいの地域」の中での付き合いについて、それぞれの方が考える「お住まいの地域」との関係を見ると「お住まいの地域」の中での付き合いの度合いに関わらず、「丁目(徒歩15分程度)」、「町(徒歩30分程度)」の回答が多い。

(27) 「お住まいの地域」の中でお付き合いはどの程度ですか。(1つを選択)

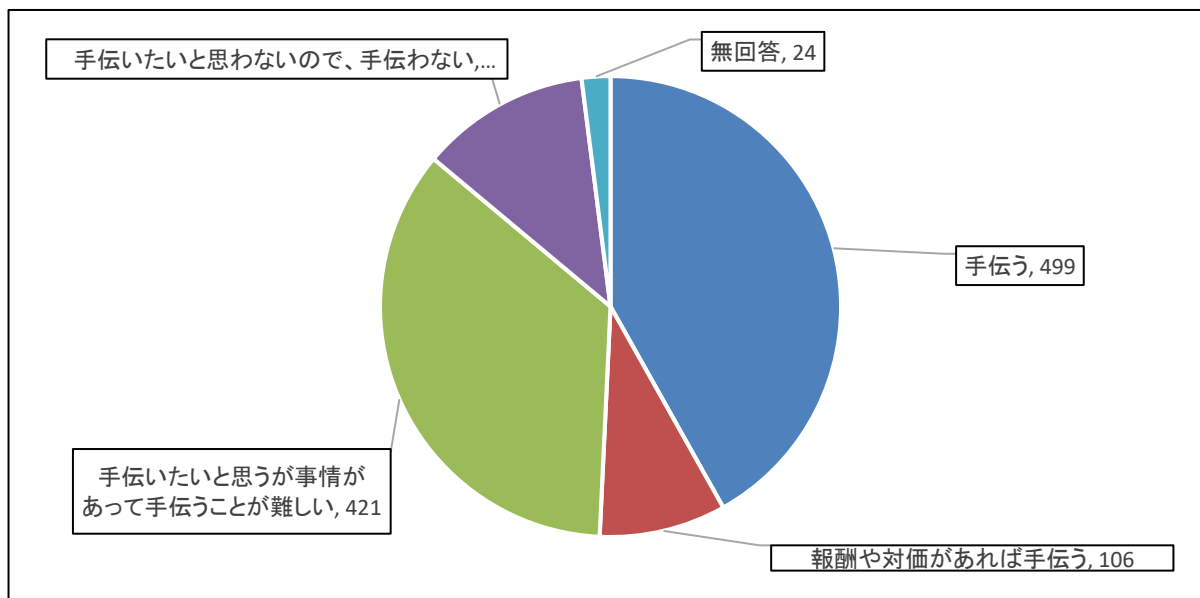
		回答数	構成比
(1)	親しい交流がある	119	10.0%
(2)	世間話をするぐらいの交流がある	210	17.6%
(3)	顔を合わせれば挨拶する	486	40.8%
(4)	交流はないが顔を見れば地域に住んでいる人だと分かる	99	8.3%
(5)	ほとんど顔を知らない	266	22.3%
	無回答	12	1.0%
	計	1,192	100.0%



- ・「家族構成」に関わらず、いずれも半数以上が「親しい交流がある」、「世間話をするぐらいの交流がある」、「顔を合わせれば挨拶する」と回答し、親疎はあるが交流があると回答している。
- ・全体では「顔を合わせれば挨拶する」が最も多く40.8%となるが、39歳以下の年齢層では「ほとんど顔を知らない」の割合のほうが高くなる(平均46.8%)。
- ・働き方でみると、「正規雇用」の人は、「顔を合わせれば挨拶する(39.1%)」の割合も高いが、同時に「ほとんど顔を知らない(32.8%)」の割合も高い。
- ・高松町では「親しい交流がある」の割合が前回と比較して、12.7%減少しており、2番目の泉町(-7.9%)と比較しても減少割合が高い。
- ・住まいが公営住宅と回答した人は、前回と比較して「世間話をするぐらいの交流がある」の割合が-10.4%となっており、2番目の一戸建て以外の持ち家(-4.8%)と比較しても減少割合が高い。

(28) 「お住まいの地域」の方が生活上の困りごとを抱えていることが分かった場合、あなたはどのようにしますか。(1つを選択)

		回答数	構成比
(1)	手伝う	499	41.9%
(2)	報酬や対価があれば手伝う	106	8.9%
(3)	手伝いたいと思うが事情があって手伝うことが難しい	421	35.3%
(4)	手伝いたいと思わないので、手伝わない	142	11.9%
	無回答	24	2.0%
	計	1,192	100.0%

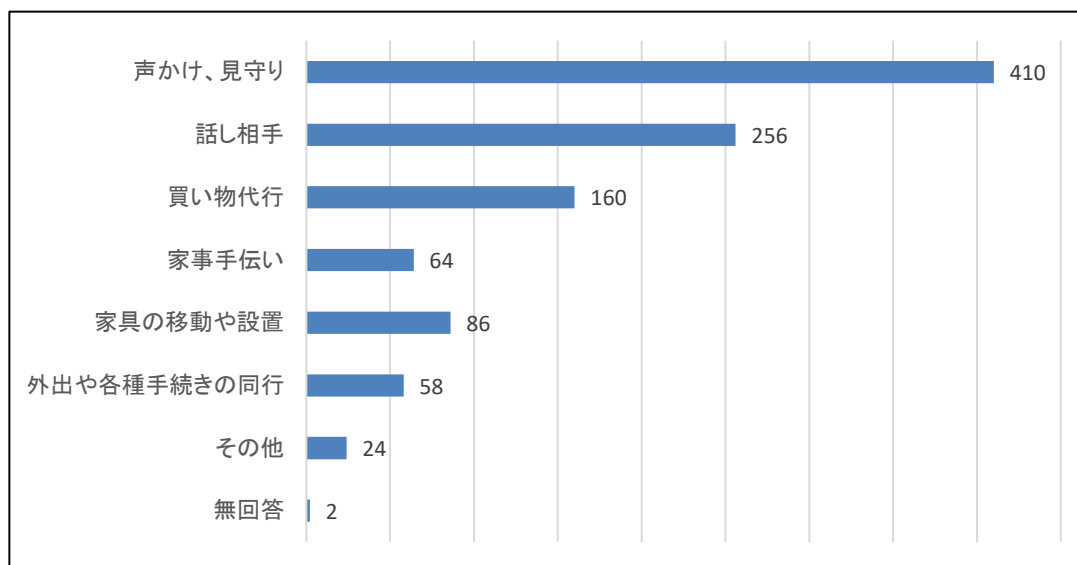


- ・「お住まいの地域」の方が生活上の困りごとに対して、いずれの年齢についても「手伝う」、もしくは「手伝いたいと思うが事情があって手伝うことが難しい」との回答が多く、「手伝いたい」と考える人はいずれの年齢も6割以上である。
- ・年齢別では「報酬や対価があれば手伝う」が、18歳～39歳の世代で平均18.3%、40歳～59歳で11.9%となり、60歳以上の平均3.1%よりも高くなっている。

(29) (28)で「手伝う」と回答した方にお聞きします。次のような困りごとのうち手伝える範囲について、お聞かせください。(あてはまるもの全てを選択)

		回答数	構成比
(1)	声かけ、見守り	410	82.2%
(2)	話し相手	256	51.3%
(3)	買い物代行	160	32.1%
(4)	家事手伝い	64	12.8%
(5)	家具の移動や設置	86	17.2%
(6)	外出や各種手続きの同行	58	11.6%
(7)	その他	24	4.8%
	無回答	2	0.4%
	計	1,060	212.4%

※構成比は「手伝う」と回答した499名に対する割合。

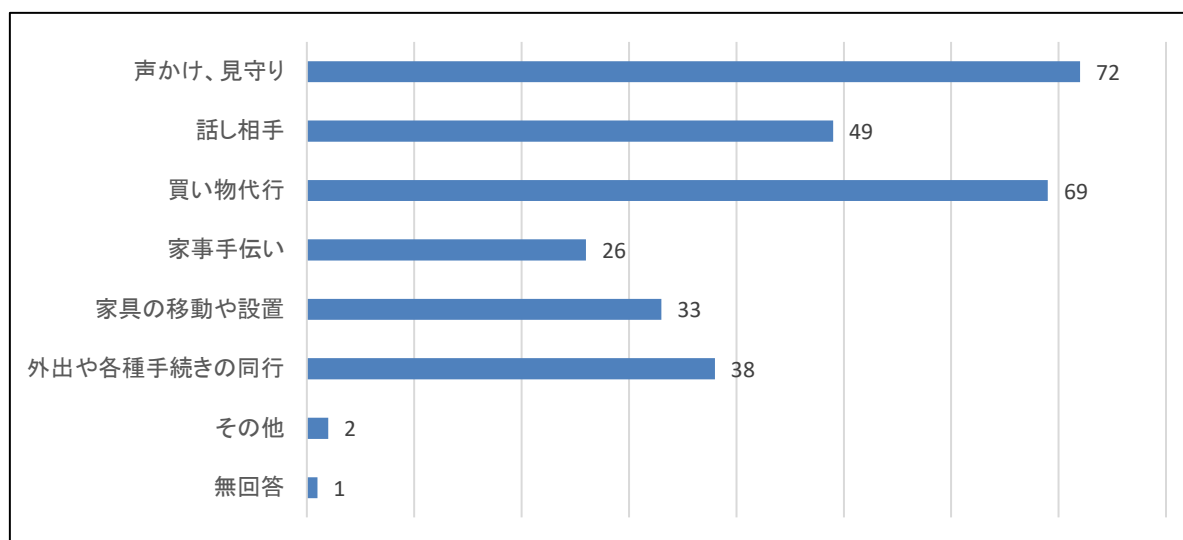


- ・手伝える範囲として、いずれの選択肢も「親子(親と子の2世代)」、もしくは「夫婦(子どもはいない)」の家族構成の人が6割以上である。
- ・「手伝う」と回答した人の居住年数は「21年以上」(42.9%)が最も高く、次いで「14～21年未満」(14.6%)となっている。
- ・いずれの属性でも「声かけ、見守り」が最も多い。次いで「話し相手」が多い傾向がある(例外的に高松町では「買い物代行」のほうが多い)
- ・働き方別でみた「手伝う」と回答した人は、「正規雇用」(30.0%)「非正規雇用」(24.6%)に次いで「無職」16.6%が多い(「報酬や対価あり」の場合の1, 2位は変わらないが、3位は自営業)。

(30) (28)で「報酬や対価があれば手伝う」と回答した方にお聞きます。次のような困りごとのうち手伝える範囲についてお聞かせください。(あてはまるもの全てを選択)

		回答数	構成比
(1)	声かけ、見守り	72	67.9%
(2)	話し相手	49	46.2%
(3)	買い物代行	69	65.1%
(4)	家事手伝い	26	24.5%
(5)	家具の移動や設置	33	31.1%
(6)	外出や各種手続きの同行	38	35.8%
(7)	その他	2	1.9%
	無回答	1	0.9%
	計	290	273.4%

※構成比は「報酬や対価があれば手伝う」と回答した106名に対しての割合。

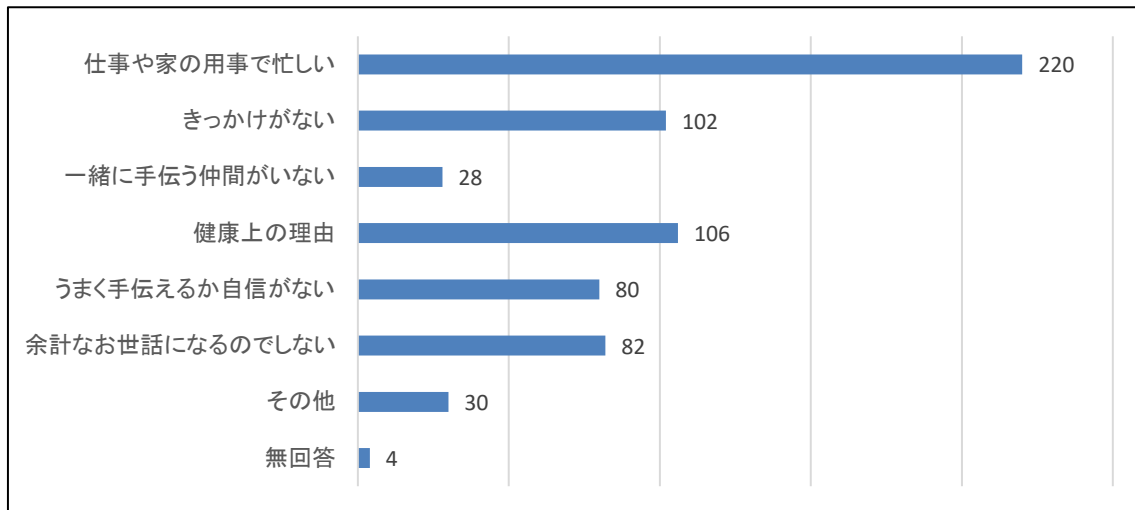


- ・「報酬や対価があれば手伝う」と回答した人は、いずれも「正規雇用」、もしくは「非正規雇用(パート、アルバイト、契約社員)」と回答した人が多い。
- ・設問29では全体の32.1%だった「買い物代行」が全体65.1%となり、「声かけ、見守り」(67.9%)に次いで2番目に回答が多くなっている。

(31) (28)で「手伝いたいと思うが事情があって手伝うことが難しい」と回答した方にお聞きします。そう考える事情はどのようなことですか。(あてはまるものを全てを選択)

		回答数	構成比
(1)	仕事や家の用事で忙しい	220	52.3%
(2)	きっかけがない	102	24.2%
(3)	一緒に手伝う仲間がいない	28	6.7%
(4)	健康上の理由	106	25.2%
(5)	うまく手伝えるか自信がない	80	19.0%
(6)	余計なお世話になるのではない	82	19.5%
(7)	その他	30	7.1%
	無回答	4	1.0%
	計	652	155.0%

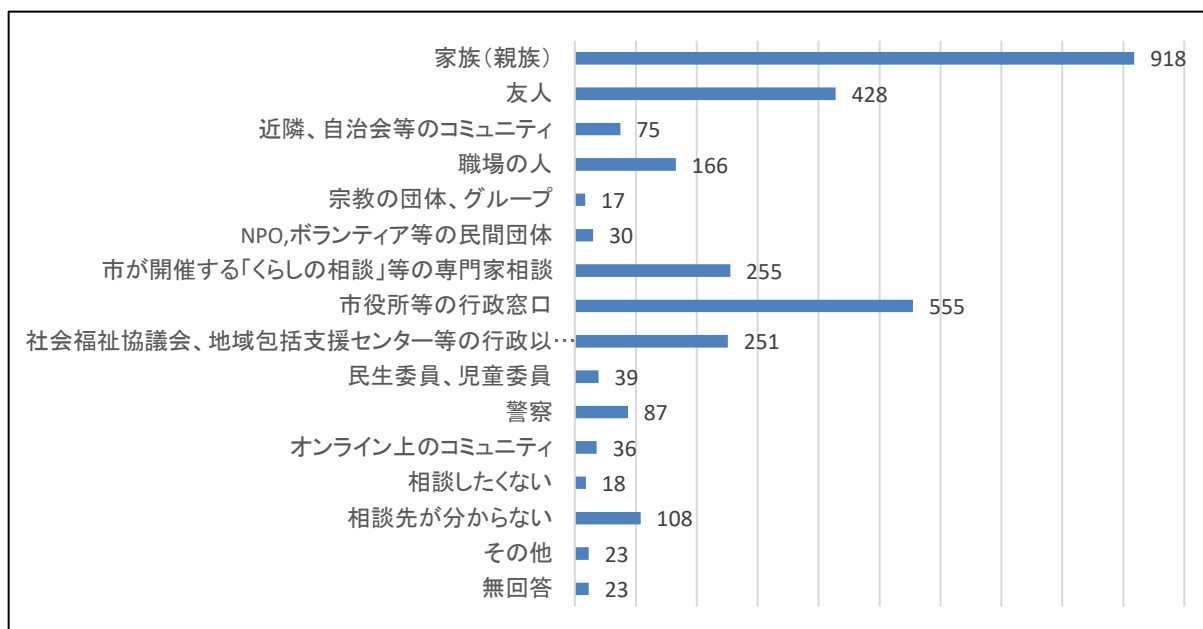
※構成比は「手伝いたいと思うが事情があって手伝うことが難しい」と回答した421名に対する割合。



・「仕事や家の用事で忙しい」(33.7%)や「健康上の理由」(16.3%)というやむを得ない理由の割合が高いが、「きっかけがない」(15.6%)や「うまく手伝えるか自信がない」(12.3%)という理由も多い。

(32) あなた自身、もしくはあなたと同居する方が生活上の困りごとを抱えた場合、どこに相談しようと考えますか。(あてはまるもの全てを選択)

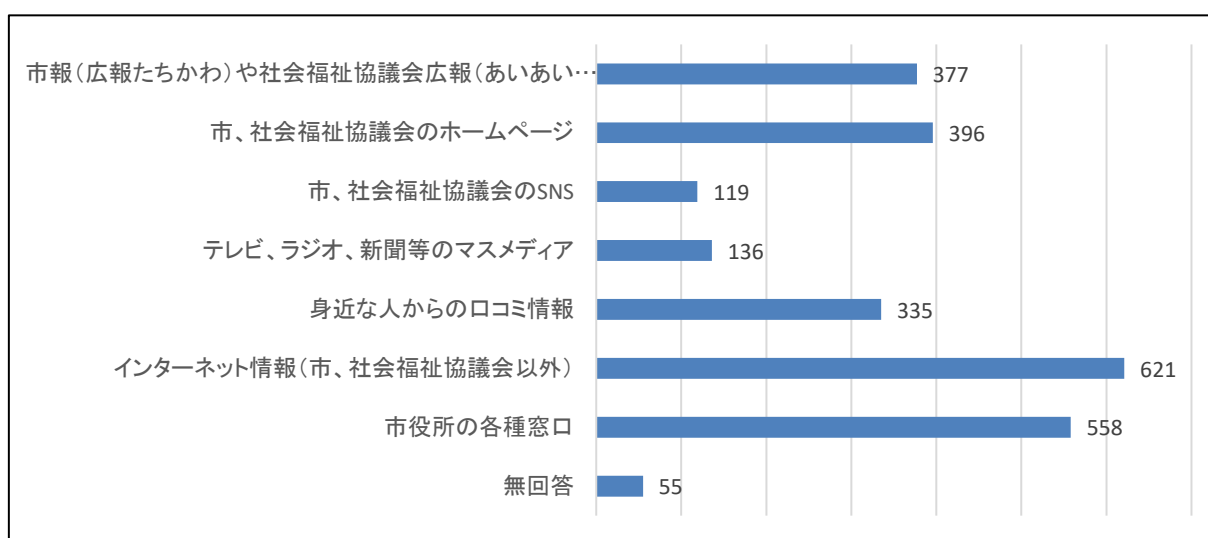
		回答数	構成比
(1)	家族(親族)	918	77.0%
(2)	友人	428	35.9%
(3)	近隣、自治会等のコミュニティ	75	6.3%
(4)	職場の人	166	13.9%
(5)	宗教の団体、グループ	17	1.4%
(6)	NPO,ボランティア等の民間団体	30	2.5%
(7)	市が開催する「くらしの相談」等の専門家相談	255	21.4%
(8)	市役所等の行政窓口	555	46.6%
(9)	社会福祉協議会、地域包括支援センター等の行政以外の相談窓口	251	21.1%
(10)	民生委員、児童委員	39	3.3%
(11)	警察	87	7.3%
(12)	オンライン上のコミュニティ	36	3.0%
(13)	相談したくない	18	1.5%
(14)	相談先が分からない	108	9.1%
(15)	その他	23	1.9%
	無回答	23	1.9%
	計	3,029	254.1%



- ・「相談先がわからない」と回答した人は、「30歳～39歳」、「40歳～49歳」、「50歳～59歳」の区分が全体の6割以上である。
- ・「家族(親族)」77.0%が最も高く、次いで「市役所等の行政窓口」46.6%となっており、概ね属性別でも同じ傾向がある。

(33) あなた自身、もしくはあなたと同居する方が生活上の困りごとを抱えた場合、解決に関する情報はどこから得ますか(得ようと思いますか)。(あてはまるもの全てを選択)

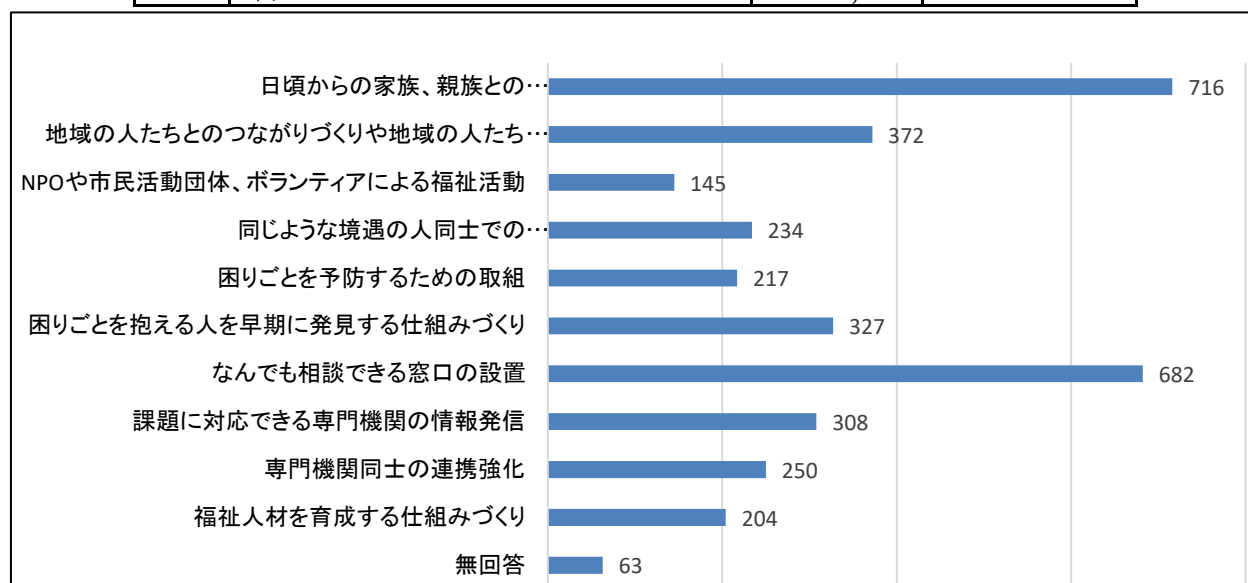
		回答数	構成比
(1)	市報(広報たちかわ)や社会福祉協議会広報(あいあい通信、まちねっと)	377	31.6%
(2)	市、社会福祉協議会のホームページ	396	33.2%
(3)	市、社会福祉協議会のSNS	119	10.0%
(4)	テレビ、ラジオ、新聞等のマスメディア	136	11.4%
(5)	身近な人からの口コミ情報	335	28.1%
(6)	インターネット情報(市、社会福祉協議会以外)	621	52.1%
(7)	市役所の各種窓口	558	46.8%
	無回答	55	4.6%
	計	2,597	217.8%



- ・全体としては「インターネット情報(市、社会福祉協議会以外)」が52.1%で最も高くなっているが、59歳以下の世代では平均70.1%となっており、割合が高くなっている。
- ・65歳以上の人の回答は「市役所の各種窓口」平均54.8%、「市報や社会福祉協議会広報」平均41.7%となり、全体の割合と比較して窓口や紙で情報を得る回答が高くなっている。
- ・70歳以上の人は「市、社会福祉協議会のホームページ」から情報を得る割合(平均16.2%)が他の世代(39.7%)と比較して低い。

(34) 生活上の困りごとを抱える人を支援するために、あなたが必要と思うものは
 何ですか。(あてはまるものを全てを選択)

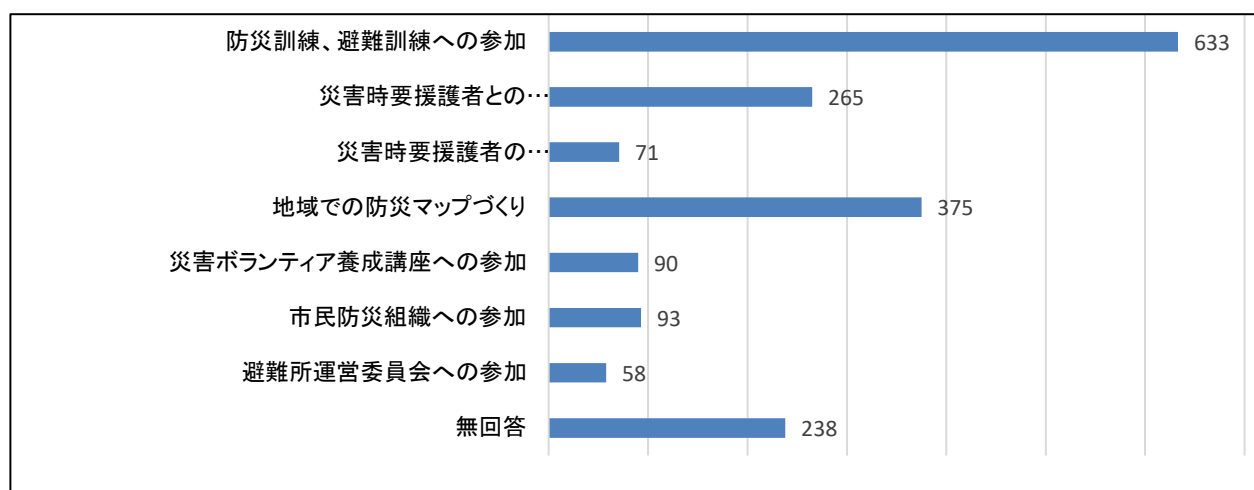
		回答数	構成比
(1)	日頃からの家族、親族とのコミュニケーション	716	60.1%
(2)	地域の人たちとのつながりづくりや地域の人たちの理解と協力	372	31.2%
(3)	NPOや市民活動団体、ボランティアによる福祉活動	145	12.2%
(4)	同じような境遇の人同士でのつながりづくり	234	19.6%
(5)	困りごとを予防するための取組	217	18.2%
(6)	困りごとを抱える人を早期に発見する仕組みづくり	327	27.4%
(7)	なんでも相談できる窓口の設置	682	57.2%
(8)	課題に対応できる専門機関の情報発信	308	25.8%
(9)	専門機関同士の連携強化	250	21.0%
(10)	福祉人材を育成する仕組みづくり	204	17.1%
	無回答	63	5.3%
	計	3,518	295.1%



・生活上の困りごとを抱える人を支援するためには、「日頃からの家族、親族とのコミュニケーション」、「なんでも相談できる窓口の設置」、「地域の人たちとのつながりづくりや地域の人たちの理解と協力」の身近な相談先を必要と考える回答が多く、属性別にみても同じ傾向がある。

(35) 地震や風水害が発生したとき、その被害を広めないために地域で日頃から取り組んでおくこととしてあなたができることはなんですか。(あてはまるもの全てを選択)

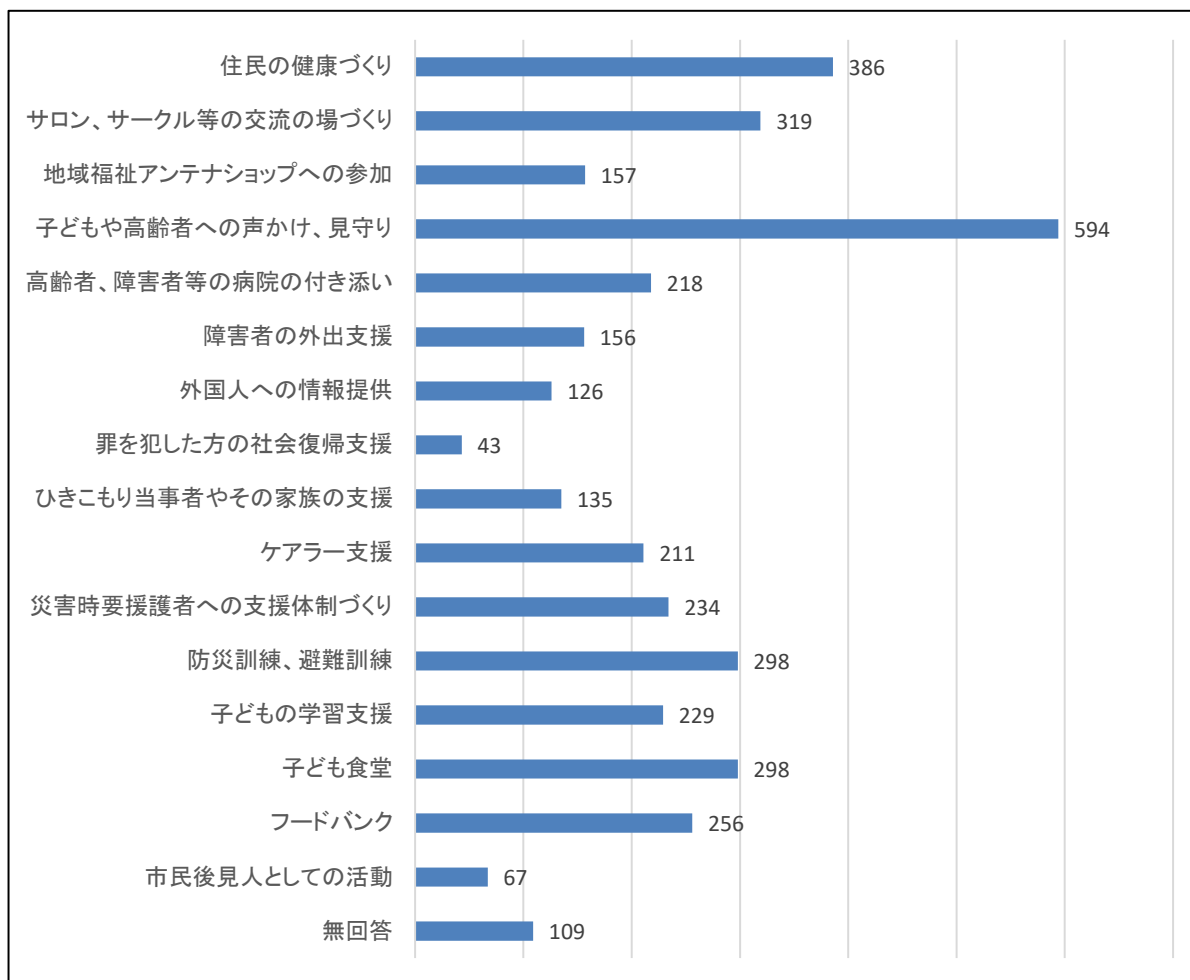
		回答数	構成比
(1)	防災訓練、避難訓練への参加	633	53.1%
(2)	災害時要援護者との顔の見える関係づくり	265	22.2%
(3)	災害時要援護者の個別支援計画への参画	71	6.0%
(4)	地域での防災マップづくり	375	31.5%
(5)	災害ボランティア養成講座への参加	90	7.6%
(6)	市民防災組織への参加	93	7.8%
(7)	避難所運営委員会への参加	58	4.9%
	無回答	238	20.0%
	計	1,823	153.1%



・「防災訓練、避難訓練への参加」が最も高く、次いで「地域での防災マップづくり」、「災害時要援護者との顔の見える関係づくり」の順で割合が高く、どの属性においても概ね同様の傾向がある。

(36) 地域で発生する課題の中には、行政のみの対応や既存の制度による専門的な対応だけでは解決できない課題が数多くあります。次のような課題や取組の中で、住民や地域団体が主体となって取り組むほうがより効果的であると思うものはなんですか。(あてはまるもの全てを選択)

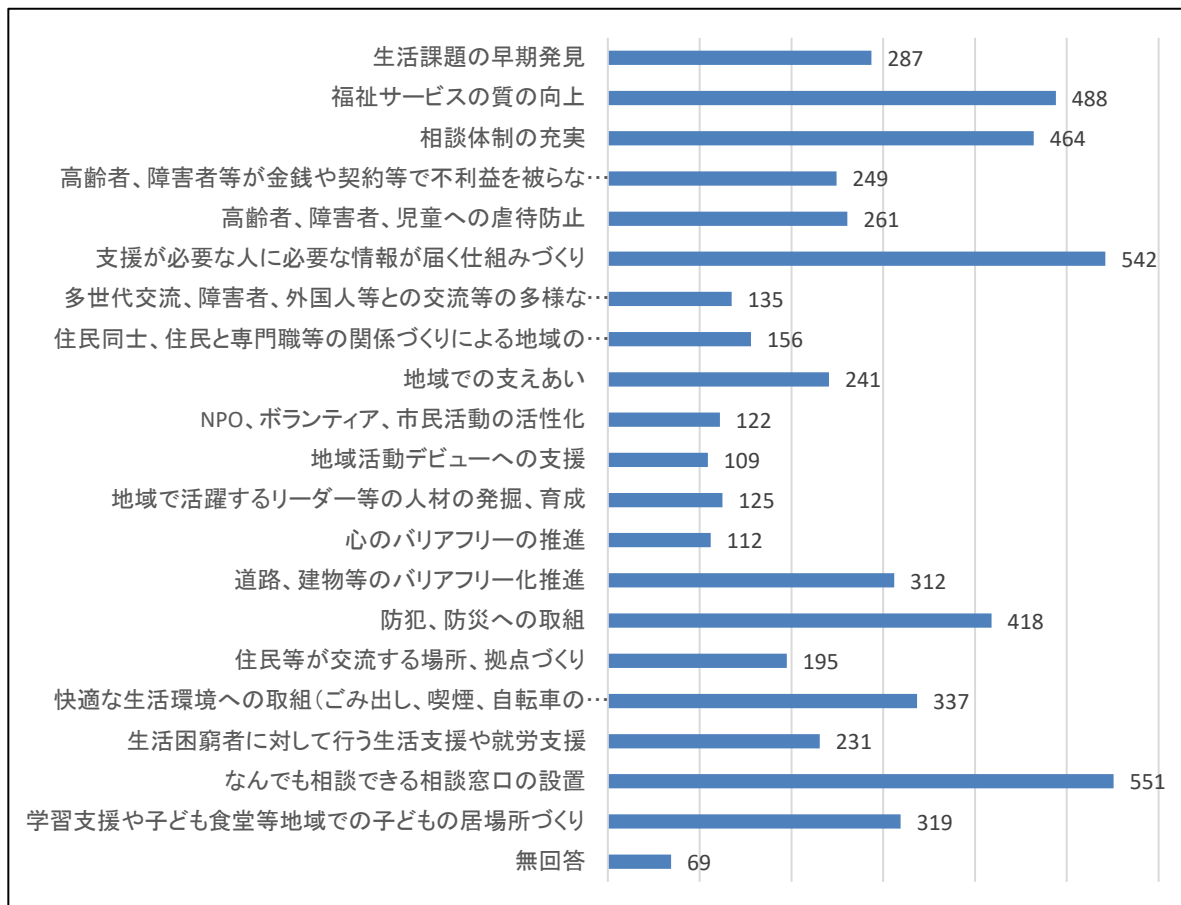
		回答数	構成比
(1)	住民の健康づくり	386	32.4%
(2)	サロン、サークル等の交流の場づくり	319	26.8%
(3)	地域福祉アンテナショップへの参加	157	13.2%
(4)	子どもや高齢者への声かけ、見守り	594	49.8%
(5)	高齢者、障害者等の病院の付き添い	218	18.3%
(6)	障害者の外出支援	156	13.1%
(7)	外国人への情報提供	126	10.6%
(8)	罪を犯した方の社会復帰支援	43	3.6%
(9)	ひきこもり当事者やその家族の支援	135	11.3%
(10)	ケアラー支援	211	17.7%
(11)	災害時要援護者への支援体制づくり	234	19.6%
(12)	防災訓練、避難訓練	298	25.0%
(13)	子どもの学習支援	229	19.2%
(14)	子ども食堂	298	25.0%
(15)	フードバンク	256	21.5%
(16)	市民後見人としての活動	67	5.6%
	無回答	109	9.1%
	計	3,836	321.8%



- ・全体としては「子どもや高齢者への声かけ、見守り」が多く、次いで「住民の健康づくり」「サロン、サークル等の交流の場づくり」の順となっているが、39歳以下の子育て世代は「子どもの学習支援」「子ども食堂」の割合も高い。
- ・回答者が少ないが「18歳～19歳」は他の世代と傾向が異なり、「子ども食堂」が一番多く、「フードバンク」、同率で「ケアラー支援」「子どもや高齢者への声かけ、見守り」の順に割合が高くなっている。

(37) 今後、立川市をより住みやすいまちにするために、次のうち何を重点的に取り組むべきと思いますか。(あてはまるもの全てを選択)

		回答数	構成比
(1)	生活課題の早期発見	287	24.1%
(2)	福祉サービスの質の向上	488	40.9%
(3)	相談体制の充実	464	38.9%
(4)	高齢者、障害者等が金銭や契約等で不利益を被らないよう支援をする取組	249	20.9%
(5)	高齢者、障害者、児童への虐待防止	261	21.9%
(6)	支援が必要な人に必要な情報が届く仕組みづくり	542	45.5%
(7)	多世代交流、障害者、外国人等との交流等の多様な市民の交流	135	11.3%
(8)	住民同士、住民と専門職等の関係づくりによる地域のネットワーク化	156	13.1%
(9)	地域での支えあい	241	20.2%
(10)	NPO、ボランティア、市民活動の活性化	122	10.2%
(11)	地域活動デビューへの支援	109	9.1%
(12)	地域で活躍するリーダー等の人材の発掘、育成	125	10.5%
(13)	心のバリアフリーの推進	112	9.4%
(14)	道路、建物等のバリアフリー化推進	312	26.2%
(15)	防犯、防災への取組	418	35.1%
(16)	住民等が交流する場所、拠点づくり	195	16.4%
(17)	快適な生活環境への取組(ごみ出し、喫煙、自転車のマナーアップ等)	337	28.3%
(18)	生活困窮者に対して行う生活支援や就労支援	231	19.4%
(19)	なんでも相談できる相談窓口の設置	551	46.2%
(20)	学習支援や子ども食堂等地域での子どもの居場所づくり	319	26.8%
	無回答	69	5.8%
	計	5,723	480.2%



・いずれも支援や相談に関わると考えられる項目の「なんでも相談できる相談窓口の設置」、「支援が必要な人に必要な情報が届く仕組みづくり」、「福祉サービスの質の向上」、「相談体制の充実」の順に回答が多い。

4 自由記述

(38)あなたの地域をよりよくするにはどのようにしたらよいか等、地域の福祉についてアイデアやご提案、ご意見がありましたら、自由にお書きください。

※原則、原文のまま掲載していますが、個人や団体を特定できる内容等には最低限の編集を行っています。

※事実関係が明らかなでない事項もそのまま掲載しています。ご注意ください。

※分類別に掲載しています。

【都市環境・利便性】127件、【人・つながり・地域活動】62件、【福祉保健環境】50件、【子ども・子育て】36件、【情報・連携・協働】30件、【防犯・防災】11件、【行政全般】31件、【複合】36件、【その他】37件

【都市環境・利便性】127件

羽衣町	バスの運転が少なくなり、待ち時間がかかる
富士見町	地域のバス便が急に減って不便です。 富士見町に、市のくるりんバスを運行してほしいと思います。
若葉町	もっとバス停を多く作って高齢者の方々が移動しやすい環境を作っていく事が大切だと思います。
幸町	・市民バスのルートが廃止され、とても不便になった。 ・立川駅、立川市役所行のバス、充実してほしい。
一番町	一番町バスが少ない。1時間1台立川行きです。松中
富士見町	くるりんバスなどの巡回型小型バス
栄町	くるりんバスのルートが増えて欲しい。
栄町	くるりんバスが必要
砂川町	くるりんバスのルート見直し、意味のあるルート選定。子育て世代にとって立川での生活には車がかかせません。立川駅を使用する際に立川バスを使用しますが、高すぎる。大人×2人、小学生×1人 往復(場所にもよるが)1500～1800円もかかる。くるりんバスをもっと市内の入り込んだ住宅地にも運行して、子育て世代が使用しやすいルートでの運行を見直してほしい。以前、前の市長にその事を直訴できる機会があったが「足のないお年寄りの為のくるりんバス。赤字3000万位を見越した運営だ」と言われた事がある。赤字を見越しているなら、廃止してほしいし、お年寄りタクシーの手段(自宅まで来てくれるし)がある為、お金のない子育て世代がもっと気楽に外出できる様に、立川バスに付度しない金額、ルートのくるりんバス運行を望む。
上砂町	最寄りのバス本数が少ない。 くるりんバスが来ない。乗ったことがない。 駅まで行くのが大変。
一番町	くるりんバスが場所によってだれも乗ってなく空で走っている。生活困窮者には乗って外出をと思っても運賃が上がって、こまっている人がいます。
一番町	くるりんバスの廃止 乗車している人をほとんど見かけない
西砂町	くるりんバスが通らない地域で、高齢になった時、交流場所や相談しに行く時にどうしたらいいかと思っている。病院に行くにもタクシーになるとお金もかかる。
西砂町	くるりんバスの路線数を増やしさらに本数を増やしてほしい。
砂川町	1. くるりんバスの充実(1)路線バスが走らない地域を重点的にカバーする(2)本数を増やす(3)一方方向だけに走らず反対方向にも走らせる(上下線) 2. 電線の地下埋設(電柱の撤去)
一番町	コミュニティバスなどで交通環境の拡充

一番町	一番町の路線バスの本数は1時間に1本しかない。せめて2本にしてほしい。また、市役所方面に行くバスが1台もないので改善してほしい。30年前と比べて交通の便が目に見えて悪くなっている。こうなると分かっていたら、引っ越してくるんじゃないかな。
西砂町	どこへ行くもバスの便が悪い。
若葉町	高齢者の方々がバスにもっと多く乗れるためにバスの本数を増やして欲しい
栄町	栄町1丁目は近くにバス停がない為、高齢者の母を毎月1～2回病院に通院しているのですが、仕事で送れない時はタクシーを利用しています。往復3000円かかるので、くるりんバスが通ってくれたらと思います。 近所に高齢者が多いので、他の方もバスが通ってくれたらと思う方がいると思います。
一番町	交通機関が少ない、バスやタクシーなど移動手段が必要である。
西砂町	とにかく西砂方面のバスが少ない。このままでは、立川駅周辺まで出られない人がひきこもりがちになってしまう。
栄町	栄町1, 2丁目にクルリンバスがない。国立に買い物行く方が多い。
一番町	交通の便を良くしてほしい。 バスの本数が少なく、市街へ行きにくい。
上砂町	南北道路、くるりんバス(昭島、武蔵村山、立川)を通してほしい。(上砂町3丁目16番地近く)
西砂町	(13)の問題のようにくるりんバスが自由に乗れる様、地域の格差をなくしてほしい、
西砂町	西砂地いきの交通の便をよくしてほしい。くるりんバスをふやすとか、とにかく、外に出にくい 通院もしにくい
西砂町	今後高齢となった時の移動手段が心配。西砂地区はバスも本数が少なく不便なので、少しでも今の状態より本数を増やして行き来しやすくなるとありがたい。
上砂町	武蔵砂川駅前にロータリーができました。広いのですが、バスは通りません。立川駅に通じるバスがあれば、住民が利用すると思います。立川駅に行くのがとても不便です。以前、くるりんバスはありましたが、利用者が少ないという理由で通らなくなりました。立川駅は近いようで遠いです。
上砂町	無理かと思いますが、前みたいに砂川駅～立川駅までくるりんバスを走らせていただけるとありがたいです。
西砂町	この地域に越してきて50年近くになります。基地の近くまでくるりんバスが通るようにしてください。
砂川町	特に思いつきませんが、以前武蔵砂川駅～女性総合センター間のくるりんバスが運行されていて非常に便利だったのに、なぜなくなってしまったのでしょうか。
西砂町	西武立川駅周辺に住んでいるんですが気軽に市役所や立川駅周辺に行けないのでバスや電車が欲しい。西武線経由だと青梅線ユーザーよりも高くなり昭島市民の方が安く簡単に行けるのは可笑的。
柏町	近所は高齢者が多く、歩行が困難であり外出されないように見られます。 くるりんバスなどが色々なところで通れば、良いなと思います。
柴崎町	駅から京王ストアを右に曲がり、富士見町に向かう交通手段が悪く、高齢者には買い物に行くにも、病院に行くにも不便です。バスの増便は依然無理とのことですが、何か考えていただければと思います。
若葉町	若葉町2丁目14番交差点の側道は大型車が通行する時、振動が大きい。もっと道路を強くして貰いたい。 現在は、86.5才で自動車が運転出来るが、2年先は無理、もっと市内バスがほしい？ 若葉町2丁目近辺はバスが不便！！
一番町	・五日市街道の歩道にガードレールを付けてほしい。松中団地入口付近歩道がデコボコで杖をついていてつまづき車道に出そうになり肩を負傷した。歩道を歩きやすいように直してほしい。 ・くるりんバスを利用したいのですが、松中団地、天王橋付近は利用しにくいのでコースを考えていただくと助かります。
一番町	・木が多いことはよいが、管理がしきれておらず葉が生い茂り、葉が散る季節は葉が道に山積みになっています。 立川に住みたい、住み続けたいと思える綺麗なまちづくりをお願いしたい。 ・住宅街へのバスの新規ルートを検討していただきたい。高齢者も多い町だが、広い道にでなければバスに乗ることができない。くるりんバスの経路を増やして頂けると助かる。

一番町	緑が多い地域で健康には良い環境ですが、市内中心部の広大な国有地が放置され、駅近くは立派に発展し、ほこりは思うが、末端は、畑が農地として特別扱いとなりながら、農地ではなく、空地で町としての発展が殆どない。個人商店(きっさ店、本屋、八百屋、魚屋、入ってみたい店)等一切なく、住んでいて面白くない。プロパンガスで暮らしたのは初めてである。医療もあまりなく、外の市にかかりつけの先生をお願いしている。故に、車なしでは困る事ばかり、バスも少なくなり、遠出が大変です。街づくりは勝手なため、道路はうねり、小さな水路が道路を狭くしていて危険である。
羽衣町	高齢者の自転車運転がかなり危なっかしいので、ある程度自由に自分で通るルートを選んでスピードや破壊力がない乗り物があつたらいいと思います。
曙町	移動販売ドラッグで老人の日用・食品を買いやすいようにする。
栄町	高齢者になると外出に自転車が使えなくなる。乗り合いタクシーがあればかなり助かると思う。
若葉町	立川駅前の渋滞や車両の南北移動の不便さなど、道路行政の充実が高齢化社会にも必須。
柏町	・柏町在住、立川市の防災スピーカーの音が届かずで何も聞こえません。線路北側にも聞こえるようにして欲しい。こっちの地域、なんか色々と防犯とか手薄な感じです…。
砂川町	砂川地域の交通の便、公共の集まる場所(図書館等)交通便がない私達(徒歩圏)に近場で集まれるようにしてほしい。自転車や車運転ができないので。
砂川町	老人の車の事故を防ぐ為に高齢者が車がなくても、病院や買い物など利用できる便利な仕組みが使いやすく広がると思います。 富山県で導入している「ノッカル〜」整備して、いい街になったら、嬉しいです。
砂川町	・立川駅方面に行く交通機関は時間通りに来ないというのは困りものですが、不便は感じておりません。しかし砂川地区からモノレール利用や若葉町、幸町などへは足がなくて不便を感じております。 ・施設の予約システムですが、学習館予約時はPCからできるのは良いですが、本予約の手続きを現地に行かなければできないのは不都合なので便利になると良い。学習館以外の施設予約に関しては、順番に受付けるので早くから並ぶことになり、希望の多い日には希望者のなかでけんか腰になるということもあり改善できればと思います。 ・新しい砂川学習館において壁面鏡の部屋ができないようなのでとても残念に思います。鏡の役割は大きいものがあると思うのですが、後付けでも是非つけていただきたいです。
上砂町	①市道には関係無いと思いますが、歩道上のポールが非常に迷惑です(防災上車の進入防止とは思いますが、歩道中央でなく、車道より歩道の進入口に移し、車進入の防止にすれば済みます。) ②道路上の電信柱、線が歩道下に移せば、防災上また通行上安全に。
上砂町	武蔵砂川駅前の横断歩道に信号の設置をお願いします。
上砂町	現在、上砂町に住んでいるのですが、夜、街灯がなく暗いため、ひとりで歩くのが怖いと感じている。
富士見町	富士見町へのぐるりんバス路線の拡充 自衛隊基地からのヘリコプター等の騒音規制
砂川町	立川通りや駅前の道が混みすぎてバスの遅延が悪化してきているので、改善されると助かる。
若葉町	けやき台団地の敷地見直しについて(若葉町にある) ”けやき台団地の敷地”と住民や管理人という人が言う範囲が広すぎる。そのため、けやき台団地以外に住んでいる人が住みづらい町になっている。自宅からバス停まで行くことができないし、郵便局に寄ることもできない。若葉町はけやき台団地のための町みたいになっている。ひどすぎる。どうか改善してほしい。
柴崎町	緑や花が咲いて犬の散歩もできるような大きい公園があつたらいいなと思います。 どこの国か忘れましたが、素敵な公園に高齢者の方が集まって来られて、ベンチでおしゃべりをして楽しんでらっしゃいました。災害の時にも役立つと思います。立川には少ないと思います。
柴崎町	点字ブロックの上に自転車をとめないでという看板を設置する
柴崎町	自転車のマナーアップ、歩きたばこをなくす！ 立川駅～モノレール柴崎体育館駅までの高架下の道が自転車のマナーがとても悪いです。(下り坂でスピードが出て危険！！) 歩道ではなく、車道を使ってほしいです。それ以外は満足です。

柴崎町	3.4年前(コロナ禍以前)の夜、友人と新年会の後立川駅南口前のカラオケ店に行こうと歩いているとき、店員の呼び込みや夜の商店街の雰囲気が少し怖いと言われました。最近は、夜に歩くこともなくなりましたが、反社会組織等の懸念はなくなったのかわかりませんが、夜の街も気持ちよく歩きたいです。
柴崎町	子供が自由に球技をできる環境の整備。
錦町	ゴミが多いので清掃に力を入れてほしい。 市の講座は、どの地域からでも参加しやすい立川駅に近いところに集約してほしい。
錦町	福岡市のように、夜にゴミ収集を行なってほしい。 カラスが来ない上にパトロールになるため。
錦町	近くの公園の遊具が壊れていて、いつ直るのかな？と子供と話をしているうち2年程度経ちました。 危ない思いをして遊ぶのはどうかと思いますし、それが使えないなら撤去なり修理なりして欲しいと思います。 子供や老人に優しい街を目指していくならば、まずは周辺状況をもう一度見ていただきたいと思います。
錦町	近隣の公園内や入口付近が喫煙者のたまり場になっているので、市内の公園周辺は全面喫煙禁止にしてほしい。
錦町	先月、町会の協力もあり、自宅近くに防犯灯を設置してもらいました。市からの補助金もありLEDにしてもいい、明るくなりました。安心安全のために必要な設備です。住みやすい立川、老人、子どもにやさしい立川よろしくをお願いします。
錦町	道路を綺麗にする。(掃除や古い箇所は作り替えなど)
錦町	夜は外国人の客引き、スカウトなどを取り締まって欲しい。 とくに外国人の客引きは子どもも、歩く場所では無くして欲しい
錦町	空いている国有地は、子どもの遊び場に開放してほしいです。具体的には、立川第四学童の周りは広く空いているのに子供達が外で遊べないという残念な環境です。
羽衣町	西国立駅前の空き地がグラウンドになると良いな。使い道が決定するまでも…
羽衣町	自転車走行しやすい整備をお願いしたいです。 道路が狭いのに、自転車マークがあっても子供を乗せて走行しようとは思えず、歩道を走行することになってしまい、危険です。 インフラを整備する方も外出のしやすさに繋がると思います。
羽衣町	緑が減らないようにする。地球温暖化が叫ばれている今、高齢者宅の垣根などを石塀にせず、生垣にし年に何回かの手入れの負担を市が援助する。
曙町	駅(立川駅)周辺のマナー(タバコ・スケボー・etc)が悪いので、注意してほしい。 線路下を通るトンネルの「自転車に乗ったままの走行」や「原付き」も走っている事があるので、取り止めてほしい。
曙町	公園や商業施設近くでの路上喫煙、歩きタバコが酷い。市の条例はありますが、形式的で効果を感じない。罰金を取る、見回りを強化するなど、喫煙をもっと厳しく取り締まって欲しい。学生時代を立川で過ごし、子育て世代になって立川に戻りました。子供の頃も思っていました、上記のようなマナー違反の喫煙対応に本気で取り組んでいないと感じてきた。競輪があり、繁華街があるからこそ、しっかり取り締まるべき。都市開発され、せっかく魅力的な街になってきているのにもったいない部分だと思っています。このご時世で、歩きタバコや路上喫煙を黙認しているような雰囲気はちょっとありえないと思います。子育て世帯に魅力的な場所がたくさんある立川だからこそ、この問題に本気で取り組むべき。
曙町	サンサンロードがうるさく、汚い。 やりたい放題にせず、ルールを作り、綺麗な街にしてほしい。
曙町	電柱地下化の推進
高松町	今の町の道路をより広く緑地帯、幅広の歩行者道路、自転車道を併設する。 現状比較 歩行者道路は傾斜なし、水平に凹凸なし
高松町	自転車専用の道路を作ってほしい。車道がせまくてあぶないところは、歩道に自転車専用が設けられればよいのですが…
高松町	歩行者が安心して歩ける町であってほしい

緑町	店舗や住宅等で、 車椅子や歩行に不安がある方の為に、段差がある入り口に解消するためのモノを配る、もしくは補助金を出す。 なんてどうでしょうか？案外段差がありますよ。
緑町	駐車場をもっと作って欲しい。街灯が少なく道が暗い。
緑町	駐車場がない。車を買おうと思っても近隣に駐車できる場所がなく困っている。
泉町	自衛隊立川駐屯地の横の立川2中の通学路にガードレールを設置して下さい
泉町	駅周辺で下水のにおいがするので、改善してほしい。
泉町	・自転車、キックボード等のマナーが悪すぎる。 ・ゴミの分別ができていない(冊子を全く読んでいない人がいる)。 ・防災基地のヘリコプター(ホバリング)がうるさすぎてテレビの音も聞こえない。
栄町	えき前(立川駅)ばかりさかえていて、その他がおろそかに感じる。 「立川市」は広いです。もっとはじの方まで見てほしい。
栄町	・道路整備 自転車のマナーが悪く、歩いていてもあぶないと思うことがある。
栄町	幼児検診を雨でとか、兄弟をつれてのとき車で行けず困った。駐輪場がある所でやってほしい。 以前住んでいた所は、大手スーパーの最上階が市の施設で幼児の遊び場、健康診断や相談場所になっていたの、立川に来て、子育て世代に優しくない街だと思いました。
栄町	公園で軽くからだを鍛える(ストレッチ等)器具を設置してほしい(高齢者)
栄町	高齢者の方が働ける場所をつくってほしい。 ボケ防止、体力低下
栄町	車道に自転車マークがありますが、白線がひいてないところがあり、自転車走行ができず、毎回危険な目に合っています。
栄町	自転車のマナーに関する啓発をしてほしい。
栄町	栄町にも図書館を設置してほしいです。アクセスが便利になると利用頻度が増えます。
栄町	狭い道をスピード出して通る輩がおり、地元、他県ナンバー両方あり。 身体の不自由な人、健常者も、恐怖であるので、アスファルトを盛ったスピードを、落とす対策をして欲しい。 タバコの投げ捨てが多いので、歩きタバコ禁止は、周知徹底して欲しいです。
幸町	国立市のように、学園都市になってほしい。また、商業都市にもっと力を入れてほしい。
幸町	最近、マナーが悪く、言葉の通じない方達のゴミ捨て、階段の大人数での足音、声の大きいのが目立ちます。 料理の匂い(ニンニク等)が毎日ひどくて窓を閉めて欲しい。自転車もきちんと入れて下さると良いと思います。
幸町	外に出て、一息つきたい公園がとても汚い。植えた木がのびほうだい。雑草もすごくて、とても入りたいと思わない。そして、学校でも行ってはいけないキケンな公園と言われている所もある。子供や老人、障害を持つ方…。いろんな方たちがやすらげる場所(公園)がほしい。
幸町	にぎやかで明るくもっとセンスのいい街に！ 治安のよい立川を、立川は年寄りでも自由に外出でき明るい気持ちで楽しく生活できています。 感謝しています。
幸町	公園の整備。ベンチの設置。人が集える場所を整備する。公園用ストレッチ器具を設置。健康増進をはかる。
幸町	道路の整備 敷地外に私物を置く行為の注意喚起

柏町	小さな公園が近くにありますが、雑草がおい繁り、使用できるような状態ではありません。市の方で定期的にきれいにしたいです。個人では重荷と思います。南北道路(直進)はジョギングに良いですが、ベンチが全くないので休めません。等間隔でベンチがあると気軽に散歩、ジョギングに行こうと思えるのですが…。行くに行けないです。(理由:街全体が歩いていても、ちょっと休めるベンチがあると中高年者は助かると思います。ウォーキングが健康に良いと聞いても、途中、疲れてしまった時に座れるベンチがほとんどないので、ウォーキングなど自助努力したくても、なかなか実行しづらくなってしまいます。広い公園等もないので、作ってほしい。
柏町	公園が少ない。子どもたちが自転車の練習をしたり、「ちょっと行ってくる」と外に出るところがないため、室内で遊ぶしかない。学校の校庭開放も限られている。交流、顔みしりを小さい頃から作らないと安心して住むには、孤立してしまう。
砂川町	ペットが多いので、ドッグランがあれば良いと思う。
砂川町	各庁のヘリコプターの騒音がやかましく、市からの土、日、祭日の運行(不用、不急)も完全に無視されている状況です。さらなる文書要望並びに職員による現実把握をお願いし、対応を取っていただきたいと思います。
砂川町	ウォーキングをしています、遠方に行ってもウォーキングしたくなるような所が少ない。(自然の美しさにふれる所少ない(昭和記念公園以外で))
砂川町	武蔵砂川駅周辺の商業施設増加で、住みやすい街づくり
上砂町	歩道が狭いので広げてください
上砂町	歩道が狭く交互通行できない場所が多々あります。 普通に歩くだけでも大変なのでベビーカーや、車椅子になるとより大変になります。歩道の整備をしていただきたいです。
上砂町	道路で飛ばす人が多く、子供の登校時など非常に危険を感じる。狭い道路の交通安全が必須に感じるため、何かしらの対策が必要です。
上砂町	上砂町5丁目には公的な施設が皆無であり、福祉の前に課題が多い
上砂町	近々、子供が産まれるので武蔵砂川駅周辺の区画整理事業の早急な実施をお願いします。
一番町	歩道を荷物を運びながらや、子供たち、高齢者が歩きやすくするため広げてほしい。
一番町	上水の歩道を整備して、ベビーカーや車いすでも通れるようにして欲しい。安全に歩けないせいで、車で出るしかない。
一番町	税金が安く、ゆとりある住空間の町づくりを目指してほしい。
一番町	天王橋交差点の渋滞の解消等、交通渋滞の解消だけで、かなり住みやすいまちになると思う。
西砂町	・歩道が狭く、1人の人間が歩くスペースしかなく、バリアフリーではない。段差をなくすため、歩道が波のようになっていて、勾配が急で狭い間隔である。ベビーカーも車イスも通りづらいし、視覚障害者の点字ブロックがギリギリの幅の歩道で歩きづらい。車道と歩道の境目の縁石のコンクリートがえぐれて、雑草がのび放題で歩きづらい。歩道整備と歩行者・自転車・自動車と道路を分けてほしい。特に松中通りと都道7号。交通量の多さと歩行者も結構いるが、歩道整備されておらず、事故おこりそう。 ・公園のブランコも昔ながらのブランコの型。都心の方は、キューブ型のブランコで小さい子もれる落ちないブランコになっている。立川市もそうしてほしい。
西砂町	立川駅周辺だけでなく、広域への利便性拡充を望みます。
西砂町	西武立川北口にコンビニがほしい。 西武立川北口から北にまっすぐ進める道を作してほしい。
西砂町	テニスコートなどのスポーツ施設の充実
西砂町	一番町付近から西砂町にかけての歩道拡張(特に五日市街道) 切り下げ部分が多く、自転車、車いすでの移動が大変です。
西砂町	五日市街道沿いの自転車レーンは、道路幅が狭く、車と自転車、双方において危険だと常々感じております。アイデアの一つとして、玉川上水沿いに、自転車レーンと歩行者レーンを別々に整備して、自転車はそちらを走るようにすると、危険が減ると思います。ご検討のほど、宜しくお願いします。
富士見町	ぐるりんバスを富士見町全体に通行してほしい。 南口を北口なみに大きくしてほしい。

富士見町	無料の24時間使用できる駐輪場を作って欲しい。
富士見町	暗い道を減らす。
富士見町	富士見町団地は、エレベーターなしの既存不適格建築物です。立川市の中には、同じような集合住宅が多数あると思います。安全のためにも高齢者のためにも、建替が出来るよう、市が先導していただきたいと思います。
錦町	立川が便利になり、立川駅とその周辺に生活の軸となるものが集中しているが、高齢になり、包括を利用しようとしたところ、高齢者利用施設は、設置場所が遠いと気付いた。駅と市サービスセンターはあるのですが、ケア施設はないです。デイケアの後にデパートで買い物をする高齢者がいてもいいのではないのでしょうか。
羽衣町	駅周辺への一般車両制限 駐車スペースの充実 迂回路の充実 etc
幸町	地域センターに従属するような場所を増やして欲しいです。
西砂町	法定速度や信号の点灯状態の最適化。赤信号での停止が自転車含めて多いため。
無回答	交通標識のことですが、一方通行なのに、標識が見えていないのか、通行している車とバイクをよ〜く見ます。その住民の方々は、きっと迷惑していると思います。はっきり見えるようには？

【人・つながり・地域活動】62件

富士見町	お年寄りと幼児の交流が出来る場所を作してほしい。
一番町	小学生、中学生に体験するものを多く設置して交流できる機会を作っていただきたい。 また、高齢者を活かせるまちづくり。 多世代が交流できる施設を各地域に設置してほしい。
錦町	私は昨年がんになりました。 その時に、同じがん仲間と交流できる場所があれば良いのになあと思いました。都内に行くのは面倒なので近所であれば行きやすいです。
西砂町	一般市民が福祉の援助活動をするには、まず、日常活動で交流が出来てないとむずかしいと思いますので、日常生活の中で住民同士が交流出来る場づくりが必要だと思います。
羽衣町	子供会の活発な活動から地域を知ってもらいボランティア活動へとつながる教育 元気な高齢者の交流からボランティア活動へと楽しんでもらう。
砂川町	砂川地区に駐車場完備の大きめの図書館があったらいいなあいつも思っています。フリースペースも、サークル等活動出来る部屋など、子供食堂も、色んな世代が集まれる交流が出来る。子供からはパワーをもらえ、高齢者からは知恵をもらえると思います。
一番町	以前、団地に住んでいたことがあります、「最近、〇〇さん少し変なんだよ。」と困った様子を隣りの人から聞いたことがありました。(団地に住む住人のことで。) 私は介護士をしていたので、少し様子を見ていたのですが、自転車で出かけ、歩いて帰ってきたりすることが増えたので、地域包括支援センターへ電話し、その後、家族の同意のもと入所が決まったことがあるので、地域の交流できるイベントや場所、困った時や、専門の方による見守りや訪問調査などがあれば、お年寄りも少しは安心した生活がおくれるのではないかと思います。また、買い物もなかなか行けない方もたくさんいるので、移動販売や国や市のサービスをもっと気軽に使えるようになれば、助かると思います。
富士見町	地域の繋がりが上向きになって行く様な兆しが見えて来たかと思いきや未曾有のコロナウィルス禍となり、人との接触が難しくなってしまった。約3年が経ち、収まるかと思ったら今度は他のウィルスの発生で人類同士の接触を阻む時代がやって来て、今後どうやって様々な活動をして行かなければならないか？100年毎に繰り返させる危機をどう乗り越えたら良いのか？考え過ぎでしょうか？
富士見町	市との連携をとり、地域のリーダーを育てる。
富士見町	私はコーチング(傾聴含む)を少し勉強しました。他にもその様な方がいらしたら、高齢者や悩みを抱える人々、人と話をしたい方等のお手伝いが出来るように、技術を磨く場と、必要とされる方々に対して、活躍できる場があると良いと考えたりしております。
富士見町	立川南口の区画整理、北口の再開発が、街のコミュニティを壊していったのだと思います。行政による都市計画は、一部の会社や企業にとっては、都合がよい様に行われて来ましたが、住民にとって良かったとは思えません。南口名画座周辺の商店街など顔の見える小さな商店も無くなりました。一度壊れた街はなかなかもとにはもどけません。市民が、イヤイヤではなく、心から参加したくなる様な催しものや活動が、この街を暖かく思いやりのある街にしていけるのではないのでしょうか。
富士見町	隣家にひきこもりの男性(50代)がいます。両親は80代後半でこの度母親が入院したようです。したがって、今は二人暮らしです。親戚との付き合いは無いようです。将来どうなるのか気がかりです。
富士見町	自治会等に入っていない人たちもつながりができる場や機会があると、生活するうえで心強い。
柴崎町	くるりんバスの廃止 乗車している人をほとんど見かけない
柴崎町	元気な老人を活やくさせる
錦町	小学校や中学校の授業や課外活動などを通じて、地域に貢献する取り組みをするなど、若い頃から地域との支え合いを感じるにより、よりよい社会へと繋がっていくと思う。地域の行事・イベント・お祭りのボランティアを募るなど。(既にされていることかもしれませんが)
錦町	福祉アンテナショップ1人で歩いていけて、1日楽しくすごす場所 町内に2,3カ所あり、皆がお話がしたいのです。 毎日一人ですごしている人がたくさんいます。

錦町	地域福祉とは、地域の人1人1人の力だと思うので、地域住民の力を合わせやすくなるためにも自治会など地域の盛り上がりが不可欠であり、そのための仕掛けとすれば、定期的なイベントの開催になるかと思います。例えば毎月第1日曜日に未来センターで、イベントの抱き合わせで福祉ニーズの掘り起こしを何とか、案内するとか。
錦町	近所の付き合いがなく、立川市に来てから知り合いができません。どうしたらよいかわかりません。
羽衣町	市でやるべき仕事は市で行う。町会の活性化のために市は補助事業を行い、誰もが気軽に町会に参加できて、毎日の生活に役立つ地域づくり。
高松町	保育士です。立川市内の保育園で勤務しています。子どものいる家庭で地域でのつながりができているように感じます。子どもがいない家族、または独身世帯(1人)は孤立していると思います。親族もいない、地域との関わりもない、いつの間にか孤独死している等が増えていくのではないかと危惧しています。そうならない立川市での取り組みに期待しています。(何かあった場合に近隣同士助けあう、連絡をとり合うなどのシステム作りなど) 私は時間が大丈夫ならば隣近所の人困っていたら助けたいと思います。おせっかいになるのか、ふみこんでいいのか、トラブルになるのではないかと心配な面があります。また、いずれ一人暮らしになった時に、例えば、コロナやインフル、または、自宅でケガをしたなど、一時買い物に行けない時はどうしたらいいか不安です。・近隣同士声をかけられるシステム作り ・民間企業で食料品のネット通販 など普及してくだされば幸いです。 別件ですが、保育士の数を増やしてほしいです。更に連日の保育士の不適切・虐待などの報道より職員は疲弊しています。この保育士の人数で求められることをすることが難しい現状です。
栄町	各自治体の横の繋がり強化。情報の共有。
栄町	ご近所の方とは、あいさつ程度のおつき合ひでしたが、夫婦高齢となり、防災訓練などに参加し、自分の身は自分で守れるようにし、ご近所の方とのコミュニケーションもとれたらと思います。
栄町	自治会ではなく、同じような境遇の人同士でつながりやすくなれば、お互い情報交換ができるので、いいと思う。例えば、子育てに困っている人の会や介護に困っている人の会などをつくるといいと思う。
栄町	・地域の自治会のあり方を変えてみたらどうでしょうか。災害時のボランティア等、うまく活用できると思います。 ・空室の活用を
栄町	社会と関わりを持てていない人が、何か役割を持ち、社会とかかわっていくことができる仕組みができると良い。
若葉町	今後、高齢者が増えて、人手はますます足りなくなるので、高齢者どおしで助け合うしかないのかなと思います。その場合は、橋渡し役は市役所でしょうか??
若葉町	隣近所の関係をよくすることが大事
若葉町	高齢者になり近くに気軽に立ち寄れる集会所が欲しい。
幸町	色々な地に住みましたが、それぞれ年代も違い、求めるものも異なるので、何とも言えませんが、立川市にはよそよそしく保守的な感想を持っています。某市は買い物ついでにふらっと立ち寄れる図書館が数多く有り、コーヒーの飲めるようなフリースペースも有り、お年寄りが気楽にゆっくり過ごされている様子でした。コロナが消えるわけでもないの、人との繋がりには難しいとは思いますが、気楽にフリーな気持ちで立ち寄れる場所があったらいいのにとと思います。図書室、フリースペース、子供食堂がミックスした様な場所はどうでしょう。
幸町	隣り近所の人と声かけ・あいさつをしよう
幸町	コロナの為とも思われますが、人対人が気軽にあいさつ出来る世の中になりたいです。新市長さん、頑張って下さい。
砂川町	我が家は、地域の活動として自治会に入っていますが、正直メリットを感じません。防災訓練などに参加していると、もしもの時には役に立つと思います。地域での助け合いは必要になると思うので、自治会に加入されている方、していない方、皆さんが参加出来る取り組みをわかりやすく打ち出してほしいです。
一番町	アンテナショップのお手伝いをさせて頂いていますが、課題が多いです。赤ちゃんから高齢者までが気軽に居場所となるような拠点が点在に、ある町であって欲しい。そこから、つながりが広がって、住んで良かったと思える街になるでしょう。

一番町	笑顔で集まってお話しできる場があると良いと思います。
西砂町	各年代毎に集まってやりたい事を実現出来るように支援してもらえれば、面白いかなと思う。 世代の色を出した地域活動ができるかな！
西砂町	地域まつりのような誰でも参加できるイベントがあると、地域の相談先を知ることができたり、地域の人と関わる機会になると思う。
	地域の福社会館の全年齢の開放によるコミュニティ
砂川町	小学生や保育園、幼稚園などで近隣の福祉施設との交流企画をする。接する機会を増やす。 公園で休日に近所の人が集まれる企画をする。プレイパークには子どもたちがたくさん集まっていた。そこに高齢者、障害者も集まれるような工夫をする。
栄町	コミュニティの減少に危機感があります。高齢者と若い世代の交流も少なくなりつつあり、自分の時間以外は面倒という流れがあるように感じます。 相談窓口や支援はとても良いと思います。私も実施していますが、根本の原因をなくすのが大切だと思います。税金も底なしではなく、20年先も同じように出来るか？まずは心の健康がお金よりも大切なもののような気がします。
上砂町	公園の整備を丁寧に行なって、さまざまな年代、国籍、趣味を持つ人の交流の場を作ると良いと思う。
砂川町	私は地域の自治会役員をしているが、自治会員の減少が著しく、新規加入者も少ない。拝金主義が?とされている世の中でメリットの少ない自治会に加入したくないという意見は最もだと思うが、自治会は地域交流や様々な活動に大きな力を持つと私は考えている。立川市も自治会員を増やすための方策を考えるべきだと思う。 自治会員に配布される絆カードでゴミ袋の割引をしたら少しは自治会に入るメリットができると思う。 引っ越してきたばかりの人を自治会に勧誘するので、自治会に加入すれば有料のゴミ袋が割引で購入できるとなれば引っ越してきたばかりの人は自治会加入にメリットを感じると思う。引っ越したばかりの時は出費が嵩むし、引っ越し先から持ってきたゴミを出すこともある。ゴミ袋の割引は魅力的だと思う。
富士見町	以前は、1人暮らしの老人の家に月1回は訪ねて来てくれたのに、今はそれがなくて、民生委員の方に聞きましたら、或る人が訪ねて来るのは迷惑と云ったとかで、訪ねるのをやめたそうです。86才の私は急に倒れたり、急死したら…と考えると、心配で毎日を不安で暮らしています。どうしたら、安心して暮らせるのでしょうかー
柴崎町	住んでいるところの周りをゴミを拾う運動をしては。タバコ、プラスチック容器などいたる所に捨ててある。秋川のホールに行ったとき、公園等ゴミのポイ捨て禁止といたる所に表示してありました。
柴崎町	子どもの学校を通してしか知り合いがいません。世代の違う人々や同じマンションの住人同士でも会う機会がなく、どうにか顔見知り程度にはなっておいた方がいいと思うんですが……
柴崎町	現在老人会の役員をやらせていただいています。補助金をいただいて、活発に活動していますが、市への提出書類が大変で、頭も目も衰えてきているので、もう少し簡素化出来たらいいなと思います。役員のなり手がなくなります。
錦町	人との繋がりが必要ではあるが、難しい面もある。あまり、コミュニケーションを取りたがらない方もいるだろうし つかず離れずと言う付き合いでもいいのかもしれない
高松町	つい最近、近くの借家に住む単身者が、眼が見えなくなったとのこと。 直ぐに近くの地域包括センターに連絡すると、金曜日の夕刻時であったので来週にお伺いするとのこと。こんな近くにこんな事情をお持ちの方がいることに驚きました。 センターの存在は以前より承知していたのですが、この度の件で連絡差し上げ、来訪を待っている現在です。 市内の各所にこのようなセンターが有ることに、嬉しさを感じました。
高松町	地域活動は活発な区域と感じていますが、永年地域活動をしている方に保守的な方がいるので地域活動には参加したくないと感じています。 ボランティア活動をするにしても地域とは全く関係ない場所を考えています。

栄町	あまり先の事は考えず、周りの人にめいわくをかけず、日々を過ごせたらいいと思っています。でも、このアンケートが来て考え、市報を広げて見たり、地域の事に關心をもち、年を取っても、この地域の一員、この社会の一員であること、心やすらぐ社会、世界であってほしいと思い、何ができるか考え中です。
栄町	高齢者に対して優しい町づくり→市の老人ホームなど。 自治会内でのネットワーク作成。
若葉町	自ら、もっと積極的に地域との関わりを持つべきと反省もしています。
砂川町	安価で運動できる機会があり、ありがたいです。ただ、80代でも運動したい方は多いと思います。高齢者向けのゆるやかな運動メニューの機会というか場所を希望します。今現在ストレッチ教室を利用させていただいてますが、テンポが速くきついです。
上砂町	地域も高齢化している反面、新しい物件に若い方々も引越してきていますが、全く顔も名前も分からず会ってもお互い？状態です。自治会も全く昨日してませんし、今の時代加入する事は今後もないと思います。立川駅前には発展していますが、 住んでいる地域は閑散としています。 選挙の時だけ、どの市議も必死になり回るという感じに思われます。日頃の地域での意見、現状を把握してもらえるように新しくお若い市長を中心に痒いところにも手の届く行政改革地域の発展立川の発展を心より期待しております。
上砂町	地域のいろいろな活動にベテランの人が多すぎて、気軽に参加できる雰囲気ではとてもない。あの御所の「私たちにになにか？」はどうならないのでしょうか。参加したくてもなかなか・・・と 思っています。
上砂町	自治会の活動支援 気軽に集まれる場所がないので、個人宅での居場所づくりの支援があれば、4、5人の居場所となり、見守りにつながる。
一番町	適度な距離で適度に支えあうことが良いと思います。しっかり、べったりはお互いしんどくなるから、良い意味で見て見ぬふりをしつつ、根っこでは支えていけるような関係性が築ける地域だと すごしやすいかなと思います。
一番町	高齢者への声かけが、できていない様子です。不要でも、声かけをすることで、高齢者の、万が一を防げると思います。世代間に偏らない福祉サービスがあるといいと思います。 引越し前に、福祉サービスを確認しましたが、他の行政より良いサービスです。
西砂町	地域の中にまだ自治会の中に入っていない方が多く見受けられると思います。もっと、自治会の方に入って貰える様に市で働きかけてほしい。
西砂町	自治会活動を通して、高齢者への声かけや見守り、普段の様子等を知ることができ、役員同士の情報共有と今後の励ましに生かされております。
柴崎町	近所の方と交流できる場があれば良いなと思う一方で、町内会などに参加すると人間関係がわずらわしい気もする。
一番町	周囲とのつながり

【福祉保健環境】50件

泉町	相談窓口の設置
栄町	なんでも相談できるための窓口の充実、経験者の採用
柴崎町	不登校の子供の相談をしたことがあるが、求めるような相談にならなかった。相談機関に定年退職したか、医療や福祉の現場で働いていた人を市が再雇用して、力のある人を配置してはどうか。 ソーシャルワーカーは若い人よりそういう人の方が対応力があると思う。
若葉町	365日何時でも相談出来る場所
若葉町	24時間365日困った時に直ぐに相談出来る窓口あったら助かります。
栄町	悩み事や困ったことがあったら気軽に相談できるようなシステムを地域ごとに作れたら良いと思います。
柏町	質問の範囲が広すぎて答えにくい、困った時に相談できる窓口は欲しい。 そしてどんな問題でも金銭面での補助は大きい。個人の繋がりが薄くなっているからこそ、手を伸ばした人がいる時、手を握る人もいるという雰囲気作りがあると温かい気持ちで過ごせると思う。
幸町	個人的な希望で恐縮です。 何か困ったことが起きたときに、どんなささいなことでも、気軽に、安心して相談できる場所が市役所にあればありがたいと思っております。 立川市に50年ほど住んでおりますが、未だ、身近に相談できる方がおりませんので。
富士見町	とても難しいとは思いますが、なんでも相談できる窓口があったら良かったなと思います。これからますます多くなっていく高齢者、そして高齢者を介護する側の精神的負担を緩和できる何かがあれば…と思います。ケアマネさんは資格が必要なので増やすのは難しいと思いますが、介護経験者が現在介護している方々の力になれば…悩みを聞いたりする場所があったら…と思います(悩みを話すだけでも救われた経験上)
上砂町	福祉、介護など事務手続きが、複雑であり、高齢者にほ、到底理解ができない。シンプルにするのが、ベストであるが、せめて困り事相談窓口設置と情報の提示が必要。知らない人が損をする世の中であってはならない。
錦町	なんでも相談できる窓口があって、その先にどーしたら良いか聞けるところがあれば便利だと思います。
砂川町	砂川地区に民生委員がいないと聞きましたが、一人暮らしが増えているので、報酬や対価が少ないからだと思います。また、そう思う人が少ないなら立川市で職員を増やし、地域に向けてほしいです。 老いが不安になる日々に手を差し伸べてください。 ひとりにさせない立川、心温かい交流のある立川、相談窓口の広い立川 立川に住んで良かったという一生にしたい。
富士見町	痒いところに手が届くようなきめ細かい福祉活動。問題や困難をかかえている人々への窓口の温かい対応が大切です。
富士見町	ぐるりんバスの廃止 乗車している人をほとんど見かけない
柴崎町	今回このアンケートをいただくまで「地域の福祉」について考えたことがありませんでした。 Q9も漠然と「立川駅近辺が便利だから」という理由で「満足している」としましたが、改めて考えるとエレベーターやエスカレーターが各所に設置されていることも便利な理由の1つだと気付きました。 自分のように普段は「地域の福祉」に興味がなくとも、きっかけがあれば考えてみようという人はいると思います。 そこでまずは「地域の福祉」に関する啓蒙が必要だと思います。
柴崎町	家庭内の虐待を時々見かけます(高齢者、夫婦、子ども)。近所とわかっていても実際には扶養者がいて手も口も出せません。通報も誰が告げたかわかるのでできません。シェルターの充実が望まれます。

錦町	高齢者が自宅で生活している人が多くなるようなので、ヘルパーさんをもっとふやして、自宅で生活できるようにしてほしい。 生活保護で、外出できなくて(身体的に)…そんな生活を体験してみてください。1人1人にむきあわず、まとめてよくしようなんて、何もみてないのと同じです。 寄りそった市になって下さい。 病院へいって、様子みて、声かけして、何に困ってるか、気付いて下さい。
錦町	課題を背負っている方の中で、一部の方は市のサークル活動等で人付き合いを広げられるかも知れませんが、多くはこもってしまうような気がします。まずは市が窓口となれるように積極的にアプローチして、対応を望まれている方の掘り起こしを行い、地域で対応するのか、行政が対応していくのか、案件ごとに判断するようにしていく。その為には地域が出来ることをシステムとして構築する必要があると思います。
錦町	地域福祉に関するアンケートのようですが、あまり趣旨が伝わらない内容でした。もう少し具体的に、または対象者を絞った質問内容の方が答えやすいと思いました。ハンディのある方が高齢者も含めてスムーズに移動でき、何も困らないで生活できる街であってほしいと思います。
砂川町	老朽化した空室が目立って来て、防犯上、少し怖い気がしました。市で買いとり運営して頂き、例えば、借りる事が難しい老人(高齢者)にお貸しし(できれば、安価でお貸しするシェアハウスでも良いかも。若年層と高齢者とのシェアハウスが理想)、入居していただくとか、サービス高齢者住宅として立て直して、空室をなくす。集団(高齢者)タクシー(無料)など、考えて頂けると幸いです。なるべく、高齢者には、運転して欲しくないの、集団タクシー(乗車)は、利用したい人がかなりいらっしゃるのでは?と思っております。是非、検討願います。
砂川町	介護を必要とする高齢者への支援の仕組みが複雑でとにかくお金がかかるため、手続きをしようとしても諦めてしまう高齢者が多いと思う。そういったサポートをより手厚く行える仕組みが必要であると思う。
上砂町	69歳で病気も多数(心臓、糖尿、血管)を抱えており、孤独死する危険が多数あります。孤独死する危険のための登録をお願いします。孤独死していた場合、行政で面倒を見ていただきたい。
西砂町	傷が浅いうちに、もう危ないと判断出来る仕組みが欲しい。 小さなボランティアで予防する。カジュアルなボランティアを増やす。(ハードルが高く、参加する気が起きない) 社会福祉士の露出を増やして、福祉が馴染みのあるものになるようにする。警察官や消防士の方をイベントで見かけるような感じで社会福祉士の存在を知りたい。(こんな人、こんな仕事があるんだ～という感じで) 認知度が低い、不透明、支援の段階がイメージしづらい、などがボランティアのハードルの高さになっている?
緑町	キャリアコンサルタントなど、いつでも相談できる体制を作り、高齢者から、引きこもりの労働支援により、社会の活性化。購買力の向上。
栄町	要介護の老人が居住する家を把握し、定期的に介助者の相談(訪問)に乗る仕組み。
柴崎町	障碍者のグループホームや就労支援施設の充実
柴崎町	立川の福祉サービスの範疇ではどうしても認知症の父を預けられるところがなく、7年間必死に家でお世話しました。最終的に立川ではどうしても解決出来ず、日野の親戚のサポートで日野の病院に父を預けることになりました。そのようなことから、日野や国立など近隣の福祉の良さを立川ももっと取り入れて暮らしやすい立川にしたいです。
柴崎町	メンタルケアに重きを置いて他人に意識を向けるだけの余裕のある街づくり 多目的な交流を増やしていくのであればメンタルケアが可能な施設を増やしていくべき
錦町	放課後等デイサービスの充実(医療的ケア児)
高松町	市内の健康施設などの利用や健康教室の参加することで、ポイントがつき、特典がつくとかして、市民も健康増進や施設の活性化などを図る。
泉町	障害者や高齢者の”突然”の通院など、手続きして、前もってではなく、当日でも同行してもらえそうなシステムがあれば、とても助かります。
泉町	独居老人の住居清掃を進める。
栄町	健康会館などの充実、見直し

若葉町	高齢者が安心して暮らすことができ、また施設やホーム等、安くて簡単に入居ができるようにしてほしいと強く望みます。
幸町	介護福祉施設の充実。包括支援センターなどで働く人の質の向上。ケアマネージャーの仕事の内容の向上。介護師やヘルパーの賃金をふやす。 (要介護者の要求に親身になってほしいが、現在は事務的である)
柏町	高齢者が多くなり、福祉の方も大変かと思いますが、年金が少ない者に対しては、一時的ではない支援をお願いしたいと思います。
砂川町	ディサービスの充実
砂川町	障害者施設を作してほしい。
砂川町	知的障害者の息子が居ます 大人になった時の居場所を増やしていただきたい。
上砂町	老人ホームがたくさん出来れば良いとおもいます。 安心して入居出来ることをのぞみます。
上砂町	障害者とその家族が地域にずっと住める町に。高校3年生で卒業すると医療的ケア(人工呼吸器使用)の子、人が日中に過ごせる場所がありません。その子を親がみることになるので親は社会に出ること、働くことが難しく、子どもをみるための人となり、親の人生、将来の保障がありません。今から不安で仕方ありません。母子家庭なので特に。地域に生活介護施設を作っていただき、障害者もその親も本人らしく生きることが出来る立川になってほしいです。
一番町	知的障害児がいます。将来は入所施設へ入らないとなりません。ですが現状、地域にはほぼ満員で入れるところがありません。商業施設の誘致など経済的なものを優先する立川市(私は一市民としてこう思います)ですが、もう少しこういう障がい者の家族へも目を向けてほしいです。近場の施設で預けられたら、家族としては安心ですし、目を光らせることもできます。また自らが働くことも出来るようになります。保護者ありきの福祉なので、フルタイムで働くことも難しいです。フルタイムで働ければ、扶養からハズレることも可能でしょう。 私は、福祉のより一層の充実を望みます。
西砂町	看護サービスの内容は、利用者側にとって、選択の余地はほとんどないように思いました。一方的に、上から目線で決められているようです。もう少し利用者側に選択の幅をもたせて、要望などを聞くべきではないでしょうか。人間的、経済的な問題が、発生すると思います。非常に難しいかもしれませんが、そのような契約の内容を考える必要があろうかと思います。
西砂町	障害児・者への理解を深める活動を通して、障害児・者が社会参加できる活動の充実を図る。 そのため立川市中心以外の地域で上記のような取り組みを行っていく。
富士見町	年寄りにも住みやすいまち
柴崎町	健康でいられること。健康なら、ご飯がおいしく食べられる。出かける気になる。人に会ったりできる。表情が豊かになる。ただ生きている人だけにはならない人生がよい。健康第一です。
栄町	相手を考えること、福祉の縮小が必要
栄町	高齢者のため、私自身の心配事が出てきます。
若葉町	最初の導入、ある程度軌道に乗るまでは市側のサポートがあれば参加しやすいと考えます。
幸町	福祉を充実してください。

【子ども・子育て】36件

富士見町	子どもが放課後に安心して過ごせる場所がちかくないので、暑い日や雨の日に子どもだけでも行き来できる施設や、子どもたちが安全に遊べる公園を増やしてほしいです！ また、子どもの居場所づくりをしている事業者や団体にもっと柔軟な行政支援(給付金補助金)ができるとよいと思います。
一番町	・立川市全体としての待機児童の割合は少ないが、地域によって倍率が高かったりする為、もっと保育園が増えたり、受入人数を増やせたりできると子どもがいる身としては助かります。 ・場所によって歩道等がしっかりしていなかったりするので、ベビーカーや車いすでの移動が難しく、出かけにくかったりするので、難しいとは思いますが、ベビーカーや車いすが安全に通行できる場所が地域全体にできると嬉しいです。
柏町	働いている主婦のため、小学生の子供を持っている親のために学童保育がありますが、子供たちは行きたくないと思う子供がほとんど一年生になって、保育園のような学童も通え学習したい、運動もできる場所ができると良いと思います。小学生になったとたん、「学童はつまらない」とほとんどの子供が行っています。何とかありませんか。
富士見町	週40時間+残業をしているシングルマザーには地域のことを考える余裕はないです。家にいる時間はわずかです。市内で働く方や企業と協力するのもいいのではないのでしょうか。子どもたちが安全に遊べる場所、見守り活動があるとうれしいです。
泉町	子供たちがのびのびと遊べる、学べる環境を整えて、子供同士のコミュニケーションがとれる様にしてほしい。コミュニケーション能力は、対人間の意思疎通や信頼関係には重要だと思うので、子供のうちから身につけさせてほしい。学校・地域・家庭で取り組んでほしい。
栄町	・市でも大々的に子ども食堂を運営すべき。地域団体のものだけでは利用しづらいときもあると思うし、行政が深く関わるべき問題だと思う。 ・駄菓子屋のような子供だけでも気軽に利用できる場をつくる。子供と大人が自然に交流できる場をつくる。店員は地域のおじいちゃん、おばあちゃんがやる。
栄町	子どもと一緒に遊べる施設がほしい 小児科が少ない 病児保育が少なすぎる
砂川町	子育て世帯に金銭的な支援
一番町	先日の運動会で子供の少なさに驚きました。種目も少子化のため、1、2年、3、4年、5、6年と合同で行われており、半日で終わってしまいました。少し寂しく思います。自分の子供たちが大人になったときは、もっとにぎやかであってほしいと願います。物価高騰で誰もが頭を抱えていると思いますが、子育て世帯を助けてほしいです。
西砂町	下の子の出産要件で、上の子を保育園に入所した後、下の子が生後2か月目になった後も上の子を保育園に通わせられるよう保育園継続条件を変えてほしい。
西砂町	西砂町は子育て世帯が多い。若いママが集まって交流できるようなサロンがあると良いと思う。内装が簡素なものが多いが、逆に入りにくいので、集客を考えたデザインだと嬉しい。飲食代がかかったとしても子どもを遊ばせながら同じ地域の情報が得られるのは納得できる。
西砂町	相談窓口を各地域に(あるかもしれせんが)子供の学習の遅れをサポート(収入による格差をなくす。不登校の子供達への学習サポートなど)
西砂町	若い世代の家族が住みたいと思う街になり、その方々が中心になって進められたら永続的なものにつながるかなと思いました。
西砂町	くるりんバスの廃止 乗車している人をほとんど見かけない
西砂町	こどもが、ボールなどを使って思いっきり遊べる場所が、もっと近くにあるとうれしいなと思います。

柴崎町	子どものいる共働きの世帯が意欲的に参加できる集まりがあると良い。子育て世帯同士のつながりが近所にほしい。 小さい子のいる家庭について、保護者のレスパイト目的の保育を市として拡充してほしい。保護者が仕事でない日は保育園に子を預けられない決まりがあるが、保護者の休息目的で預けることを公に認めた方が良い。子の年齢によっては、集団参加の経験を削がれることにもつながっている。幼稚園児は週5日の通園が保証されているのに、保育園児の3～5歳児は保護者の仕事休みの日は欠席を強いられていることが不公平であり子どもにとっても不利益。実際は保育園によって対応が異なっているので、市で統一して、保育園児の3～5歳児は平日の週5日登園を保証してほしい。働いている保護者の休息を公に認めて、保護者の負担感を減らしてほしい。一時保育は、他園に在籍している場合は利用できないと断られた経験もあるため、在籍園で柔軟に対応できるよう市として統一して決まりを作してほしい。
錦町	子供の学童、保育園の充実、ベビーシッターの情報提供などがあるとありがたいです 働く世代にも参加しやすい時間帯での年金の説明会があると嬉しいです
曙町	教育が基本です。子どもだけでなく、大人や仕事を退職した人対象も大切。何かをしてあげるだけではいけない。とにかく、何かしなければいけない、と思わせる教育だと思います。
曙町	妊娠期から、人、情報、支援にきちんとつながっていける仕組み
泉町	何より子ども達が安心安全に暮らせることが第一で、次に子育て世帯への手厚い支援を充実させてもらいたいです。
泉町	こども食堂があれば地域のコミュニティが活性化するかと思います。
泉町	まずは小さな子どもや、子を育てる家庭への支援、援助を最大限優先してやってもらいたい。
栄町	高齢者支援は大事であるが、それ以上にこれからをになっていく若い世代、子供達への支援は今後更に力を入れて行っていかなければならない。それが立川の未来を創ることにつながると思います。
栄町	・母子家庭には支援が多いのに、多子世帯には支援がありません。 ・学用品(支柱鉢など)いくつも必要ない。ない人だけ学校購入で良い。
若葉町	年寄りに税金を使うのではなく、児童や学生に税金を使うべき 子どもがいる家庭を支援すべき
若葉町	立川市は長年、高齢市長の陣頭指揮のもと、子育て世代への支援を最優先に取り組んできたとは言い難い時代が続いている。このアンケートも、外出支援や相談先の認知度確認等、どこか高齢者支援の色が濃く出ていることに、作成担当部署は気づいているのだろうか(若い世代にこのような質問は極めて愚問。ネットネイティブ世代は情報をどこから取っていいかわからないなんてことはまずもってない)。また、子育て世代間では「子育てしていて、立川市に住んでよかったと思ったことはないよね」といった会話が繰り返されているのを気づいているのだろうか。今般、立川市長が若返った。子育ての経験がおありだという。子育て世代への支援は高齢者からの反発も強く、世代間の分断を招くと言われているが、若い世代の勢いが先細りでは市の運営と安全の担い手がいなくなることを理解してもらえよう、市長の英断で子育て世代への支援をどの自治体よりも厚くしてほしい。所得制限のない経済的支援はもちろん、保育サービス利用時の審査を不要にし、利用への壁を取っ払う等、大胆な施策を期待する。
若葉町	家のまわりに孫と安心して遊べるような整備された公園等が全くない。私の子供達の育てている時から同じ状態が30年以上。福祉は老人だけでなく、ファミリーが住みたい、住みやすいと思える地域にすることからはじまると思う。歩道の整備もされないと安心して外出出来ません。
砂川町	最近、立川市の医療機関に転職しましたが、来院される子どもの身なりや態度等に質が高いと感じました。以前働いていたのは隣接する市でしたが、隣の市でこんなにも差が出るものかと思いました。将来を担う子ども達のために子どものための、子どもが望む教育を受けられる体制づくりが重要だと思います。なので、高等教育、出来れば、大学までの費用無償化や医療機関を始めとする福祉施設の無償化で、家庭の子どもにかかる費用を少しでも市や国が負担していく仕組みづくりが重要だと思います。
砂川町	子供が多く住みやすい街になるよう金銭的支援をする。
砂川町	こどもが安心して外で遊べる場の充実 公園の遊具が撤去されたっきりで少なくなったりする。
砂川町	女性への支援。 出産して3年は働かなくても生活が維持出来る、独自の仕組み作り。

西砂町	昭和記念公園の影響だと聞いているが、子供が遊べる公園が無いのは問題だと感じている。また公園があっても整備されておらず草がぼうぼうで遊べないことが多い。
富士見町	学童保育所を増やして欲しい。子供たちが安全に過ごせる場所作り。
富士見町	少子高齢化により、市の人口は今後少なくなり高齢者の割合が多くなってしまう。市の単位で日本の人口を大幅に増やすことは難しいが、子供の出産に対して及び、出産までに行く過程においてたとえば子どもが生まれたら1000万円などであると、そのインパクトから立川市に住みたいと思う方が増えると考え。市には国債と同じようなものがあることは存じているので、未来の立川市のためにもその点に重点は置くべきである。 コストパフォーマンスについては、最終的に子どもが大きくなって、引き続き魅力ある立川市として立川市の納税者となれば、回収することもでき、双方にとって良い方向にいく。 他の自治体と同じことをしたところで、立川市に住みたいと思うことはありません。それは立川市をそもそも知らない人からしたら、立川市に住む理由がないからです。違うこと、それもとてつインパクトがありマスメディアに影響を与えるくらいのことを市の単独事業として行えば…、難しいことですが、市長さんが変わったこの絶好のタイミングでこそ行ってほしいのです。
羽衣町	子育てのことで市役所の方々には大変お世話になりました。頼れる実家も県外で、コロナ禍で一人で子育てをする中で不安もたくさんありましたが、相談窓口の方々や保健師さんに電話でお話を聞いていただきとてもありがたかったです。また、家族に難病があり以前は他の役所で対応していましたが、立川市の役所の方々の対応はとても親切で丁寧でした。これからもお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。
富士見町	小学校の登下校の見守りは交差点で見かけるのですが、子供たちが集まる公園での見守りもあるとよりよいのかなと思います。

【情報・連携・協働】30件

西砂町	相談先がどこかわからなくて困っていることがあるので、一旦相談先として全ての困り事を受け付け、それからそれぞれの担当機関に繋ぐようにしてほしい。そういう窓口が市役所にあるといいと思う。
柴崎町	SNSで気軽に相談や質問ができれば、助かる人が増えると思います。
若葉町	自分から進んで相談できる場所が今でも多数あるかと思いますが、目につきやすい方法で知らせてほしい。 手続きが面倒、どこに行ったらいいかわからない等の不便さを解消してほしい。
緑町	立川市民が悩み事や相談を受け入れる窓口の存在を認識してもらえよう広報する。
砂川町	メールマガジンなどで、地域のイベントや何でも相談コーナーなど、頻繁に情報発信する。市の広報やあいあい通信、学習館や図書館においてあるチラシなどの活字媒体では、今の時代伝わらない。
錦町	効率化のためにインターネットを利用してチャート方式で相談窓口を検索できるようにするなど。
柴崎町	子を持つ親としては、家族で地域のイベントに参加する、身の回りで何か違和感を感じたときに相談する場所を把握しておく等、できることは限られているのかなと思います。 立川市のアカウントをLINE登録していますが、防犯や子育ての情報が届くのでとても便利です。 市内で何が起きているかをリアルタイムで知れるので、予定を立てるのにも役立ちます。実際にイベントに参加することもありました。 道路・公園の不具合を報告できるのも画期的ですね。 立川市には、このように身近に情報を知れる取り組みを継続して頂きたいです。
錦町	市への連絡や申し込みが、だんだん、スマホ等のツールを使うものに移行して、高齢者には利用しにくくなっている。対話や対面で相談する窓口は残していってほしい。
富士見町	マイナンバーで住んでる地域のデータ持つてんだから、アプリで町ごとに情報を送って働いてる世代にもネットで情報送ったりして欲しいです。直接会いに行かないと相談できないとかも無くしたいので、LINEやチャットで時間縛りなく相談できるようにもして欲しい。
西砂町	立川市の地域福祉に関して、行政がどのようなことをしているのか正直知らないことばかりです。どのようなことをしてるのか”広報たちかわ”で特集などしてくれると分かりやすいかなと思いました。 そのなかで、福祉の分野で困ってる人もこれはここで相談したらいいのかとかそういうことが参考になるのではと思います。
富士見町	ボランティア活動って、時間的にも体力的にも余裕がないとできないように思います。参加してみたいけれど・・・で迷われている人(私も)が多いのでは？なので、市報やSNSでしつこく沢山発信していただければ、人が集まり、また、福祉のグループが出来上がるのではないかなと思います。ただし、行政側も現場に丸投げするのではなく、誠実に対応していただければ市民も納得、市税を大事に活用してほしいです。
錦町	福祉に関する情報等の告知徹底を図って欲しい。
羽衣町	年を取ると消極的になり、孤独になる人が多くなると思う。そういう人がストレスなく社会と関われる仕組みを考えたい。もっとインターネットを利用した情報発信ができないものか。 高齢者や、育児等で働けずブランクのある女性の雇用をもっと増やす方法はないものか。
羽衣町	くるりんバスの廃止 乗車している人をほとんど見かけない
曙町	マンション住まいのため、町内会にある回覧板のようなものがありません。市の細かいことがわかりません。
曙町	デジタル化が必須
緑町	どのような環境にあっても、等しく情報を得ることが出来るような発信の工夫を強化してもらいたい。必要なサービスがニーズとしてある市民が、そのサービスに関する情報を得る機会がない事で、サービスを受けていない、或いは受けられないという事を無くしてもらいたい。勿論、知ろうとする姿勢も必要ではあるが。
若葉町	助けが必要な人(困っている人)と助けたい人を繋ぐマッチングアプリの活用及び開発
幸町	そもそも立川市や地域福祉行政の活動内容がわからないので、広めて欲しい また、市民への関わりを求めているのであれば、もっとアピールが必要と思う

幸町	お互い様の気持ちで、人が困っていたら自分ができることを、自分が困った時には人に助けを気軽に求められるようになると良いと考えます。ちょこボラなどの情報をもっと広く発信できると良いのではないかと思います。
幸町	若者の各種活動への積極的な参加
上砂町	年寄はSNSとか市のホームページ等スマホの使い方が私と同じ見る事ができません。なんでもSNSとかホームページとかでなく年寄が納得できる様な事を知らせる様にしてほしいと思います。インターネット等できません。考えて下さい。多くの方もそうだと思います。
一番町	・隣接の市町村と協力をして、できることがあれば、一緒にやれるとよい。 (市民のみ、というのではなく、広い範囲でできるものもあるとよいのではないかな？) (市民向け講座、住んでいる場所によっては、むしろ、隣接の市の方が近く、参加しやすい、ということもある。) ・アニメのイベントなど、外国人向けのアピールもするとよいのではないかな？
西砂町	以前は30年ほど立川駅近辺で暮らしており、現在は西砂町近辺で暮らしていますが、こちらに来てから驚くほど市や地域に関する情報が入ってこないため(昭島に近いのか立川側のアナウンスが遠く聞こえない、選挙カーも通らず、掲示物なども少ない等)、まずはどの手段や地域でも情報が伝わる体制を作っていただきたいなと思います。
錦町	立川は何でもそろっててすごく住みやすいと思うので、もっとそれをアピールしてほしいと思います。SNS等
錦町	立川は地域の色々な世代の人がかかわれる地域のお祭りが盛んだと思うので、そういう場面を活用してお知らせやイベントをする。
高松町	信頼性の高い病院の情報が手に入る仕組みが欲しい。ネットの口コミは信ぴょう性がない事は理解しているが、評価の低い病院が多く行くのをためらってしまう。
緑町	移住者への情報提供の場、環境づくり
幸町	・地域包括支援センターを中心に、市、自治会、社会福祉協議会との意見交換を行う。
富士見町	市民講座の拡大、語学や講演(著名人)

【防犯・防災】11件

富士見町	Birdの教習。 校庭で大人数の避難訓練でなく近所数十件毎の避難訓練をしてほしい。消火栓の場所や初期消火の方法などご近所さんと話し合い、確認しながらやりたい。
柴崎町	救急車が毎日走り回っています。 高齢社会のせいか、あるいは温暖化による身体への影響があるのか、最低限の対応が十分行われるように期待します。 地震、水害等が起きた時の行動規定を日頃から確認しておきたいです。
栄町	防災のときの情報を得るための普段の地域のつながりやネットワークをどのようにして作ればよいか考えたい。
若葉町	武蔵野市に住む友人の話によると、市から各戸に防災に関する道具が入ったリュックを無料配布されたとのこと。見せてもらいましたが、インスタント食料まで入っていてびっくり。立川市もこうした支援をしてもらえると嬉しいです。
砂川町	立川市には、学習館、地域学習共用施設、地域福祉施設等々立派な資源(ハード面)が整っておりますので、災害時における拠点施設(学習館)、地域の拠点施設(共用施設等)との情報共有(ソフト面)、もっと見える化する(館報等により)強化すると良いと思います。
上砂町	度々不審者出没などの注意情報を頂けますが、その後の行方や状況がわからないのが不安です。
一番町	この地域も空き家が増えている。 火災などがあると危険なので、行政が空き家の活用方法などをアドバイスしてあげれると空き家が増える事が無いのかなと思う。
曙町	駅周辺以外の人通りが少ない場所にも防犯カメラを設置して欲しいです。
柏町	見守り支援として路上にカメラなどモニターリング出来るシステム導入を検討されてはいかがでしょうか。 警察と連携すれば防犯対策にもなると考えます。
柏町	1年前に神奈川県から引っ越してきたが、駅前を明るくしてほしい。 警察の巡回(先日、駅前のお祭りに行ったときに、神輿の人たちが喫煙していてまな一が悪い。)
富士見町	市内小学校中学校児童生徒にヘルメットの貸与。(災害用)現在、防災頭巾を個人で持って行っているが、防災頭巾ではみを守らない。ヘルメット貸与を。

【行政全般】31件

緑町	個別に、相談できる窓口を、ネットでも、対面でも、手軽に出来るようにしてほしい。
西砂町	困った時にどうしたらいいか、相談したり解決への道につなぐための、誰にでも分かりやすく入っていきやすい窓口を作り、多くの人に認知してもらう。
錦町	・市長と市民の対話の時間を増やすべきだと思う。 ・どこに何を相談したらいいのか？市役所の窓口をもっとわかりやすくしてほしい。
栄町	・最後、ひとりになっても安心してこの世を終わっていける所であってほしいです。財産、墓、その他個人的な事を相談できて、有料で実行までしてくれる所が市役所の中にあつたらいいなと思っています。 ・高齢者がこれから直面するであろうことの市としての啓蒙活動に感謝しています。
上砂町	第一に、税金は無駄なく、正しく使ってもらいたい。福祉課の窓口を隣家応変で、人数を増やしてもらいたい。混んでいる日は、相談するまでに、とても時間がかかる。
錦町	行政の対応にはいつも時間がかかるような気がしています。 何に対しても困りごとを未然に防ぐことよりも問題解決が重要だと思うので、相談されてからの解決が素早く行われることを願います。
曙町	50代の私にとって、今、一番困っているのは、親の介護です。常に一緒にいて、介護する事ができないため、施設を検討していますが、時間がかかる事、書類を用意するにも教えてもらえない事等等等等…行政に相談をしても、お役所仕事の上、たらい回し状態にあい、なかなか事が進まないのが現状です。行政の事も一定の理解をしているつもりですが、相談して数カ月たっても決まらないのは、どうしたものかと考えます。このような事がないようお願いしたいです。
富士見町	市役所分所所在中者が、役所での可能手続きの内容、例えば、何かと本庁舎で聞いてみてくださいで済まないよう学びを深くする等して分所にさえ行けば、ヤングケアラー、高齢者、その看護家族、補助金他種多様の相談案内的な役割を願います。
羽衣町	ある程度の困りごとについては、時間やお金が解決するので、助成制度や給付金制度があると利用しやすいし、助かる人が多いと思います。 例えば、子育て世代には電動アシスト自転車の補助金が出る自治体もあるようなので、保育園の送り迎え、買い物等の負担が少しでも減るような政策があってもいいと思います。 障害者や高齢者だけでなく、子育て世代にもタクシー利用券等、普段の生活の足となるものがあるとより市内での行動に自由度が出てくると思います。
曙町	高齢者が市役所まで行かなくても各種手続きができる仕組み
高松町	行政窓口のたらいまわし経験あり、悲しかったです。 連絡が遅いことも多く…。
高松町	立川も高齢化が進んでいる一方、駅周辺は若い人向けの商業施設が多い。 昭和記念公園付近に大型の商業施設が出来てファミリー向けの施設が増えたが、まだまだ充実しているとは言い難い。 明石市のように子育て支援を充実させることが時間はかかるが結果的に街を若返らせ、地域福祉の活力にもなると思う。 高齢者や障害者支援も重要な事は理解しているが、それに以上に大事なものは家族という1番小さな組織体を立川市がどれだけ支援出来るかだと思う。
泉町	立川市に限ったことではありませんが、定年後再雇用の公務員は原則、福祉現場職員として出向するべきと考えます。福祉3分野は、増々人手不足になるため、このような制度は必要です。 事務作業はAIを活用し、極力減らし、現場へ人材流動するべきです。
砂川町	くるりんバスの廃止 乗車している人をほとんど見かけない
錦町	酒井市長、当選おめでとうございます。人に優しい街づくりに期待しています。 立川はある意味で都会的な部分もあり、地域のしぐらみがない分つながりも薄くこちらへ越してきて4年ですがまだ地域に馴染めずにいます。 なので子どもの預け先に一番困っていて、公約に掲げていらした、駅に保育プラットフォームを置く件などとても助かります。 早朝から遅くまでやっている保育園が少なく、離れた職場へ出勤している身としては不便さを感じています。 政府のやっているアホみたいなズレた子育て政策、少子化対策でなく、真つ当な政治を期待しています。

羽衣町	指揮者先頭！トップセールス！が大事。いまいち関わる事に戸惑う高齢者福祉に関して、例えば「高齢者のつどい」など、市長と高齢者に接点が出来る機会を活かして市長自らが制度の仕組み、関わる事のメリット等エピソードを含めて楽しく愉快に語る10分間ぐらいの講和は決して退屈なものではなく、市長の信頼を高め、高齢者の意欲とやる気を起こす良い機会になると思います。
羽衣町	・立川駅周辺に無料の駐輪所を作してほしい。有料が多く、ゆっくり買い物ができない。中央図書館を利用する時も、建物内に駐輪場がないので、たくさんの本を持って移動するのは大変。地下や2階の駐輪は大変。 ・立川バス羽衣町経由六小のバスの本数が少なく、増やしてほしい。 ・市役所に手続きに行ったら、高松町の健康会館に行かなければできない手続きもあって、一度で手続きができず、2軒行くことになり、不便でした。市役所で何でも手続きができるようにしてほしい。 ・市役所の手続き(窓口)が平日なので不便です。 ・歩きタバコや禁止されている公園でのタバコやめてほしいです。 ・高齢者と2世帯住宅で生活していますが、同居のような支援補助しか感じられないので、どうかしてほしい。 ・東京都内と外との差を感じる。インフラ整備、子どもの教育など
曙町	子どもが安全に安心して過ごせるように。 出産時の手当金や支援を増やしたり、学費や給食等、所得関係なく安い費用であれば良いと思います。
高松町	若い人が住みやすいように、経済的な支援(出産や学費など)したら、よいと思います。
若葉町	高齢者が病気になり、治療を受け医療費の支払いが非課税の住民が限度額認定証で支払いができるが、わずかの住民税を納入している為に、この認定が受けられないと云う現状があり、特に、この物価高の経済状況の中で、生きるのに苦労している有様。生きる希望を持てる対策を立て、実施して下さい。酒井新市長！！当選お目出度う。 立川市の収支決算を見たところ、繰越金がかかなりありますが、何も生まない「埋蔵金」にして置かないで。何かの対策に使える「予備資金」必要ですか。この事を踏まえて、立川市民の税金を有功に生かす、柔軟な発想と現実を踏まえた政策を勇気を持って、周囲の方達を説得し、活用して下さい。
若葉町	いくらでも良いアイデアを出そうと市(立川)職員が怠慢、やるきのなさにへきえきしています。新しい首長に変わり、期待しております。勉強不足の職員を動かせば、もっと良い立川市が出来るとかくしんしております。
幸町	健康のためにも、もっと体育館の充実。値上げしないで。もっと手軽に参加出来る様にしてほしい。 いろいろな教室があれば、交流、健康、引きこもりも少しはよくなるのでは。物価高で生活が大変なのだから、安く手軽にスポーツを楽しみたい。
富士見町	立川市なのに西立川部分にかけられている予算が少ないことに差別感を感じる。
富士見町	素晴らしい図書館があるので、より使いやすくできるよう、西立川駅など立川市内の返却ポストの設置箇所が増えるとよりよいのではないかと思います。 また、電子図書館で取り扱う本も増えるとよりよいのではないかと思います。
柴崎町	清水旧市長は長年に渡り、bestを尽くした行政に満足しておりました。 酒井新市長の様々なVision(どれも素晴らしい)市の財源に基づいた方法で一つずつ実現して下さいを期待しています。
錦町	独り親かつ低所得世帯に対する教育費支援(例えば、教育施設のみで利用できる地域クーポン券の発行など)。
曙町	ゴミ出しにて、高松町と曙町で道路が同じなのに時間のずれをなくす事
曙町	市役所のケースワーカーがいないことが多く、増えてほしい。切実に対応を。納得がいかない。
緑町	優先順位を決め、スピード感をもって、粛々と実行して下さい。
栄町	若い人を活用、登用する

砂川町	立川に、住んで30年、先日市役所にいったが、昔に比べとても親切だった。 これからも、現在のレベルの応対を継続してほしい。
-----	---

【複合】36件

柏町	・くるりんバスのルートを前のルートにもどしてほしい。柏町4丁目のバスがないので…。前のルートの方が利用客が多かったような気がする。 ・ゴミ袋を10枚一組だけでなく、5枚組の物も作ってほしい。
一番町	・自家用車いがい交通・外出できる条件の整備。くるりんバス。デマンドバスなど。 ・緑地の確保、拡充 ・行政による相談センターなど各地域に。少なくとも中学校区単位に。
若葉町	私の住む町は立川でも一番東に当たり、お年寄りが多い自治会のため、年々自治会の参加が少なくなっており、横のつながりがむずかしくなっております。バス停に行くのも遠く、外出もままならない方が多いので、バスの便をよくしていただきたいです。外出、病院等に行くのにもタクシーを利用せざるを得ない方も多いので。
幸町	・各自治会や自治会に入会していない方のネットワーク作り(お年寄りや子供の)お年寄りや子供たちの集まれる所を作れる様、自治会の協力をうながす。 ・町をゆったりと回るくるりんバスの再開。お年寄りや赤ちゃん連れの方等が多く乗車していました。 ・福祉の方での体験した事です、15年位前車いすの母を一時預かっていた時、我家のお風呂に入れなかったのも、福祉センターのお風呂をお願いした時、立川市民でないと入れないとの事でした。市民が一番だと思いますが、例外も必要ではと…
高松町	<問??>の回答と重複しますが、ここで再度記載しておきます。 1. 右半身麻痺の影響で歩行があやうい。晴の日は良いが、風が強い時、雨の時は外出を控えている。 2. 自転車利用者が歩道を我が物顔で走行する行為がとても危ない。警察や行政の方から、危険な行為として厳罰化してほしい。 3. バスを利用したいが混んでいる時に、障害者に席を譲るということがない。憂慮すべき事象。近隣諸国はハンディキャップ者に寛大な対応できるのに、悲しい現実。学生であれば学校教育の道徳の授業。社会人であれば同和問題の教育と併せて道徳の教育。こういったことを国と地方自治体が一丸となって進めていってほしい。 <その他2>:問?? 問?? は選ぶ項目が存在しない。
栄町	立川は、公園、買い物、スポーツ、アニメ、芸術など恵まれている環境。人が集まる環境。でも胡座をかかずに常にメンテナンスの姿勢でいてほしいです。 箱根予選会をやる場所だったり、色々なプロスポーツチームのホームだったりするけど、子供達がいかにできる場所は限られています。 土日は、他県からも来られる為に地元の人が動きにくいです。 せっかくプロのバスケットチームがあっても、ボールを使えない公園だらけ。 バスケットゴールもない。 住人だけがが増えて校庭がせまくなり、バスケットゴールがなくなる学校。 元々あった良いものをなくさない、整備やメンテナンスをお願いしたいです。 今だけに目を向けず、今までの良いものを大切に、子供たちが平等に明るい未来を見れる立川であってほしいです。 あと、小学校と中学校に配属されている、週1だけのスクールカウンセラーさん、意味ないです。 本当に心のケアをしてほしい人が、1週間に1回しか来ない人に相談しない話さない。 人が足りないのはわかりますが、本当に子供を助きたいなら救いたいなら、1週間に1回では意味がないと思います。
栄町	フードバンク活用 避難訓練 避難場所での自治会に入っている、入っていないか、外人、他区別しない。
幸町	幸町のまわりにはお店もなく、不便な場所です。子どもさん達や高齢者の人達や生活に困っている人達の居場所づくりが必要だと思います。高齢者の人達が見てもわかりやすいマップ作りや今は物価高で生活も苦しいときプレミアム商品券を安く買ってお得に買い物ができたらと思います。
上砂町	・高齢者に仕事をさせる。・高齢者に仕事の場所をあたえる。・高齢者をもっと利用する。 ・子供のふれあう場所をつくる。・子供のあそぶ場所をつくる。

泉町	・路上喫煙する人が多いです。 立川駅の喫煙所を無くしてその他の場所で増えた路上喫煙者は、立川駅に喫煙ボックスが設置されてからはいづらか減った気がしますので、それはとてもありがたいと思います。 しかしながら少し人通りの少ないマンション横の公園や、タイムズのような駐車場で車の窓を開けながら、雨の日に傘を差して隠しながら、あるいは裁判所前の椅子に腰かけながら、煙草を吸っている人をよく見かけます。 タクシーの運転手が路肩に車を停めて路上喫煙しているところも、彼らにとっての穴場の横を通れば毎回目撃します。もちろん路上喫煙するタイプの人に注意してもやめられるとは思いませんが…。逆に、どうしたら喫煙者だけで喫煙を完結させてくれるのか教えてほしいくらいです。 別に吸ってもかまわないんですが、副流煙も全部自分で吸い込んでほしいです。 ・モノレール高松駅のレンタル自転車はかなりサビが浮いてきているようなのですが、需要と合っているのでしょうか。私はあまりレンタルしたいとは思いません。 ・アンケート項目にもありましたが、宗教2世、ヤングケアラーなど、誰にも相談できない悩みを抱えている方こそ福祉に繋げてほしいです。もしかしたら本人たちも、自分が人よりも苦しんでいるとは気づけていないかも知れません。どのように彼らにアプローチするかは、専門の方の意見を聞かないと難しいと思いますが。 ・他市で働いているのですが、長年入院していて光熱費を支払っていないご老人にも、光熱費高騰の支援金が払われていました。 深い意図があるのかは不明ですが、このような本来の意味とかけ離れた支援にならないよう、政策と、それが誰に影響して、本当に実際の効果があったのか、関連性に注意を払っていただきたいです。よろしくお願いいたします。
富士見町	働ける世代、働ける人が安心して経済活動が行える様、子ども、高齢者、障害者等、社会的弱者を見守る地域活動、居場所の確保に力を入れて欲しい。税収を確保するためにも、それは大切な施策となるはず。地域で互いに見守り、互いに自己実現を諦めない、社会的弱者でもやれる事をやって貰い、収入を得て貰う仕組みづくりをしてほしい。
上砂町	・顔の見える人とのつながりの場を広げて、リーダーの確保 ・防災リーダー、生活支援チーム(買物、ゴミ捨てボランティア、布団干し等) ・常に、曜日指定して、5～6位の茶会やお話し会の出来る場所の提供(少人数で家を提供してくれる場) ・人材バンクで地域での助け合いの数を増加し、情報の発信をする。 ・ふるさと立川のいいところ発見PRを
上砂町	大山団地周辺の植栽が歩道の半分を埋めていて、歩行者や車椅子、ベビーカー等が通りにくく、自転車ですれ違う際には殆ど植栽に突っ込むようにしてすれ違っており非常に危険。伸びた植栽が子供や犬の目の高さにあり、非常に困る。手入れできないなら切ってほしい。 団地の若い子達、中学を卒業し、社会の手を離れた年代の子達が居場所がないのか、公園や児童館周辺で集まっていることが多い。 悪いことをしているわけではない。働き口や活動の場がなく持て余しているように見える。支援が必要なのではないか。 IQ70以上、所謂境界域の子達にもどうか支援をしてあげてほしい。自分たちでは困り感にすら気づけない。 民間では負える責任に限界がある。行政が動いてほしい。
柏町	くろりんバスの廃止 乗車している人をほとんど見かけない
富士見町	地域の自治会などあるが、年々会員が減っているよう。住民主体で防災・福祉などの活動は、いろいろな人がいて、たいへん難しくなっていると思う。自治体から人やお金などのサポート必要。
錦町	相談窓口と支援体制、地域コミュニティの活性化
高松町	私は高齢者なので、何かあった時に誰にどこへ相談して良いか分かりません。何でも相談できる窓口が市役所以外に有ると嬉しいです。又、防犯・防災への取り組み強化を進めて頂けるともっと安心して住み良い街になると思います。

栄町	サークル活動をするなかで高齢になり歩行困難等で参加できなくなる方が出てきます。そういう方の外出支援が欲しいと思っています。 子どもの支援ができればいいと思いますが、子どもたちの実態が見えません。また、老人や障害者についても実態が見えません。
幸町	以下まず2点をあげます。 ①いかに時間があるリタイア世代と子供たちのつながりを持てる場をつくるか。そうすれば、働き世代は、働く事にもう少し集中できると考えています。 ②また、外国人で雇用の埋め合わせをしていくのは良いが、マナーは企業で教えて欲しい。 ・高齢少子化をものすごく感じます。それにより、外国人の多さも感じます。また、核家族化によるジェネレーションギャップ(考え方の違いを理解する環境が少なくなっている)がある事も感じています。日々皆やらなければいけない事がたくさんある中で、自分の生活をするだけで精一杯の毎日を送っていると思います。 ・なぜ、キャッチフレーズが必要なのでしょうか？ ・問36に記載があった回答が現在の課題と感じているように思いますが、その課題に対して、一度データで整理して、データ通り多い事から解決していかなければいけないのか、それとも、そのデータに対して、すぐ解決出来る事は何かのかを整理していただけると嬉しいです。そういったデータとアンケートを一緒にしていただけると回答もし易いです。
幸町	地域課題解決は行政ではなく住民や事業者が主体となる方が本質的かつスピード感のあるものになると思う。 持続的かつ効果的な運用の為にはステークホルダー同士の主体的かつ積極的なコミュニケーションが必要。 行政はそれに対し適切な場と、スピード感のある対応、有志無償ボランティアではなく正当な報酬を提供する枠組みを作るだけで良い。
幸町	福祉に関しては、行政・団体が主体となって活動したとして、要となる「若者世代」(個人的価値観では満18歳～30歳)の関心を得られるかということが重要だと思います。 非情な現実ではありますが、対価・報酬なしに福祉活動することは若者世代には不利益、意味がない、なぜ自分が。と思っている方が多い印象を受けます。 もちろん、ボランティア活動ということに抵抗がない、損得で行動されていない方もいるでしょうが、その割合は少ないのかなと。 私は発想力に乏しいので、具体的な案や意見は出せません。 しかし、私個人は行政や団体がそもそも地域福祉について何か取り組んでいる・実施しているかどうか把握していません。(把握しようと思っていない。) 支援が必要な方には従来通り紙媒体、地域交流。活動者はSNSを使用した宣伝・報告など、時代に合ったやり方が今、必要なのではないのでしょうか。
幸町	・高齢者が地域の人々と交流できるために外出しやすい交通手段や交通費の補助をしてほしい。 ・家の中に居続けず、地域に住み続けられる環境づくり。 ・一人暮らしでも安心して住める立川市にしてほしい。
幸町	狭い歩道や見通しの悪い道の整備 ホームページやSNSの情報発信の充実
砂川町	・市議の方などにちょっとした事で話が来て、色々と改善して欲しいことを話をしたい。 ・市役所の方も、自分の仕事以外だと、別の所なので…と言うのではなく、もう一歩先の所まで面倒を見て欲しいです。 ・ちょっとした市の施設に意見箱の設置 ・高齢化になっていくので、10年後、20年後を考えて、生活しやすくして欲しい。
上砂町	・私は68歳ですが、仕事したいと思い、ハローワークへ行きます。 ・高齢者がひきこもることなく、明るく健康的に就労できる立川市にしていきたいです。 ・ヤングケアラーの若い方達に支援して下さることをお願いします。 ・このようなアンケート調査があることに安心します。
一番町	・立川の防災無線が家の中に聞こえない。リアルタイムな必要な情報を ・各種手続きが電子申請へと変化していくのが分かりづらい。
西砂町	・近所の家庭で緊急事態(例:高齢者のみ世帯で体調不良)があった時に気付いて駆け付けられるネットワークや制度があればいい。(気になるけどよく分からない、遠慮してしまう…を解決したい) ・病児保育を気軽に利用できるように増やしてほしい。西砂町には何もない。

錦町	バスの路線、ダイヤが不便、学童や保育園等労働者の子どもを安心安全に預けられる仕組みが不足している。
栄町	ららぽーと内、または近くにお弁当屋さんがほしい。くるりんバスを廃止してモノレール代金を安くしてほしい。立飛ドームや立川ステージガーデンのイベント情報をチラシやライン、snsでお知らせしてほしい。ラインでサービスやイベント、福祉の情報発信をしてもらえるとありがたい。レインボープールを建て替えてまたやってほしい。新しくできた施設は地域の人に解放する機会を作るべき。グリーンスプリングスの道に自転車専用レーンを作してほしい。立川で使える商品券を使してほしい。スパが市内にほしい。激安スーパーがほしい。
一番町	・玉川上水の遊歩道にもっとベンチを設置して欲しい。(ウォーキングや散歩の途中でひと休み出来るように) ・老若男女誰でもフラッと立ち寄れるような場所づくり
柴崎町	誰でも気軽に参加できるいいの広場のようなものを作り、不要になったもの、余っているものを持ち寄り資源の有効活用を図る、そういう場を作りたいです。人と人とのつながりを作ることは地域福祉を図る上で必須条件です。また、少人数世帯が多くなり、ものが消費しきれない場面が多々あります。そういったときにそれらを持ち寄りみんなで分け合い、無駄を少なくしていくことも大事ではないでしょうか。大量に作って消費しきれないものを大量に廃棄し、それで生産性を高め、経済が豊かになる、そういう時代はもう終わりました。いつまでもバブルの夢をみているはいけないと思います。 また、心のケアのためにはものや金だけではだめで、豊かな自然環境を守ることも大事です。立川はまだ自然が残されているので、それを守っていきましょう。園芸をやりたいけど庭がない、庭が狭いという人は一杯いるはずで、そのような人を募り草花を植えてもらうなど行政がお金をかけないでやれることはいくらでもあります。立川市は実のなる木は一切植えない、生えてきたものは全て伐採するという方針をとっているようで、公園には実のなる木は一本もなく、市有地に実のなる木が生えてきた場合にはそれのみを理由に有無を言わず伐採しています。しかしこのような施策は愚の骨頂といわねばなりません。実のなる木をたくさん植え、収穫の喜び、自然に対する感謝、そういう気持ちを子供のころから育んでいくことが豊かな心を持った優秀な人材を育てるためには必須です。どうやって分けるのか、公平性が保てない、などと理由が述べられていますが、それは責任放棄です。そういうことも含めて考えていくことが豊かな心を育て、優秀な人材作りの糧になります。 商業施設を作り、高層ビルやマンションを建て、道路を拡幅するのが発展だと考えてられているようですが、それは一面に過ぎません。豊かさとはそれだけではかれるものではありません。駅周辺はそれでよいでしょうが、一步離れた住宅街にはそんなものはいりません。豊かな自然、車の来ない安心して歩ける道路、広い空、心の健康を保つにはこれらのものは絶対に必要です。心が健康になれば体も健康になり病院にも通わなくてよくなります。そうすれば医療費も削減できるでしょう。人間なんて自然の中ではものすごくちっぽけな存在であり、自然のごくごく一部を占めているに過ぎません。そのことを自覚しもっと自然に謙虚であるべきです。そうすれば自然災害にも適切に対処できると思います。 地域福祉を図る上では人と人とのつながりが一番大事です。自然があれば人は集まってきます。人が集まってくればそこにつながりが生まれます。自然を守るためにはたくさんの人の手が必要です。そこでまた人と人とのつながりが生まれます。木があれば気温も下がり温暖化対策にもなります。いいことづくめではないでしょうか。 その手始めとして街路樹や植え込みをなんとかしてください。立川の街路樹や植え込みはあまりにひどすぎます。あれでは立川市民の恥です。市長さんも変わったことですし、酒井市長には是非立川市内を歩いて回っていただき、悲惨な街路樹の状況をしっかりと見ていただきたいです。車からではだめです。歩いて見てください。この一角に好きな花を植えてもいいですよ、と公募したら希望者はわんさか集まると思います。
栄町	・防災無線が聞こえないので、屋内に防災スピーカーを設置して欲しい。 ・LGBTQ法は、廃案してほしい。本来の女性達が非常にこまる。
上砂町	武蔵砂川駅までの道は未だ狭く、高齢者が苦勞して歩行しているのを見かける。やっと駅前のみ一部が広がったが、まだ環境整備が足りない。高齢者が声を出さずに「手を貸してください」「助けてもらえませんか」といったヘルプカードをずっと出すと通りすがりの人がすぐ手を貸せるといった温かい工夫などいろいろ試してみたらどうでしょう？
西砂町	・バリアフリーをもっと進めてほしいため、道路・歩道の整備を進めてほしい。自転車が通れる専用道路を作してほしい。 ・地域のイベント、祭りを通して福祉サービスのアピールを進めてほしい。

富士見町	・団地に住んでいますが、生活マナーの悪い人が多い。 ・数年前、母の介護施設選定で社会福祉協議会が役に立たなかった。
一番町	・生活保護の人の正しい受給 ・松中団地の住人のそうじ(1カ月に一度位は、きれいにしてほしい)

【その他】37件

砂川町	23区から転居して4年目。自然に恵まれ、住みやすい街と思っていますが、最近、若い人達の住みやすい街をめざしてるのか、高齢者には、段々と不便になってる気がします。買物、食事処が若者向きで、結局行く場所は、デパートに…欲しい、食べたい物がある時は、吉祥寺以東に出かけることになります。
富士見町	体育館利用の条件が立川市は厳しい。少子化や過疎化が進むエリアの体育館を子どもが利用しているが、昭島市境に位置するため昭島市民も増えている。しかし条件が厳しいため来年度から利用できるか…子どもの居場所や活動場をこれ以上なくさないでほしい。部員が30人前後いるので、その子どもたちが行き場をなくし困ります。市外の部員も認めてください。直ちに直すべき点です。
緑町	特に都心通勤で長時間労働を余儀なくされている場合は、地域の活動等に参加する余裕が全くなく、自身の健康を維持することも困難な状況。立川は都心から通勤時間がかかり、追加料金を払って特急を使わない限り電車では往復とも座れない。このため立川の自宅は、平日は『帰って寝るだけの場所』。土日も体力回復させるだけで精一杯。地域を良くする活動に参加するには、フルタイム勤務の身(その分、住民税はしっかり納めてますが)としてはまず自分が健康で時間に余裕があることが前提と考えますが、長時間労働を無くさない限り絶対に無理です。
一番町	不審者情報としてここ数年頻繁に不審者の情報が入ってきますが警察は対応してくれているのでしょうか？また市は防犯的にも何か対応してくれているのでしょうか？街の施設は充実しているのに、このような安全性・治安問題から立川市から住民が外に引越していくのです。通園・通学生が安心して学校に通ったり、近隣の住民が安全に暮らせるような地域づくり、治安の向上を切に願います。身近なところで問題が多くあります。未来に対してのきれいごとよりも、現状の問題に向き合って解決して、住みやすい立川市にしてください。どうかよろしくお願いします。
一番町	みんなが優しく、本当の意味で多様性を受け入れてあげれる教育の場であってほしいと願います。
幸町	私の妻はベトナム人ですがまだ日本語を完璧にしゃべることができません。そういう人たちへの相談窓口やコミュニティでのコミュニケーション支援は住民の多国籍化が進む中で大事なサポートだと思います。
砂川町	近隣住民同士の揉め事を仲裁に入る団体が必要と考える。住民が増えれば問題も多くなり頻発するはずで、小さいストレスを我慢し続け危険行為の種になる。民事は当事者任せであるのが当然とされる現状である。しかし警察や役所は相談先としてはそぐわないと思う。指導や警告の権力がある程度備えた相談団体があるとよいと思う。
羽衣町	声をあげたくても、言葉をはっする事の出来ない人がいる事を知って欲しい。頭の悪い人は、すぐ、次から次へと勝手な事をし、自分の利ばかり考えて行動し、勝った勝ったとおたけびをあげている人、嫌になる。私はしゃべるのも嫌。
曙町	ボランティアをもっと大切にすべき。日本はボランティアを大切にせず、元気な高齢者にばかり任せていると思う。若い人達も気軽に参加できるように就労しているのと同等の扱い(保育所の補助等)にすべき。ボランティアで(無償で)何か役に立ちたいと思っても子供がいると難しかったりする。社会にあらゆる世代が無報酬で参加する場をきちんと評価すべき。タダ働きを利用するだけなのは良くない。
西砂町	ファミリーサポーターのような有料ボランティアの仕組みで、高齢者等の外出が難しい人への支援があるとよいと思います 共働きで子供がいる世帯向けに、夕食を提供してくれる子供食堂があるとよいと思います。値段がそれほど安くなくてもきっと利用すると思います。子供食堂は貧困層支援のイメージが強いですが、対価を払っても疲れた仕事あがりに子供に素早く栄養バランスのよい食事を食べさせてあげられるなら、利用する人は多いはず。保育園のそばにあるのがベストです。従業員はボランティアではなくきちんと給料を払って運営するのが安定したサービスの提供にはよいと思います。また、従業員の年齢制限はせずに、高齢者にこそこういう場で活躍していただきたいと思っています

錦町	高齢者向けの取り組みが多い印象だったため、単身世帯の私には関係ないとか、興味が無いなとか思えなかった。 これからの未来を考えた場合、必要なのは子供であり、そのためにはまず結婚できるような環境づくりや制度や取り組みが必要だと思う。 実際人口が多いのは高齢者なので、高齢者向けの取り組みが多いのはわかるし、全年齢向けに取り組むのは至難の業だとは思いますが、正直今の取り組みには何の興味も湧かない。
栄町	①塵芥車について なぜ、ゴミ収集時間は8:00なのでしょう？変更はできないのですか？通学通勤、介護施設の車両など、8:00の時間帯は道路上は混雑し、徒歩、自転車移動は危険だらけです。塵芥車の乱暴な運転も問題だと考えています。契約している会社は変えられないのですか？ ②低所得単身者 子供・老人には手厚いサポートですが、低所得単身者(中高年シングル女性)にも目を向けてほしい。
栄町	自分自身が健康な後期高齢者の為、何が必要か気付かないことも多いです。又、子供達も近くにいない為、乳幼児～小・中・高の子供さんなどの置かれている状況もTV・新聞で見聞する以外に近くで知ることもない現状です。
栄町	くるりんバスの廃止 乗車している人をほとんど見かけない
栄町	国境・人種・世代を超えて(立川が世界のモデル)になるような街作り 幅広く、世界が平和になる活動をしていく。 立川が核になる。
栄町	スポーツ施設等のリニューアル、学校校庭の人工芝化
若葉町	就労移行支援事業所の利用できる期間を増やしてほしい。本当に必要な時に支援が受けられない。申請時に利用者の状態を把握するために医師の診断書などを提出し、利用出来るか判断するとよい。利用回数を決める事で進路を狭めてしまう。 上限を超えた場合、利用出来ないのではなく、その後のサポートやアドバイスがあると良い。
柏町	何事もチャレンジしていただきたい。公園(昭和記念公園)は、立川市民は無料にし健康づくりがよいと思います。
西砂町	立川駅だけを栄えさせるのではなく、立川市全体を活性化させる。
柴崎町	外国人が多く住み、我が者顔で住みつかれるのは困る。ルールを守らない外国人に住んでもらいたくない。 日本人が住みづらい環境は絶対に作ってはいけないと思います。
柴崎町	先ずは家庭の幸せから。身近な物とのつながりを良くし心を育てていきたい。
錦町	長男、長女の近くで晩年を過ごしたいと思い、転居して来て、立川でお世話になっている年寄り夫婦でございますが、全てが整ったなんと住み良い街であるかと感謝しながら、日々を元気に過ごしております。少しでも永く健康でいたいと思い、市民農園をお借りさせて頂き、生きがいを得ております。
錦町	基本的にはソーシャルディスタンス。例えば、シングルマザーでも、障がいのある人でも、自立してやっている人もいますので、本人次第だと思います。自身の出来る範囲で参画したいと思います。私自身地域の道路の清掃ボランティアを個人でやっています。当初、市役所とゴミ収集の間で、たらい回しになりかけましたが、市役所の道路課を訪ね、解決しました。 当時、西国立駅を利用していましたが、駅に向かう歩道の頭上に立川共済病院(旧)の桜の老木が落下してしまっていたので、清掃していました。たかが清掃ですが、植込みには、いろいろなゴミ、下屑物が投げ込まれており、都度道路課の方にはお世話になりました。ゴミ収集の不明点について、回答をもらっていました。また、ゴミ収集者が回収しなかった場合は、市役所から回収しに来ていただいていた。盗品と思われる財布・携帯電話の類は、交番に届け、モデルガンは通報しました。私以外にも出来る範囲で手伝いたいと思っている人はいると思います。小さな善意だと思いますが、募集をされると制約を受け難いです。
錦町	レンタルトクトクがあつたら、年をとっても楽しく立川で生活できそう
錦町	高齢者にトクトクを安く貸し出すまたは乗り合いトクトクでお買い物へ行ける等
曙町	・障害を持った子供や高齢者が安心して散髪ができるサービスを実施する。普通の床屋、美容院だと静かに座っていられず、やむをえず家族が切っているような人たちを一か所に集めて、理容師に安く切ってもらうシステムをつくる。

高松町	こういった直接的な意見収集は大変良い試みだと思います。 福祉以外のテーマでもサンプル調査を多くやってほしい。
栄町	例えば「困ってる人がいたら手伝うか」という質問ですが、相手が見知らぬ近所でも無い人の場合とか、条件にもよるし、質問が適切でないとおもわれるものは答えようがありませんでした。
錦町	地域は悪くない。
曙町	あたらしいまちになったらいいね
曙町	単身者も増えていて、身寄りがないわけではないけれど、遠いので、自分の身に起きたことは自分で有料でお願いしておきたいので、病気になったときの支払い、死亡した時の火葬、各種手続きをお任せできる団体があると良い。
幸町	地域福祉に関するアンケートですが、3000人の一人に求められていると構えたのですが、私には、出来ないなあと悩んでいます。 設問に対して回答いくつか定められるのも答えにくいですね。意見を書いてと言われた方がいいですね。 折角、市民の声を聞いて下さるというのにお応えできずにすみません。 両手の手首から指先までの動きに時に痛みが出ます。
上砂町	※アンケートに直接関係ないのですが、私は10年前から目の病気でほとんど見えなくなりました。マークが小さくぬりつぶすのが大変、主人に塗ってもらい、文字も読んでもらいました。自分でも情けないのですが、せめて、チェックだと書き込み安いのですが…余計なことを書いて、すみません。
上砂町	今まで、余り、考えてない課題で解答に困った場もあり、これを機にもう少し勉強していこうと思います。
上砂町	自分の住んでいる地区の自治体のレベルでは地域の活動が見えやすいが立川市全体の活動というのはほぼ何も見えないと思います。 何かやっているのですか？ このアンケートの趣旨もよく分かりません。課題を未だ把握出来ていないのですか？このレベルのアンケートで実効性の高い計画の策定ができると思うのですか？ 計画案を策定しそれを公表し実行していく姿を市民にどう見せるのか、ぜひ見せてほしいです。
一番町	私は、転入して1年半と短く、以前住んでいた所との行き来が多いので、まだまだ、これからの事と思っています。
無回答	・あなたの地域をよりよくとは身勝手すぎませんか ・あなたの町の方が良いと思います ・自治会組織の見直しからスタートすべきだと思います(昭和から脱皮) ・アンケート発案者の顔が見えないので考えが出ない

(39) 今後、立川市はどんなまちになってほしいですか。あなたが考えるキャッチフレーズを教えてください。

※原則、原文のまま掲載していますが、個人や団体を特定できる内容等には最低限の編集を行っています。

※事実関係が明らかでない事項もそのまま掲載しています。ご注意ください。

※回答者の居住地区別に掲載しています。

【富士見町】

役所がとても手厚い市、税もしっかりと集めるけど困りごとにも手厚い

公平でクリアな施策をしてほしい。

西東京の首都

子どもも、おじいちゃんもおばあちゃんも、3世代で住みたくなる街！

安心安全

子供たちが過ごしやすい町

立川市に住む者が、立川市に住んでいてよかった。そのように子どもから大人まで思える社会、そのためにも前項にあることを行なっていただきたい。

全ての人に平等に愛のある街。でよろしくお願いします。

思いやりのあるスーパーヒーローのいるまち立川！！

クリーンでクレバーな市

市民皆が安心して暮らしを楽しめる街に。

mao リンクから

立川市出身

フィギュアスケート

オリンピック 金メダリストを輩出しよう

日本人が暮らしやすい市

あたたかい街

一生住み続けたい町 立川市

子供の教育に熱心な街づくり

老いも若きも心豊かに楽しく生きる街 立川！！

新市長の誕生でこれからの市政に期待しております。酒井市長 頑張れ！！オー(古い?)

安心して住める町づくりを推進する

長く住みたいと思える街、立川

安心安全で暮らしやすい立川

みんなで幸せになれる街。

みんながそれぞれに輝ける街。

静かで、他人の影響を受けないで住める街になってほしい。

親切なまち

”緑、清潔、やさしいっぱい、憧れの立川”になって欲しい

パーソナルな空間と公共空間の自由な行き来。

ちょうどいい。ちょつといい。

小学生へ GPS の貸与。登下校の安全面確保。

ワッショイ、立川
年金受給者の家賃が負担が大きい。
安心安全な町づくり、住み易い環境づくり
高齢者が住みよいまち
いいよね、立川～って友達に言われるまち
穏やか。
安心安全平等な社会に
老人にも若者にもみんなで一緒にイベントができる町
安全で安心して住める町
住みたい町、立川！
どの世代も住みやすい地域
弱者に優しい街
差別の無い街
弱者に優しい街
【柴崎町】
住みよい町 立川
ホッとできる場所・時間がある子育ての街
みんな(高齢者、障害者、大人、子ども)にやさしい立川市
高齢化が進み、福祉のケアが必要だと思いますが、これからの日本を生きる子供たちに焦点を当ててほしいです。
酒井市長と親交のある元明石市長の泉氏が明石市において改革されてきたように、子育てしやすい街づくりをすることが住民の満足度、活性化に繋がり、立川市に移住する人が増え、市の活性化にも繋がります。
立川市には昭和記念公園、緑道、地域の公園も沢山あり、子供が生き生きと遊べる環境があります。
私たち家族は昭和記念公園が好きで、ここ立川市を選び移住してきました。
実際に住んでみて立川市がより好きになりました。
ぜひ子育てしやすい街のイメージを東京立川市から発信して下さい。
酒井市長、市職員の皆さま、陰ながら応援しております。
酒井大史市長のお考えに期待しております。
みんなにやさしい立川市
自然に感謝、立川
やさしく穏やかな街
赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが笑顔で暮らす街
住環境と商業のバランスの取れた発展。
病院の充実した街

立川はどんな街、ゴミが捨ててあるこんな街 6年ほどになりますが、中央線高架下と立川通り歩道、立川駅側北側を草取り・ゴミ拾い、高架下は時々ゴミ、ホコリを掃いたり早朝の生活の一部になりました。ゴミの捨て方でその人のクセ、人間性が分かりそうで今は苦にならず面白いです。仕事の行き帰り高架下ゴミを拾っています。リハビリになります。年配者が走ったり、自電車で運動していますが、身の回りの片づけを。
つながれる街。立川市。 1人の人間には、たくさんの顔があります。母、子ども、パート従業員、LGBT、多文化家庭 etc.それぞれの特性を活かして、ゆるくつながれる輪が何重にもあればあるほど、こぼれ落ちる人がいない、安心できる街になると思います。
みんなが助け合えるまちに！
市民が安全に暮らせるまち
自然豊かな都会のまち、立川が一番！ 追伸 「立川くらいが一番いい」というキャッチフレーズ本当にいやでした。市長さんが変わりあのキャッチフレーズをやめてくれて本当に嬉しいです。 立川に住んでいることに誇りを持っています。
訪れるたびに発見のある街 立川
高齢者が働き続けられるまち
福祉に強い街、立川！！
『た』すけ合い『わかち』合う街
街全体で子供や年配の方を見守り、見守る側への支援も充実した街 ↓ みんなでみんなを包む街
バスの充実、西武バスの立川駅北口⇄立川駅南口のバスの本数の激減はひどい。以前は15分に1本だった。現在は土日は運休、平日も数本しか運行されていない。立川バスでの運行は望めないのでしょうか。住民は困っています。運行本数が少なすぎて利用しにくくなっています。西武バスでの運行が無理ならば、立川バスでの運行はできないのでしょうか。ダイヤは死に体です。高齢者は困っています。
あなたにも、わたしにも、やさしい 立川市
子育てがしやすく、多様性受け入れる立川市
立川駅南口の方も北口のように何かもっと…メインになるものがあると… ・パチンコが駅前にあるだけでイメージが悪い。(朝から行列) ・南口の柴崎体育館の方は桜もきれい ・柴崎体育館をもっときれいで大きくする。
ライフステージとともにあるまち
市民に優しい立川市
ゆったり立川
どの世代でも、住みやすい街立川。
安全で安心して住める街
どの世代も安心安全住みやすい街づくり
聖地の街、たちかわ
子供が多く住む町、若い世代が住みやすい環境の町
安心できる老後の提供

高齢者も子育て世代も生き生きと生活出来る町、立川市。
便利と安心が共生するまち
みんなに優しいまち
【錦町】
北口と南口がわかれています。もっと近づける方法を考えてください。
子供に対してもっと優しい街になってほしいです。例えば近所の公園に行っても遊具が壊れていたり、タバコの吸い殻や喫煙などがあり遊び場であることを疑問に感じます。また遊んでいる最中に保険の勧誘などをされ、安心してゆっくり遊ぶことができません。
子育て世帯が住みやすい街になってほしいです。ニュースに取り上げられるくらい！
バリアフリーのまち 立川
比較的住みやすいまちだと思っているので…
これからも住みたいまち立川
みんなで自立する街、立川
多摩地域の中心でありたい！！
東京で一番住みやすい町 立川
多摩地域の中心都市として、自然と都会が共存した衣食住がコンパクトに整うまち。 様々なルーツや状況の人たちが住みやすいまち。
川と緑の多摩基幹都市であって欲しいです。
元気なまち 立ち上がれ 立川
皆で良くする立川市
安心して笑顔で過ごせる街
おしゃれじゃないけど便利な町
治安が良く、子育て支援が行き届き、子供が生活しやすいと感じるまち
誰もが懂れる街
安心安全よい街 TACHIKAWA
西国立駅が西側からも出入りできるようになってほしいです。
住みやすさ、
市民の声、聞きます。やるぞ立川！
人も動物の植物も安心して共存できるまち
おしゃれな街・人に優しい街
明るい町 立川
実行力ある街 立川!!
1番は南口の健全化、呼び込みの排除です。街の発展に夜の店は必要ですが、呼び込みは不要です。通りに何十人も呼び込みが立っていても、条例を作っても結果的に改善がみられないのは実行力不足といえます。これを実行するだけでも立川の行政の質は格段に上がると思います。
キッズも健やか、シニアで楽しく！！
今の街の強みを活かしたいろんな人が行き交い、自由な雰囲気のある街づくり。活気のある街づくり。
何でも相談できる。 安心して住める。
安心して暮らせる街

障害者も暮らしやすい街づくり
誰もが立川に住み続けたいと言えるような町に！
日本人が安心して暮らせる街
多摩の中心
優しいおしゃれな街たちかわ
みんなの町 立川
子供も老人も住みよい町に
住みやすい街 No.1
子供が過ごしやすい安全な街になってほしい
遊びに来る街でなくて暮らしやすい街
人口 18 万人の割には文化度（音楽、絵画）が低い。 昔、基地の町、今、文化発信基地の町。
一人ひとりが輝く街 緑と笑顔があふれる街
安心で、ゆっくり過ごせるまち
安心安全！子育てにやさしい市。子育てには、やはりお金がかかるので・・・。”笑顔があふれる市 立川”
【羽衣町】
未来を育てるまち立川
大人も子供もどんな人たちとも思いやりを持って助け合うことができる活気のある街
全世代、多種多様な人が暮らしやすい、個性を尊重し、孤立のないまち
全世代が利用しやすい公園が充実し、安心して歩ける緑の町
人の物をとらない。そんな事をさせないで。市民の声を、そして、今までの流れを知り、住民と良く話を して欲しいです。 良く話し合いをし、住民の声を聞く、そして、笑顔のある地域を作って欲しい。私は、一番の当事者なの に、話し合いは声かけひとつもせず、勝手にへいをこわし、道を作った人達の事を知っている。血のにじ むような生き方をし、それでも、永遠にとおざけられて生きている市民のこと、市の職員は、職だけの仕 事、次に渡しても、心にとどめて欲しい。市民を切りすてないで下さい。立川市がみなが心やさしい、光 がさしこむようになって欲しいです。
クルリンバスの無料化
車や自転車を持っていなくても移動に困らない町。 単身高齢者でも借りられる賃貸住宅がある、定年退職後の高齢者でも活躍できる働く場がある、人生の 第二幕が楽しめる町。
性別・年齢・国籍を問わず、全ての市民がちょっとで良いので、幸せを感じられる立川市
未来に希望を持てるまち
緑がやさしい町
安心して歩ける街、立川
子や孫がふるさと思える地域づくり
立川市民一人ひとりが安心して生活でき輝ける町づくり
平和なまち
安心して暮らせる町

古くからの良いものを大切にして新しいことに取り組む姿勢
いつでも誰でも、声をかけあえる街
便利で綺麗な街
安全、安心、楽しい街立川
【曙町】
土地代を安くして税金分を下げしてほしい。
教育の街 立川
今も、これからもここで、立川
福祉の充実、立川の介護保険は知っている市よりも高いように思います。
不法就労・不法滞在の外国人がいない都市になってほしい。
福祉は人のためならず みんながみんなを助け得をする町
なんで立川に住まないの？
便利と自然が共生する居心地の良い街
商業地で便利なので特には求めない。 むしろ栄えて欲しいので「おいでおいで立川」とか www
にぎやかだけど、安全・安心・マナーのある街
皆が健康に幸せに暮らせる街。 特に子供、老人、障害者といった社会的に弱者になりやすい人たちが伸び伸び過ごせる街になって欲しい。
バランスの良い街
立川だから、一番いい
安全安心な街
住みよい街 立川
困った時の立川市
街も緑も豊かな立川
みんなが過ごしやすい素敵な街に！！
長年の自民党の抑圧から脱して市民主体の自由と平等を目指す街であって欲しいです。
暮らしやすい市であってほしい。
いきいき暮らせる立川市
【高松町】
結婚していても、していなくても障がいがあっても、なくてもすべての立川市民は立川という家族の一員 家族で支え合える街 立川
日本一 活気のある町
東京で1番の文化都市
「無傾斜なまち」「人のすむことが出来るまち」
たすけあい たちかわ たよりになる ちかくのわ(輪)

みんなで学ぼう? みんなで創ろう?? みんなで楽しもう??? あなたの街の直ぐそこで??
個人情報漏洩を防ぐ、守秘義務を守る街を望みます。
老若男女問わず住みやすい街
・障害を持つ身として、障碍者に思いやりのある優しいまちになって欲しい。。という希望はもちたい。 ・現時点でキャッチフレーズは特に思いつかない。 ・本アンケートがインタネ回答できてよかった。筆記アンケートであればスルーしていたと思います。 ・最後に、本アンケートが今後の市政に生かされていきますよう。。切に。
緑と文化と笑顔の街
スポーツのまち
あなたに寄り添い、共に生きるまち立川
【緑町】
◆ より優しく、より美しく、より楽しく◆
より美しく、より楽しく、助け合って！
安心・安全で自然と笑顔になれるまちになって欲しいです。
人も動物も車も、全てが思いやる心を持つ町。
住みやすさにこだわる
住民みんながお互いの価値観を尊重できる市
色々な意味でクリーンな街になって欲しいです。
緑と都市の融合
緑と都会の融合といえば、立川！
活力のある町に。 立川で立ち上がり、立川で活力ある、立川を我が町に。
緑・自然はそのままに 病院・買い物・レジャーにも便利な街
年齢や性別、個人の環境問わず、皆が安心して暮らせるように
日本防災の要立川
【泉町】
全世代が活躍できる社会
立川で人生満喫
子育て世帯が、立川市でもっとハッピーに。 北区のパクリです。北区は子育て支援が手厚いことで有名ですが、区の子育て支援ホームページひとつ取っても、見やすさが立川市のホームページと比べて段違いです。また、行政として子育てを応援するという本気度が、きたハピというサイトの名称からも伝わってきます。 立川市の子育て支援は他の行政区と比べると非常に弱いという印象です。 子育て支援を手厚くして流入する人を増やし、買い物客に素通りされる市から脱却して頂きたいです。 税収を増やすなら、法人税より人口増による住民税の増加分で増やして頂きたいです。
弱者を取り残さない街

ガンバリすぎるな立川
個性のある独自路線の町、未来都市のような町、道幅が広い町のイメージがあります。道幅の広さは本当に嬉しいです。三鷹では歩道のあまりの狭さに毎日辟易していますので。グリーンスプリングスはたびたび素敵なイベントが行われていて、雰囲気も良く、訪れるたびに幸せな気分になります。人が多くなれば治安も悪くなるでしょうから、今の良さを維持したまま、グリーンスプリングス周辺のような雰囲気が色々なところで感じられるようになったら嬉しいです。
カッコつけないで 本当の優しさで 誰にでも 接して欲しい
快適・憩いの街
いきいき さわやか たちかわし
いい町 立川
【栄町】
安心の生育と老後
安心、安全な町
23区に負けないゾ！！どっこい立川 車道・歩道・自転車ゾーンの整備、交通ルールの周知徹底や給食無料、医療費無料、高校無料など他の自治体で施行されているものの実現、市民の声の届きやすい市政を期待しています！
子どもにやさしいまち
若い世代が未来に希望をもてる街になってほしい。
病気の人への支援が多い市になってほしい。
「立川ぐらいいがちょうどいい」は、気に入っています。
支えあい 寄りそえる そんな街で有って欲しい。
Town River that makes the world peaceful (世界を平和にする街・立川)TACHIKAWA
即答出来ません。
安心して世代継承できる街
花と緑、元気になる街
歩けば あいさつがかえってくる地域
子育てだけでなく高齢者にやさしい町
高齢者が働く町
誰でも安心して外出できる街づくりをお願いします。
あたたかい人と町、立川市
都会過ぎず、田舎過ぎず 程よい街、一通り必要なお店が揃ってます。
助けあい あいさつ 声かけが 気軽にできる 昭和な街
緑豊かで犯罪のない安心、安全な街
公園と緑をもっと増やしてほしい。「緑多い立川」
自然と人が調和した安心できる場所
Tachikawa be ambitious!!
スポーツ・買い物しやすい街
老若男女 生きがいのある街づくり

おひとり様に優しい街
仕事を頑張っている人に優しい街
自分を大切にできる街
「子供達が明るい未来をみれる立川。」
世代ごとに優しい街、立川。
いのち(生命)輝く町、立川を共に作ろう
安心安全な街づくり、小学生等の見守りの充実
子育て世代や介護が必要な老人が集まってくるまちになれば自然といいまちに見えんと思います。
安心して暮らせる町
樹林のある町
平等
人と人との支え合い
住み良い町立川市
シンガポールみたいなゴミのない立川かな？
子どもも老人も安心して暮らせる街
安心できる、心が落ちつけるまち
100 年暮らせるまち
みんな平等 立川
幸せの町、立川
自然豊かで人にやさしい街
全ての人にやさしい立川市
素早い対処の立川市
認め合い支え合い守り合い安心して住み続けられる防災都市
誰もが住み良い笑顔があふれる町
【若葉町】
楽しく生きる希望を持てる街に全力を注ぐ！！
奉仕と理想の街 立川市
住み良い街 立川市
立川市なら絶対子どもを育てられるまち
住んでいる人達の笑顔あふれるまち たちかわ！
十分考えてくださっています。とてもいい市だと思い感謝です。
福祉に手厚く誰もが安心して住める街
子どもたちが安全に育っていける、また、高齢者の方々が不自由なく暮らせる環境づくりをするべきだと思います。自分もボランティアで参加したいです。
本当の意味でみんなが過ごしやすい街立川を作って欲しい
エンタメ満載の副副都心
みんなが平等に住みやすい町～小さな子からお年寄りまで～
立川ぐらいが丁度いいというキャッチフレーズがぴったりだと思います。
自然豊かで住んでいて気持ちがよくなる町
高齢者の見守りもお忘れなく！
暮らしやすい 明るく元気な街

高齢者に優しく住み易い所
高齢者が安心して住める町づくりを希望します。
誰にとってもやさしい街
笑顔になれる町になってほしい
子どもも大人も思い切り遊べる施設(スポーツ)
だれもが明日を描ける町に
安心して住める街
未来がある町、立川。
安心 安全 立川市
皆は一人のために、一人は皆のために！
どんな人も安心して暮らせる町。
相談できる、コミュニケーションできる、頼りになる町
人にやさしいバリアフリーな街・立川？
【幸町】
一人一人の不安が減り笑顔の花が咲き誇る市
若者の活気あふれる街、立川 ？
少し歩くと、小平、国分寺、東大和市というエリア。となりの市との連携をとり、各市の良いところもとり入れる。
みんなにやさしいたちかわし
さて、立川市の欠点を探しに行こうか(改善しようとするもの悪いところが見つからず、探しに行かなければいけないということ。)
緑豊かできれいな戦争前のウクライナの町 立川
心がおだやかに生ける街
(小さな美術館) 子供たちの楽しい、かわいい絵画等がまちのあちこちにあると楽しい。
育む町。立川市。
緑の多い清潔な町
誰もが安心して住める街。I love Tachikawa.
常識は人によってちがうと思いますが、せめて、規則だけは守れる人が多い町になる事を念じています。
効率や便利さだけでなく、建物や道を作る時に自治体や住民にも広く意見を聞いてほしいと思います。 住みたい町立川
やってみたいができるまち。みんなの笑顔が近い街。
ひとりの時間、誰かとの時間。どちらの時間でも思いやりある生活豊かな街。
老若男女、ペットも住みよい、自然豊かな街たちかわ
申し訳ございません。考えつきませんでした。
人と緑と街があたたかい立川。
子どもと老人にやさしい立川
気配り・危険予知・清潔感(キャッチフレーズになってませんが)
健康な街づくり
マラソン(駅伝)の町

みんなが支え合う まちになってほしいです
安心安全 だれもが住みやすい立川市
住みやすい街 No.1 目指して
住みた〜い立川
明日に躍動立川
全ての市民が安心安全で住みやすい立川市
笑顔がふえる立川市
多摩地域No.1のまちづくり(宣伝が少ない！！)
笑顔に溢れるまちづくり
「立川くらいがちょうどいい」本当にその通りだと気に入っています。
安心、安全、活気ある立川
安心ワクワク便利な立川
住んでてよかった、と思えるまちになってほしい
緑の多い、農作物も取れ、買い物も便利な町
大きな公園がありますので、市民は無料で入園できたら健康づくりに良いのではないのでしょうか？
大きな公園のある立川
一人一人がゆとりのある心を持って、ホッとできる場所を造りたい。
オシャレな市になって欲しい。
”人にやさしい街、立川”
明るく差別のない街づくり
健康で楽しい立川市
清潔感のある緑豊かな温かいまち。
防犯もしっかりしており、福祉が充実していて高齢者も若者も住みやすいまち。
多様性を受け止められるインフラ、文化を創出し、市民が安心して幸せに暮らせるまちになってほしい。
マナーUP！
子どもも大人も安心・快適に暮らせる立川
皆が仲良く楽しい町に
働く！学ぶ！遊ぶ！ 住みたい街 立川
立川市民の特典があるような、立川市民の日みたいなのがあると外に足を運びやすいなと思います
【砂川町】
日本一子育てがしやすい町
住みやすい街ランキング上位の町となって欲しい。
みどり豊かな自然と都会が融合した街?? (畑が減り住宅街になり自然が減るのが寂しいです。)
市職員の男女比構成は、市人口の男女比に比例しています。
市民が創る TACHIKAWA-CITY
老若男女にやさしく楽しい町 立川！
安心して暮らせるまち！
活気のある街づくり
立川って、いいよね。

みんなで楽しむ街、立川！ 立川は緑も豊かで、商業施設も充実、子育てもしやすいと思います。 市民皆が生活を楽しめる、充足した人生を送れる場、まちになってほしいと思います！
多摩市の治安ワーストで上の方だったので、治安が良くなって欲しいです。「みんなにやさしい住みよい街 立川」
進化し続ける街
便利で楽しい立川
住みたくなる街 ウォーキングしたくなる立川市
心があったまるまち 立川
楽しく過ごせるまち
助け合い、共に楽しく生活できる立川市
全世代に住みやすい市 立川
市民の声を聞いてもらえる市に！
若い人にも 高齢者にも 優しく住みよい 町づくり
大好きな立川
暮らしははじめから終末期まで健全で自由に過ごせる街
”安心、安全な町 立川”
多様性輝く共生都市 立川
仲良く助け合い
住んでいるだけでワクワクする町、立川！
老後を安心・安全に過ごせるようになってほしい。
明るく元気 笑顔 あいさつ！！
人にやさしい立川市
緑豊かな文化都市
障害者が外出しやすいまちづくり
大学に行きたい子供が誰でも大学に進学出来る街
緑と人と最先端が両立するまち
高齢者が守り、若者が支えるまちづくり

【上砂町】
どんな年代も、安心して過ごせる街
みんなにやさしい立川市(色々な方をふくめて)
明るく優しい街に
東京都で1番住みやすい街
立川くらいがちょうどいい。
武蔵砂川駅前に交番を設置してほしい。立川駅の近くだけが立川ではありません。
ユーモアあふれる立川市
ゴミ袋安くしてください
治安、交通安全、子供教育など、先進的な街になって欲しい。
安心して長く暮らせる街
立川くらいがちょうどいいというキャッチフレーズは ちょっといもくさいです。 素敵な街立川を目指し駅前だけの発展に力を入れるのではなく、立川市全体を隅々まで把握した上で、課題を浮き彫りにして一つ一つ改善して行ってほしいです。新しい市長さんが積極的に市民の声を丁寧に寄り添って聞いていただき、より良い街づくりを実現してもらいたいです。
いつもずっと笑顔で暮らせるまち
子供が元気な立川。立川の高齢者すごいぞ
思いやりと支え合いで、住みつづけたい魅力ある発展するまち、立川 ・思いやり、支え合いは ⇒安心・安全なまちであること ・住みつづけたい ⇒環境にすぐれ、緑豊かで空気がきれい ・魅力ある ⇒商業都市、経済的なゆとりがあり、困らないまちであること ・発展するまち ⇒立川に住んで良かった、10 年先この立川の将来像を創る。困らない、経済的、福祉的に支援・援助体制が出来る意味。経済面でバランスとれる市政を望む。子ども達の無償で高校まで、安心して勉強出来るように望む。
笑顔でいられる共生の街、立川！！
取りこぼしのない立川
”家族になる立川” 我が家は医療、福祉、立川市、街の人達の技術、思い、サービスなどの力とともに笑顔で生活することができています。家族という小さな単位で背負い込むことなくお互いがお互いに力を添えながら支えあってずっと立川市に家族で住み続けられることを願っています。人工呼吸器の息子とずっと一緒に生活したい！でも年を重ねる自分の将来を考えると長期入所などを利用し、別生活を選ばねばと考えることが残念です。立川市に住みながら皆で笑顔でいたい。今に至るまでも立川市には多大なサポートをいただき感謝しています。
貧困のため、子どもが食事をとれないような街にだけはなってほしくない。
個性豊かな、開かれた町、立川市
いつまでも住みたい街 立川
なかよしの市 立川
地域の団体が高齢化してきているので、若者にバトンをわたし、活性化させていきたい。
風通しの良い町
住みやすい町
多摩エリアの中核都市として更なる発展を望む。
子どもや高齢者、障害を持つ人々がくらしやすい町づくりをめざす

笑顔の絶えない市になってほしい。
東京都を代表する夢のある町づくり
【一番町】
子どもから高齢者まで住み続けたい、オススメしたいまちになってほしい。
子供に優しいまち
多様性を受け入れる街
地域のゴミをみんなできれいにする街
いじめのない街
大人に有給休暇で仕事を休むように、子供も体調に合わせて学校を休んでも良い、学校に行かなくてはならない同調圧力を子供に感じさせないで欲しい。
無人バスを開発し、高齢者の足を確保して、買い物や病院、役所、相談窓口に行きやすい町にして欲しい。
全ての人が笑顔で過ごせる街
交通のアクセスが良く、高齢ドライバーが運転免許証を返納しても、快適に生活できる街になってほしい。
自動運転のタクシーやバス、ITを活用した、近代構想の立川市になって欲しい。
歩道が広く、散歩しても安全なまちになる
市民が作り上げる立川市
中心地の発展がうらやましい。周辺の町も同じに
税金の安い市になってほしい。
人に優しい、昭和っぽい町
日本人が住みやすい町
支え合い、作ろう、やさしい町、立川
お年寄りに優しく、安心して生活できる町 立川？
みんなが顔見知りのご近所さん
弱者にやさしい街
格差がなくひとにやさしい街
立川で、買い物、Sport から文化鑑賞、国際交流まで、ワンストップですべての世代が楽しめる立川市！
ちょうど良いよいし。立川
笑顔の多い街
住みつつけたい街、緑豊かな快適な街、みんながあいさつできるあたたかい街
人の未来を考える街
市民に寄り添う立川
一步ずつ確実に動く立川
明るい町
減税をぜひして下さい。
犯罪のない あかるい 立川
困りごと即対応！豊かな未来が叶うまち。
高齢者に優しい街
子育てしやすい
きれいなまち

老人にやさしい町
住みやすい町
平和で住みやすいまち
福祉に力を 入れて欲しい
【西砂町】
みんなで協力し合える、助け合いの出来る、思いやりあふれる市。
誕生からつながる輪 たちかわ市
多摩地区の中心 立川
子供が育てやすく福祉に厚い町
こころもまちもバリアフリー
みんなにやさしい街
子供に優しい街
ちょうどいいまち立川
グローバルに文化を発信する都市
誰もが住みやすい都市
高齢者にやさしいまち
バスでどこへでも行ける町
立川駅周辺ではなく立川全体に大きな駅前クラスの活気ある街が何個かあると良い それらを結ぶアクセスなどがあり立川全体が区内のような状況になって区内へ行くことが減り立川で完結する街になって欲しい
どの瞬間も絵になるようなまちへ
暮らしも遊び(レジャー)も大満足！
立川暮らしがちょうどいい
老いも若きも、楽しく過ごせる町、立川
人が集まる街 より良い生活を求める人 スポーツを見る人、やる人 憩いを求める人 みんな集まれ、立川に！
日本人が生活出来て、目指す方向に向けて的確に活躍出来る生活ハブステーション。
若い世代の住民交流を発展させてほしい。
美しい町 明るい町 立川
豊かな緑、活気に満ちた町、立川
みんなで住み良い街 立川！！
・多摩地区のリーダーたちかわ！ ・ストップ！自転車の傘さし運転！！ ・子育てするならたちかわ！ ・忘れないで！西砂町も立川市！！
高齢者、障害者、子供などが安全に安心して暮らせる町
先手を打つまち、スピーディーなまち
自然と多様な人々が共存できる未来を描ける街

立川がみんなを優しく包む。
子どもがすごしやすい町
自然豊かな立川市
今日も未来も最高の町 立川
最先端へとたちかわる街、立川
愛がある町 (A town with love)
未来を担う子供を育てるまち 誰もが生き甲斐を感じられるまち
不安を安心に みんなにやさしいまち
犯罪の少ない、弱者が安心して住める街
いいぞ 立川
緑の多い安全な街 立川
子育てがしやすいまちになって欲しい中学校の食缶給食がようやくはじまりました。何十年前からこの日を望んでいた中学校だった方、保護者の方は、もう当事者ではない。子供が、学童に小 2 から入ることができなかった。留守番させて働くのは、精神的に厳しかった。子育て環境がなかなか整わず、市民の声が届いていない、子育てしにくいと日々思い、必死に生きて、今です。行政の対策は、未来を予測して、先手で動いてほしい。学童が足りないから、保育園が足りないから、そこから何かを始めると、何年かかりますか？当事者はすでに対象外の年齢になります。立川市に住んでよかった！立川市でいいねえ！と言われる日が来ることを期待します
世代を超えた関係性を築き、互いに支え合えるまちになってほしいです。
安全で衛生的で、活気のある街
赤ちゃんからお年寄りまでが一生住みたいと思う町『立川』！
【無回答】
やっぱ立川だね。自然豊かだもの
小、中、高の若い混ぜ得て考えてほしいと思います。
心のバリアフリー
ひとりひとりを大切に。個人情報厳守でお願い致します。

～お聞かせください、あなたのご意見～

地域福祉に関するアンケート

日ごろより、立川市の地域福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

市では、次期地域福祉計画策定のため、市民の皆様の生活実態、問題意識を把握し、より実効性の高い計画を策定するため、「地域福祉に関するアンケート」を実施しています。より良いまちづくりを進めるうえで重要なものですので、ぜひご協力をお願いいたします。

令和5年10月

立川市長 酒井 大史

ご記入にあたって

- ✓ この調査は、令和5年9月1日現在、市内に住民登録をされている18歳以上の方の中から、3,000人を無作為に抽出してお願いしています。
- ✓ 調査は、個人が特定されない無記名方式で実施します。また、回答結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用しません。
- ✓ 封筒のあて名のご本人がお答えください。（ご本人が回答できない場合は、ご家族の方が代わりにお答えいただいても結構です。）
- ✓ 回答は、《郵送》または《インターネット》で行うことができます。どちらかの方法をお選びください。

郵送での回答方法

この調査表に直接回答を記入し、三つ折にして同封の返信用封筒に入れて郵便ポストへ投函してください。切手を貼る必要はありません。

インターネットでの回答方法

インターネットに接続したスマートフォン等から回答できます。詳しくは、裏面の「インターネットを利用した回答方法」をお読みください。

- ✓ 回答は、11月15日（水）までに、投函または送信してください。
- ✓ 調査の集計結果は、市ホームページで公表します。



こちらの二次元バーコードから回答が可能です。

【問い合わせ先】立川市役所 福祉保健部 地域福祉課

電話：042(523)2111(内線1477) E-mail:chiikifukushi@city.tachikawa.lg.jp

(裏面)

インターネットを利用した回答方法

(こちらのインターネット回答がおすすめです。)

1. 回答用ウェブページにアクセスする

- ✓ 以下の二次元バーコードまたは URL からアクセスしてください。



インターネット回答用アクセス URL

<https://logoform.jp/form/yY6d/354079>

2. 回答フォームよりアンケートに回答する

- ✓ アンケートの質問に回答してください。

3. 回答内容を送信する

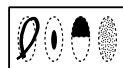
- ✓ 入力内容を確認し、送信します。
✓ 回答完了です。ご協力いただき、ありがとうございました。



インターネットを利用したご回答にあたって

- ・「LoGo フォーム」は、提供元の電子申請サービスの名称です。
- ・インターネットでの回答には、パソコン、タブレット端末、スマートフォン等の機器とインターネット環境をご用意いただく必要があります。
- ・「LoGo フォーム」にアクセスできない場合や利用できない場合は、システム障害が発生している場合があります。最新情報は、下記のサイトから確認することができます。

【LoGo フォーム障害情報】 https://publitech.fun/logoform_failure



地域福祉に関するアンケート

【以下の各項目について、令和5年10月1日現在の状況でお答えください。】

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。

☐: 空白マーク ☒: 正しいぬりつぶし ☐: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないようにご記入ください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したりしないようにご注意ください。また、ご記入はHB以上の濃さの黒鉛筆か、黒または青のボールペン・サインペンでお願いします。

(1) あなたの性別について、お聞かせください。（1つを選択）

☐ 男

☐ 女

☐ その他、答えたくない

(2) あなたの年齢について、お聞かせください。（1つを選択）

☐ 18歳～19歳

☐ 20歳～29歳

☐ 30歳～39歳

☐ 40歳～49歳

☐ 50歳～59歳

☐ 60歳～64歳

☐ 65歳～69歳

☐ 70歳～74歳

☐ 75歳～

(3) あなたと同居する家族の構成について、お聞かせください。（1つを選択）

☐ 単身

☐ 夫婦（子どもはいない）

☐ 親子（高齢者と子の2世代）

☐ 親子（親と子の2世代）

☐ 親、子、孫（3世代）

☐ その他（具体的に：
）

(4) あなた自身、もしくはあなたと同居する方に、次のような方はいますか。（あてはまるもの全てを選択）

☐ 小学校入学前の子ども

☐ 小学生～高校生の子ども

☐ 日常生活を送る上で介護や介助等の身体的ケアを必要とする方

☐ 日常生活を送る上で介護や介助等の身体的ケア以外の精神的ケアを必要とする方

☐ 「ひきこもり、不登校」の状態にある方

☐ 15歳～59歳で仕事、家事、通学のいずれもしていない方

☐ 65歳～74歳の方

☐ 75歳以上の方

☐ 該当なし

※「精神的ケア」とは、この設問では気分の落ち込みや幻覚、妄想等の心身に様々な影響が出る疾患として、うつ病や双極性障害、統合失調症をはじめ、生まれつきの脳機能の偏りによる発達障害等に対するケアのことをいいます。

(5) あなたの働き方について、お聞かせください。（1つを選択）

☐ 正規雇用

☐ 非正規雇用（パート、アルバイト、契約社員）

☐ フリーランス

☐ 自営業（商業、工業、農業等）

☐ 主婦、主夫

☐ 無職

☐ 学生

☐ その他（
）



悪い



良い

(6) 現在お住まいの地域での居住年数について、お聞かせください。（1つを選択）

- ☐ 生まれてからずっと（年数にかかわらず）
☐ 21年以上
☐ 14年～21年未満
☐ 10年～14年未満
☐ 6年～10年未満
☐ 3～6年未満
☐ 3年未満

(7) あなたの現在のお住まいは、どれにあたりますか。（1つを選択）

- ☐ 一戸建ての持ち家
☐ 一戸建て以外の持ち家（分譲マンション・団地住宅等）
☐ 公営（市営、都営、公社、UR）の賃貸住宅
☐ 一戸建ての民間借家
☐ 民間の賃貸アパート、マンション
☐ 社宅、会社寮、公務員住宅
☐ その他（ ）

(8) あなたのお住まいの地区について、お聞かせください。（1つを選択）

- ☐ 富士見町
☐ 柴崎町
☐ 錦町
☐ 羽衣町
☐ 曙町
☐ 高松町
☐ 緑町
☐ 泉町
☐ 栄町
☐ 若葉町
☐ 幸町
☐ 柏町
☐ 砂川町
☐ 上砂町
☐ 一番町
☐ 西砂町

(9) あなたは立川市やお住まいの地域の生活に満足していますか。（1つを選択）

- ☐ 満足している
☐ どちらかといえば満足している
☐ どちらかといえば満足していない
☐ 満足していない

(10) (9)で「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した方にお聞きします。そう思った理由をお聞かせください。（あてはまるもの全てを選択）

- ☐ 子どもや高齢者の声かけ、見守りが行われているため
☐ 高齢者や子育て世代等のサロンや趣味等のサークル活動が行われているため
☐ 福祉の心を育てる活動が行われているため
☐ 世代間の交流が行われているため
☐ 障害者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動が行われているため
☐ 防犯活動が行われているため
☐ 災害時に助けあう関係づくりが行われているため
☐ 多様な住民が参加しやすい場、拠点づくりが行われているため
☐ 困りごとの手伝いが行われているため
☐ 多文化共生に関する取組が行われているため
☐ 中学生、高校生自らが企画する地域活動が行われているため
☐ 地域活動、ボランティア活動等に関する情報発信が行われているため
☐ ペットとの共生に関する取組が行われているため
☐ わからない

※「サロン」とは、近所の人々等が定期的集まって、おしゃべりや趣味の活動をする場です。



悪い



良い

(11) (9)で「満足していない」、「どちらかといえば満足していない」と回答した方にお聞きます。そう思った理由をお聞かせください。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---|--|
| ☐ 子どもや高齢者の声かけ、見守りが行われていないため | ☐ 高齢者や子育て世代等のサロンや趣味等のサークル活動が行われていないため |
| ☐ 福祉の心を育てる活動が行われていないため | ☐ 世代間の交流が行われていないため |
| ☐ 障害者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動が行われていないため | ☐ 防犯活動が行われていないため |
| ☐ 災害時に助けあう関係づくりが行われていないため | ☐ 多様な住民が参加しやすい場、拠点づくりが行われていないため |
| ☐ 困りごとの手伝いが行われていないため | ☐ 多文化共生に関する取組が行われていないため |
| ☐ 中学生、高校生自らが企画する地域活動が行われていないため | ☐ 地域活動、ボランティア活動等に関する情報発信が行われていないため |
| ☐ ペットとの共生に関する取組が行われていないため | ☐ わからない |

(12) あなたは外出したいと思っても、困りごとがあるために諦めたことがありますか。（1つを選択）

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ☐ ある | ☐ ない |
|-----------------------------|-----------------------------|

(13) (12)で「ある」と回答した方にお聞きます。外出を諦めたのはどのような理由でしたか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---|--|
| ☐ ベビーベッド、ベビーチェアや車いす利用者がいるため | ☐ 対応トイレが少ないため |
| ☐ 目的地までの移動手段がないため | ☐ 階段等の段差が多く移動が難しいため |
| ☐ ベンチや公園等ひと休みできる場所が少ないため | ☐ 費用がかかり負担となるため |
| ☐ 気軽にでかけることができる場所、機会、きっかけがないため | ☐ 特にない |
| ☐ その他（ ） | |

(14) 日頃、市内を移動するときに最も利用する交通手段はなんですか。（1つを選択）

- | | | |
|---|-----------------------------------|--|
| ☐ 徒歩 | ☐ 自転車、バイク | ☐ 自家用車（自分で運転する） |
| ☐ 自家用車（家族または友人の車に乗せてもらう） | ☐ タクシー | ☐ バス |
| ☐ くるりんバス | ☐ 電車、モノレール | ☐ 福祉移送サービス |
| ☐ その他（ ） | | |

(15) (14)で回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。（1つを選択）

- | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| ☐ ほとんど毎日 | ☐ 週に3～4日 | ☐ 週に1～2日 |
| ☐ 月に数回 | ☐ ほとんど外出しない | |



(16) 日頃、市内を移動するときに 2 番目によく利用する交通手段はなんですか。（1 つを選択）

- ☐ 徒歩
 ☐ 自転車、バイク
 ☐ 自家用車（自分で運転する）
- ☐ 自家用車（家族または友人の車に乗せてもらう）
 ☐ タクシー
 ☐ バス
- ☐ くるりんバス
 ☐ 電車、モノレール
 ☐ 福祉移送サービス
- ☐ その他（ ）

(17) (16) で回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。（1 つを選択）

- ☐ ほとんど毎日
 ☐ 週に 3～4 日
 ☐ 週に 1～2 日
- ☐ 月に数回
 ☐ ほとんど外出しない

(18) 日頃、市内を移動するときに 3 番目によく利用する交通手段はなんですか。（1 つを選択）

- ☐ 徒歩
 ☐ 自転車、バイク
 ☐ 自家用車（自分で運転する）
- ☐ 自家用車（家族または友人の車に乗せてもらう）
 ☐ タクシー
 ☐ バス
- ☐ くるりんバス
 ☐ 電車、モノレール
 ☐ 福祉移送サービス
- ☐ その他（ ）

(19) (18) で回答した交通手段の利用頻度についてお聞かせください。（1 つを選択）

- ☐ ほとんど毎日
 ☐ 週に 3～4 日
 ☐ 週に 1～2 日
- ☐ 月に数回
 ☐ ほとんど外出しない

(20) 外出の目的として、最も頻度が高いものはなんですか。（1 つを選択）

- ☐ 買い物
 ☐ 通院
 ☐ 家族、友人との交流
- ☐ 趣味
 ☐ 仕事
 ☐ 健康、スポーツ
- ☐ 地域活動、ボランティア
 ☐ 行政手続
 ☐ その他（ ）

(21) (20) で回答した目的の頻度にどのくらいですか。（1 つを選択）

- ☐ ほとんど毎日
 ☐ 週に 3～4 日
 ☐ 週に 1～2 日
- ☐ 月に数回
 ☐ ほとんど外出しない

(22) 外出の目的として、2 番目に頻度が高いものはなんですか。（1 つを選択）

- ☐ 買い物
 ☐ 通院
 ☐ 家族、友人との交流
- ☐ 趣味
 ☐ 仕事
 ☐ 健康、スポーツ
- ☐ 地域活動、ボランティア
 ☐ 行政手続
 ☐ その他（ ）



悪い



良い

(23) (22) で回答した目的の頻度にどのくらいですか。(1つを選択)

- ☐ ほとんど毎日
 ☐ 週に3～4日
 ☐ 週に1～2日
☐ 月に数回
 ☐ ほとんど外出しない

(24) 外出の目的として、3番目に頻度が高いものはなんですか。(1つを選択)

- ☐ 買い物
 ☐ 通院
 ☐ 家族、友人との交流
☐ 趣味
 ☐ 仕事
 ☐ 健康、スポーツ
☐ 地域活動、ボランティア
 ☐ 行政手続
 ☐ その他 ()

(25) (24) で回答した目的の頻度にどのくらいですか。(1つを選択)

- ☐ ほとんど毎日
 ☐ 週に3～4日
 ☐ 週に1～2日
☐ 月に数回
 ☐ ほとんど外出しない

(26) あなたが「お住まいの地域」として考えるのは、どのくらいの範囲ですか。(1つを選択)

- ☐ 両隣(徒歩1分程度)
 ☐ 隣近所(徒歩5分程度)
 ☐ 丁目(徒歩15分程度)
☐ 町(徒歩30分程度)
 ☐ 立川市全域
 ☐ 近隣市程度

(27) 「お住まいの地域」の中での付き合いはどの程度ですか。(1つを選択)

- ☐ 親しい交流がある
 ☐ 世間話をするぐらいの交流がある
☐ 顔を会わせれば挨拶する
 ☐ 交流はないが顔を見れば地域に住んでいる人だと分かる
☐ ほとんど顔を知らない

(28) 「お住まいの地域」の方が生活上の困りごとを抱えていることが分かった場合、あなたはどのようなことをしますか(どう考えますか)。(1つを選択)

- ☐ 手伝う ⇒質問29へ
 ☐ 報酬や対価があれば手伝う ⇒質問30へ
☐ 手伝いたいと思うが事情があって手伝うことが難しい ⇒質問31へ
 ☐ 手伝いたいと思わないので、手伝わない

(29) (28) で「手伝う」と回答した方にお聞きます。次のような困りごとのうち手伝える範囲について、お聞かせください。(あてはまるもの全てを選択)

- ☐ 声かけ、見守り
 ☐ 話し相手
☐ 買い物代行
 ☐ 家事手伝い
☐ 家具の移動や設置
 ☐ 外出や各種手続きの同行
☐ その他 ()



悪い



良い

(33) あなた自身、もしくはあなたと同居する方が生活上の困りごとを抱えた場合、解決に関する情報はどこから得ますか（得ようと思いますか。）。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---|---|
| ☐ 市報（広報たちかわ）や社会福祉協議会広報（あいあい通信、まちねっと） | ☐ 市、社会福祉協議会のホームページ |
| ☐ 市、社会福祉協議会のSNS | ☐ テレビ、ラジオ、新聞等のマスメディア |
| ☐ 身近な人からの口コミ情報 | ☐ インターネット情報（市、社会福祉協議会以外） |
| ☐ 市役所の各種窓口 | |

※SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）とは、インターネット上で友人同士や同じ趣味を持つ人同士が集まったり、近隣住民が集まったりと情報の発信や共有、ユーザー同士の交流ができるサービスです。例えば、X（旧Twitter）、LINE、Facebook、YouTube、Instagram等を指します。

(34) 生活上の困りごとを抱える人を支援するために、あなたが必要と思うものはなんですか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---|---|
| ☐ 日頃からの家族、親族とのコミュニケーション | ☐ 地域の人たちとのつながりづくりや地域の人たちの理解と協力 |
| ☐ NPOや市民活動団体、ボランティアによる福祉活動 | ☐ 同じような境遇の人同士でのつながりづくり |
| ☐ 困りごとを予防するための取組 | ☐ 困りごとを抱える人を早期に発見する仕組みづくり |
| ☐ なんでも相談できる窓口の設置 | ☐ 課題に対応できる専門機関の情報発信 |
| ☐ 専門機関同士の連携強化 | ☐ 福祉人材を育成する仕組みづくり |

(35) 地震や風水害が発生したとき、その被害を広めないために地域で日頃から取り組んでおくこととしてあなたができることはなんですか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---|---|
| ☐ 防災訓練、避難訓練への参加 | ☐ 災害時要援護者（※）との顔の見える関係づくり |
| ☐ 災害時要援護者の個別支援計画への参画 | ☐ 地域での防災マップづくり |
| ☐ 災害ボランティア養成講座への参加 | ☐ 市民防災組織への参加 |
| ☐ 避難所運営委員会（※）への参加 | |

※「災害時要援護者」とは、高齢者や障害者、乳幼児、傷病者、外国人等、災害時に自力で避難することが困難であり、なんらかの手助けが必要な人をいいます。

※「避難所運営委員会」とは、事前に避難所となる施設を中心に、自治会、自主防災組織等が一体となって設立し、災害発生時に地域住民同士が連携しながら、主体として避難所を開設、運営できるよう体制を整えておく組織をいいます。



悪い

良い

(36) 地域で発生する課題の中には、行政のみの対応や既存の制度による専門的な対応だけでは解決できない課題が数多くあります。次のような課題や取組の中で、住民や地域団体が主体となって取り組むほうがより効果的であると思うものはなんですか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|--|--|
| ☐ 住民の健康づくり | ☐ サロン、サークル等の交流の場づくり |
| ☐ 地域福祉アンテナショップ（※）への参加 | ☐ 子どもや高齢者への声かけ、見守り |
| ☐ 高齢者、障害者等の病院の付き添い | ☐ 障害者の外出支援 |
| ☐ 外国人への情報提供 | ☐ 罪を犯した方の社会復帰支援 |
| ☐ ひきこもり当事者やその家族の支援 | ☐ ケアラー（※）支援 |
| ☐ 災害時要援護者への支援体制づくり | ☐ 防災訓練、避難訓練 |
| ☐ 子どもの学習支援 | ☐ 子ども食堂（※） |
| ☐ フードバンク（※） | ☐ 市民後見人（※）としての活動 |

※「ケアラー」とは、高齢、障害、病気等により援助を必要とする家族や身近な人に対して、無償で介護や看護、日常生活上のお世話をしている方のことをいいます。

※「子ども食堂」とは、貧困や家庭の事情で、満足に食事がとれなかったり、一人で食事をしたりする子どもたちに、無料や低額で食事を提供する取組です。

※「フードバンク」とは、食品企業の製造工程で発生する規格外品等を企業から寄付いただき、福祉施設や福祉団体、困窮世帯等へ無料で提供する活動です。

※「地域福祉アンテナショップ」とは、誰もが気軽にふらっと立ち寄れる居場所です。地域の空きスペース等を活用し、住民主体で運営されており、令和5年4月時点で市内に12か所設置されています。子どもの遊び場や健康相談、各種ワークショップ、テーマに沿った茶話会等、それぞれの特色を生かした活動が行われています。市と住民、関係機関が協働して、子どもから高齢者までのさまざまな困りごとの解決を目指します。

※「市民後見人」とは、一般市民の方で市町村が実施する養成講座を受講し、成年後見に関する一定の知識、態度を身につけた方の中から、家庭裁判所により成年後見人等として専任されます。市民目線で、ご本人の意思を丁寧に把握し、地域に密着した活動を行うことが期待されています。

(37) 今後、立川市をより住みやすいまちにするために、次のうち何を重点的に取り組むべきと思いますか。（あてはまるもの全てを選択）

- | | |
|---|--|
| ☐ 生活課題の早期発見 | ☐ 福祉サービスの質の向上 |
| ☐ 相談体制の充実 | ☐ 高齢者、障害者等が金銭や契約等で不利益を被らないよう支援をする取組 |
| ☐ 高齢者、障害者、児童への虐待防止 | ☐ 支援が必要な人に必要な情報が届く仕組みづくり |
| ☐ 多世代交流、障害者、外国人等との交流等の多様な市民の交流 | ☐ 住民同士、住民と専門職等の関係づくりによる地域のネットワーク化 |
| ☐ 地域での支えあい | ☐ NPO、ボランティア、市民活動の活性化 |
| ☐ 地域活動デビューへの支援 | ☐ 地域で活躍するリーダー等の人材の発掘、育成 |
| ☐ 心のバリアフリーの推進 | ☐ 道路、建物等のバリアフリー化推進 |
| ☐ 防犯、防災への取組 | ☐ 住民等が交流する場所、拠点づくり |
| ☐ 快適な生活環境への取組（ごみ出し、喫煙、自転車のマナーアップ等） | ☐ 生活困窮者に対して行う生活支援や就労支援 |
| ☐ なんでも相談できる相談窓口の設置 | ☐ 学習支援や子ども食堂等地域での子どもの居場所づくり |



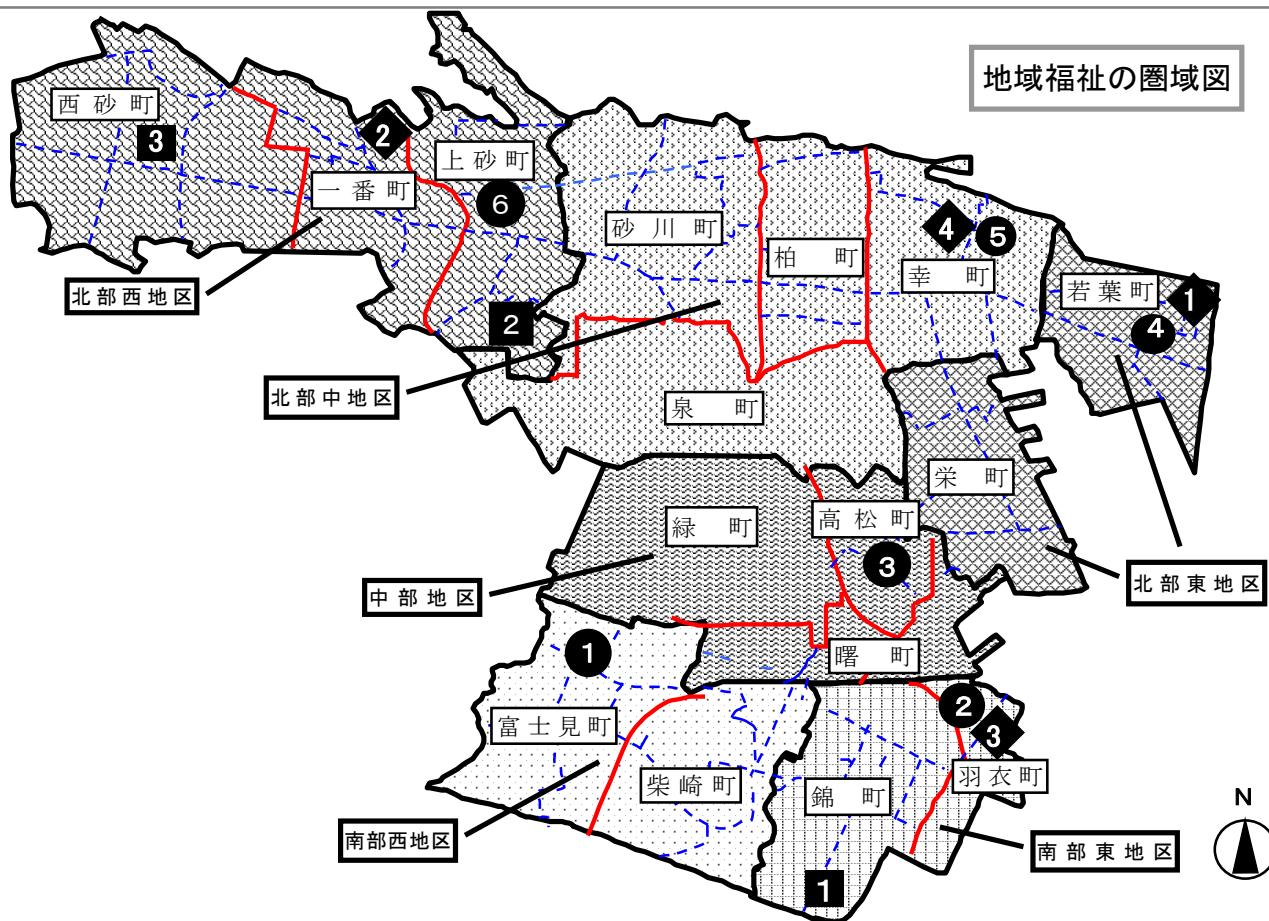
(38) あなたの地域をよりよくするにはどうしたらよいか等、地域の福祉についてアイデアやご提案、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

(39) 今後、立川市はどんなまちになってほしいと思いますか。あなたが考えるキャッチフレーズを教えてください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

同封の封筒に入れ、11月15日（水）までに切手を貼らずにポストへ投函してください。

地域福祉の圏域図



< 6つの圏域 >

- 1 南部西地区（富士見町・柴崎町） 2 南部東地区（錦町・羽衣町）
 3 中部地区（曙町・高松町・緑町） 4 北部東地区（栄町・若葉町）
 5 北部中地区（幸町・柏町・砂川町・泉町） 6 北部西地区（上砂町・一番町・西砂町）

* 地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会のエリアに一致させています

- 1 南部西ふじみ地域包括支援センター ● 2 南部東はごろも地域包括支援センター
 ● 3 中部たかまつ地域包括支援センター ● 4 北部東わかば地域包括支援センター
 ● 5 北部中さいわい地域包括支援センター ● 6 北部西かみすな地域包括支援センター
 ■ 1 にしき福祉相談センター ■ 2 かみすな福祉相談センター ■ 3 にしすな福祉相談センター
 ◆ 1 B A S E ☆ 2 9 8 ◆ 2 にこにこサロン ◆ 3 はねきんのいえ ◆ 4 スマイルキッチン

地域福祉の圏域と主な資源

	エリアの範囲	内容	主な資源や組織
①	市全域	市の基本的な行政サービスが及ぶ範囲で市内全域	・市役所 ・総合福祉センター ・子ども家庭支援センター ・健康会館 ・社会福祉協議会 ・自立支援協議会等
②	地域福祉の生活圏域	地域の包括的ケアのネットワークづくりを進めるエリア。 6つのエリアが含まれます。	・地域包括支援センター ・福祉施設 ・民生委員・児童委員地区協議会 ・地域学習館 ・子ども支援ネットワーク ・地域福祉アンテナショップ等
③	コミュニティ基盤のエリア	町を構成要素とした自治連支部のエリア。 12のエリアがあります。	・自治連各支部 ・小中学校 ・学習等供用施設 ・青少健 ・PTA等
④	近隣基盤の地域活動のエリア	地域における自主的な活動が行われるエリアですが、自治会、老人会、商店会、ボランティア団体等さまざまな活動が行われています。さらにこの中には、自治会の班や近所づきあいなど近隣基盤の関係が含まれます。	・自治会 ・老人会 ・ボランティアグループ ・集会所等

令和 6 年 7 月発行

地域福祉に関するアンケート調査報告書

発 行 立川市 福祉部 地域福祉課

東京都立川市泉町 1156 番地の 9

電 話 042 (523) 2111 内線 1477